


[illegible]

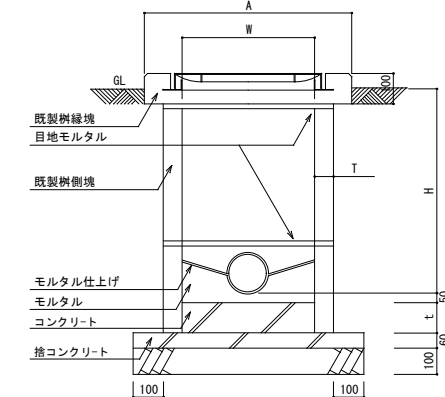
 <div> <p>一級建築士事務所</p> </div>	<p>一級建築士事務所 千葉県登録 第 1-2209-2531 号</p> <p>〒295-0023 千葉県南房総市千倉町川口288 TEL0470-43-1718</p> <p>一級建築士 第 203776 号 荒井恭一</p>	<p>千倉社会福祉センター解体撤去工事設計図面</p>	<p>機械設備特記仕様書(1)</p>	<p>令和7年 3月</p>	<p>NO M-01</p>
			<p>S=NOT (A1)</p>		
			<p>S=NOT (A3)</p>		

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項																																								
○ 調和設備	○ 設計用温湿度	○ 下表による。 ○ (JIS B 8616 ) の温度条件による。 <table><tr><th colspan="2" rowspan="2">外 気</th><th colspan="6">屋 内 (調 整 目 標)</th></tr><tr><th colspan="2">一般系統</th><th colspan="2">温度 (DB)</th><th colspan="2">湿度 (RH)</th></tr><tr><th>温度 (DB)</th><th>湿度 (RH)</th><th>温度 (DB)</th><th>湿度 (RH)</th><th>温度 (DB)</th><th>湿度 (RH)</th><th>温度 (DB)</th><th>湿度 (RH)</th></tr><tr><td>夏 期</td><td>℃</td><td>%</td><td>℃</td><td>%</td><td>℃</td><td>%</td><td>℃</td><td>%</td></tr><tr><td>冬 期</td><td>℃</td><td>%</td><td>℃</td><td>%</td><td>℃</td><td>%</td><td>℃</td><td>%</td></tr></table>	外 気		屋 内 (調 整 目 標)						一般系統		温度 (DB)		湿度 (RH)		温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	夏 期	℃	%	℃	%	℃	%	℃	%	冬 期	℃	%	℃	%	℃	%	℃	%	● ● 配 管 材 料 給 ○ 水 栓 水 ● ● 重 水 器 ● ● 重 水 器 樹 ○ 絶縁継手 設 ● ● 弁 類 ● ● 管の地中埋設深さ 備 ○ 水 栓 柱 ○ 建物導入部配管 ○ 引込納付金等	(1) 一般配管 ○ 硬質塩化ビニルライニング鋼管 (SGP-VA) (2) 地中埋設配管 ○ 硬質塩化ビニルライニング鋼管 (SGP-V0) (3) 水道直結配管 ● 引き込みは水道事業者の指定により、量水器以降の地中配管は、 ( ● 硬質塩化ビニルライニング鋼管 (SGP-V0) ) とし、他の部分は (1) による。  ○ 台所流し用の水栓は泡沫式とする。 ○ 水抜栓を使用する場合、水栓は固定式とする。 ( ○ ただし、屋外に設ける水栓は耐寒水栓とする。 )  ● ● 親メーター ( 貸与品 ) ( ● 直読式 ○ バルス式 ) ○ 子メーター ( 買い取り ) ( ○ 直読式 ○ バルス式 )  ● ● 水道事業者指定品 ( ○ 貸与品 ○ 買い取り ) ○ 標準図 MC 形 図示の位置に取付ける。  JIS 又は JV ● ● 水道直結部分 ( ● 10K ○ ) ○ その他の部分 ( ○ 5K ○ ) ○ ステンレス配管を使用する場合の材質はステンレス製とする。  ● ● 管の上端より原則として、一般敷地は ( 30cm ) 構内道路は ( 60cm ) 以上とする。 ○ 合成樹脂製 ○ アルミニウム合金製 ○ 人造石とぎ出し製 ○ ステンレス製 標準図 (建物導入部の変位吸収配管要領) の ( ○ (a) ○ (b) ○ (c) ) による。 ○ 要 ( ○ 別途工事 ○ 本工事 ) ○ 不要	● ● 撤 去 内 容 ● ● 保 温 材 ● ● 支持金物等 ● ● 石綿含有品 ● ● 発生材の処理 撤去方法 ● ● 図示による ○  ● ● 金属類 ( ● ● 機器類 ● ● ダクト ● ● 配管 ● ● その他金属類 ) の処理は ( ○ 横外搬出適切な処理 ○ ) とする。 ○ 特別管理産業廃棄物 ( ○ ) とする。 ( ○ 横外搬出適切な処理 ○ 別途 ) とする。 ● ● 石綿含有産業廃棄物 ( ● ● 配管用成形保温材 ● ● フランジ用ガスケット ) の処理は ( ● ● 横外搬出適切な処理 ○ 別途 ) とする。 ● ● 上記以外のもの ( ○ ) の処理は ( ● ● 横外搬出適切な処理 ○ 別途 ) とする。  ● ● 建設リサイクル法における再資源化等を行なう特定建設資材の横外搬出処理を本工事とする。  ● ● 本工事 ○ 別途 冷凍機等の撤去に伴う冷媒の回収方法は、改修標準仕様書第3編2.4.3により、次の書類を 監督職員に提出する。 ● ● フロン回収工程管理表の写し ● ● 特定家庭用機器廃棄物管理票 (家電リサイクル券) の写し	○ その他	○ 上ガス対策	○ なし ○ あり ( ○ 自然換気口 ○ ガス抜き管 ○ 強制換気装置 ○ ガス検知器 ○ その他 ( ) ) ○ 施工にあたって、防災上必要な措置を講じること。
	外 気				屋 内 (調 整 目 標)																																											
			一般系統		温度 (DB)		湿度 (RH)																																									
	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)																																								
	夏 期	℃	%	℃	%	℃	%	℃	%																																							
	冬 期	℃	%	℃	%	℃	%	℃	%																																							
	○ 鋼板製煙道	伸縮継手、掃除口及びばいじん量測定口の位置は図示による。 鋼板厚 ( ○ 3.2mm ○ 4.5mm )																																														
	○ ダクト	○ 低圧ダクト ( ○ コーナーボルト工法 (長辺の長さが1,500mm以下の部分) ○ アンクルフランジ工法 ○ スパイラルダクト ) とする。  ○ 高圧1ダクトの適用範囲は図示による。 ○ ステンレスダクト及び塩化ビニルダクトの仕様及び適用範囲は図示による。 取り付け箇所は図示による。  (1) 内貼りを施すチャンバーの表示寸法は外法を示す。 (2) 空気調和機に取り付けるサブライチャンバー、レタンチャンバー及びダクト系で消音内貼した チャンバーには点検口を設け、点検口の大きさは図示による。 (3) ガラリに直接取り付けるチャンバー及びホッパーは雨水の滞留のないように施工する。  (1) 防煙ダンパー 復帰方式 ( ○ 遠隔 ○ ) 定格入力はDC24V、0.7A以下とする。 (2) ピストンダンパー 復帰方式 ( ○ 遠隔 ○ )																																														
	○ 風量測定口	(1) 冷水水管 ○ (2) 冷却水管 ○ (3) 油 管 ○ (4) 蒸 気 管 給気管 ○ 還 管 ○ (5) 高温水管 ○ (6) 膨張管、空気抜き管及び 膨張タンクよりボイラー等への補給水管 ○ (7) ドレン管 ○ 硬質ポリ塩化ビニル管 (VP) ○ 硬質ポリ塩化ビニル管 (ｶﾞｰVP) (8) 冷媒管 ○ 断熱材被覆銅管																																														
	○ チャンバー	JIS 又は JV ( ○ 5K ○ 10K (図示部分) ) ○ 65A以上の冷温水・冷却水用弁装置の仕切弁はバタフライ弁とする。 ○ 鋼管用伸縮継手の種類は図示による。 ○ ステンレス鋼管に取付ける弁類は、ステンレス製とする。 ○ ファンコイルユニットと冷温水管の接続部 (往・還) には、ボール弁を取付ける。 ○ ファンコイルユニットには、 ○ 流量調整弁 ○ 定流量弁 を設置する。																																														
○ ダンパー	取付け箇所は図示による。																																															
○ 配管材料	取付け箇所は図示による。 取付け箇所は図示による。 なお、瞬間流量計 ( ○ 固定型 ○ 着脱型 ) はピート管方式とし、止水コック付とする。  制御盤には、( ○ 給油ポンプ制御 ○ 満油警報 ○ 遠隔警報 ○ 漏えい検知警報 ○ 返油ポンプ制御 ○ 減油警報 ○ ) の端子を設ける。 なお、フロートスイッチ部と制御盤間の配管・配線は製造者の標準仕様とする。																																															
○ 弁 類	図示の位置に取付ける。 ○ 遠りダクトの保温 範囲は (○ 図示による ○ ) ○ 外気ダクトの保温 範囲は (○ 図示による ○ ) ○ 膨張タンクよりボイラー等への補給水管の保温は、標準仕様書第2編 3.1.4 の温水管の項による。 ○ 建物内の空気抜き管の保温は、標準仕様書第2編 3.1.4 温水管の項による。(エア抜き弁以降の 配管は、除く) ○ 空気調和機及びファンコイルユニットの排水管の保温は、標準仕様書第2編 3.1.5 の排水管の項による。 ○ 冷媒管の保温外装は別表-2による。																																															
○ 温度計																																																
○ 圧力計																																																
○ 瞬間流量計																																																
○ 油面制御装置																																																
○ 絶縁継手																																																
○ 保温及び消音内貼 [リ]																																																
○ 換気設備	○ ダクト	○ 低圧ダクト ( ○ コーナーボルト工法 (長辺の長さが 1500 mm以下の部分) ○ アンクルフランジ工法 ○ スパイラルダクト ) とする。  ○ 高圧1ダクトの適用範囲は図示による。 ○ ステンレスダクト及び塩化ビニルダクトの仕様及び適用範囲は図示による。 ○ 厨房系統の長方形排気ダクトの板厚は、標準仕様書より1番手厚いものを使用する。 取付箇所は図示による。	○ 給湯設備	○ 排水設備	○ 洗面器等の排水設備	○ 給湯設備	○ 洗面器等の排水設備	○ 給湯設備	○ 洗面器等の排水設備	○ 給湯設備	○ 洗面器等の排水設備	○ 給湯設備	○ 洗面器等の排水設備	○ 給湯設備	○ 洗面器等の排水設備	○ 給湯設備	○ 洗面器等の排水設備																															
	○ 風量測定口	空気調和設備の当該項目による。																																														
	○ ダンパー	○ 浴室 (シャワー室、脱衣室を含む) 系統 ○ 厨房系統 ○ 高圧2ダクトのシール 長方形ダクト ○ N・Aシール ○ Bシール 円形ダクト ○ A、Bシール ○ Cシール																																														
	○ 排気ダクトのシール	空気調和設備の当該項目による。																																														
	○ チャンバー	○ 全熱交換ユニット用の外気ダクト ( ○ 保温の厚さ25mm、範囲は図示による。 ○ ) 多湿箇所のダクトの保温要 ( ○ 保温の厚さ25mm、範囲は図示による。 ○ ) ○ ( ○ 厨房 ○ 湯沸室 ○ ) の隠ぺいダクト (仕様はh・(f)・IX) とし、範囲は図示による。																																														
	○ 保温																																															
	○ ダクト	○ 垂鉛鉄板 ○ 普通鋼板 (厚1.6mm)																																														
	○ 排煙口の形式	○ 図示による。																																														
	○ 排煙口手動開放装置 (開放及び復帰方式)	○ ワイヤー式 ○ 電気式 ( 遠隔操作 ○ 要 ○ 不要 )																																														
	○ 排煙風量測定	建築設備定期検査業務基準書平成28年度版 (一財) 日本建築設備・昇降機センター) の排煙風量の検査方法に準ずる。																																														
○ 自動制御設備	○ 中央監視制御装置	○ 有り ( ○ 新設 ○ 既設 ) ○ 無し 図示による。  使用する電線及びケーブルは、原則としてEM電線又はEMケーブルとする。 屋外・屋内露出の電線は、図面に特記がなければ金属管配線とする。 天井内隠ぺいの配線は、図面に特記がなければケーブル配線とする。	○ 排水処理設備	○ 排水処理設備	○ 排水処理設備	○ 排水処理設備	○ 排水処理設備	○ 排水処理設備	○ 排水処理設備	○ 排水処理設備	○ 排水処理設備	○ 排水処理設備	○ 排水処理設備	○ 排水処理設備	○ 排水処理設備	○ 排水処理設備	○ 排水処理設備																															
	○ システム構成・機能																																															
	○ 電気計装用配線																																															
	○ 自動洗浄装置及びその組み込み小便器	洗浄水量は4L/回以下とし、使用状況により洗浄水量が制御できるものとする。  ○ 個別感知777777方式 (一体型) 制御盤 ( ○ 要 ○ 不要 ) 手洗器は止水栓付とする。 ○ 要 材質 ( ○ ) ( ○ 大便器 ○ 小便器 ) ○ 不要 ○ AC電源 ○ 自己発電 ○																																														
	○ 洗面器																																															
	○ 標記板																																															
	○ 自動水栓の電源供給方式																																															
	○ 衛生器具ユニット	ユニットの配管材料は、図示による。  タンク式は6.5L/回以下とする。  仕様は別図による。																																														
	○ 洋風便器																																															
	○ 浴室ユニット																																															
○ 衛生器具設備	○ 排水処理設備		○ 排水処理設備	○ 排水処理設備	○ 排水処理設備	○ 排水処理設備	○ 排水処理設備	○ 排水処理設備	○ 排水処理設備	○ 排水処理設備	○ 排水処理設備	○ 排水処理設備	○ 排水処理設備	○ 排水処理設備	○ 排水処理設備	○ 排水処理設備	○ 排水処理設備																															
	○ 排水処理設備																																															
	○ 排水処理設備																																															
	○ 排水処理設備																																															
	○ 排水処理設備																																															
	○ 排水処理設備																																															
	○ 排水処理設備																																															
	○ 排水処理設備																																															
	○ 排水処理設備																																															
	○ 排水処理設備																																															
○ 衛生器具設備	○ 排水処理設備		○ 排水処理設備	○ 排水処理設備	○ 排水処理設備	○ 排水処理設備	○ 排水処理設備	○ 排水処理設備	○ 排水処理設備	○ 排水処理設備	○ 排水処理設備	○ 排水処理設備	○ 排水処理設備	○ 排水処理設備	○ 排水処理設備	○ 排水処理設備	○ 排水処理設備																															
	○ 排水処理設備																																															
	○ 排水処理設備																																															
	○ 排水処理設備																																															
	○ 排水処理設備																																															
	○ 排水処理設備																																															
	○ 排水処理設備																																															
	○ 排水処理設備																																															

保工仕様		* 適用する保区分 (● 印の付いたものを適用し、○ 印のものは適用しない。)									
区分	項目	施工箇所	保材		保仕様				外装材		
			壁	床	PS				材	寸法	
給排水衛生設備配管	給水管	配水管	○	○	○						
	排水管	排水管・通気管	○	○	○			保箔・鉄線 (PSFの場合粘着テープ)			
	排水管	給湯管	○	○	○			+合成樹脂製カバー			
	(屋外露出、床下、暗室内を除く。)	給水管	○	○	○						
	(空調機等の排水を含む。)	排水管・通気管	○	○	○			保箔・鉄線 (PSFの場合粘着テープ)			
	通気管	給水管	○	○	○			+原紙・アルミガラスクロス			
	(屋外露出、床下、暗室内を除く。)	排水管・通気管	○	○	○			アルミガラスクロス化粧保テープ			
	給湯管	配管内 (ピット内含む)	○	○	○						
	(排水管の分岐点より100m以下の部分)	給水管・消火管	○	○	○			保箔・鉄線 (PSFの場合粘着テープ)			
	消火管	給湯管	○	○	○			+ポリエチレンフィルム			
給湯管 (膨張管含む)	給湯管	配管内 (ピット内含む)	○	○	○			+ポリエチレンフィルム			
	給湯管	配管内 (ピット内含む)	○	○	○			+着色アルミガラスクロス			
	保厚	グラスウール保箔 (GN)	○	○	○			80A以下: 20mm, 100A~150A: 25mm, 200A以上: 40mm			
		ロックウール保箔 (RW)	○	○	○						
		ポリスチレンフォーム保箔 (PSF)	○	○	○			80A以下: 20mm, 100A 以下: 25mm			
			○	○	○			鉄 (PSFの場合鉄線又は接着剤)			
			○	○	○			+保板 (厚さ25mm)			
			○	○	○			+ポリスチレンフィルム+鉄線+外装材			
			○	○	○						
			○	○	○			鉄+保板 (厚さ25mm)+鉄線+外装材			
空気調和設備配管	温水管	温水管	○	○	○			保箔・鉄線・合成樹脂製カバー			
	蒸気管	配管内 (ピット内含む)	○	○	○			保箔・鉄線・原紙			
	蒸気管	配管内 (ピット内含む)	○	○	○			+アルミガラスクロス			
	蒸気管	屋外露出	○	○	○			アルミガラスクロス化粧保テープ			
	蒸気管	(バルコニー、開放廊下含む)	○	○	○						
	蒸気管	浴室、厨房等の多湿箇所 (厨房の天井内は含まない)	○	○	○			保箔・鉄線			
	蒸気管	浴室、厨房等の多湿箇所 (厨房の天井内は含まない)	○	○	○			+ポリエチレンフィルム+外装材			
	蒸気管	配管内 (ピット内含む)	○	○	○			保箔・鉄線+ポリエチレンフィルム			
	蒸気管	配管内 (ピット内含む)	○	○	○			+着色アルミガラスクロス			
	保厚	グラスウール保箔 (GN)	○	○	○			80A以下: 20mm, 100A~150A: 25mm, 200A以上: 40mm			
冷水管	冷水管	冷水管	○	○	○			25A以下: 20mm, 32A~50A: 30mm, 65A 以下: 40mm			
	冷水管	冷水管	○	○	○						
	冷水管	屋外露出	○	○	○			保箔・鉄線 (PSFの場合粘着テープ)			
	冷水管	屋外露出	○	○	○			+ポリエチレンフィルム			
	冷水管	屋外露出	○	○	○			+合成樹脂製カバー			
	冷水管	屋外露出	○	○	○						
	冷水管	屋外露出	○	○	○			保箔・鉄線+ポリエチレンフィルム			
	冷水管	屋外露出	○	○	○			+原紙・アルミガラスクロス			
	冷水管	屋外露出	○	○	○			保箔・粘着テープ			
	冷水管	屋外露出	○	○	○			+ポリエチレンフィルム			
冷水管 (水温度2~4℃)	冷水管	冷水管	○	○	○			アルミガラスクロス			
	冷水管	冷水管	○	○	○						
	冷水管	冷水管	○	○	○			保箔・鉄線 (PSFの場合粘着テープ)			
	冷水管	冷水管	○	○	○			+ポリエチレンフィルム			
	冷水管	冷水管	○	○	○			+アルミガラスクロス			
	冷水管	冷水管	○	○	○						
	冷水管	冷水管	○	○	○			保箔・鉄線 (PSFの場合粘着			

[illegible]

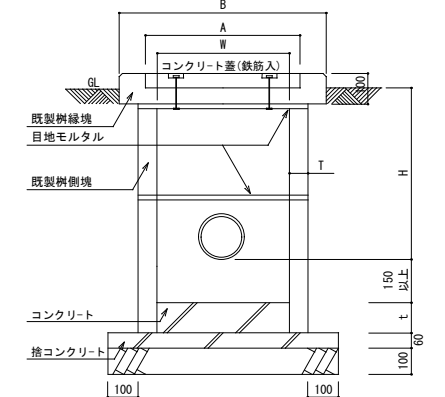
インバート構 施工要領図 S-1 ・ S-2



寸法	深さ	H=600以下	H=600超
		S-1	S-2
W		450×450	600×600
T		45	50
t		100	120
A		700	850

1. 蓋は鉄製防臭蓋とする。  
(鎖付き、汚水マーク入り)
2. 既製樹側塊、縁塊は、すべて鉄筋入りとする。
3. 既製樹側塊、縁塊は、ズレを防止する構造とする。

ため樹 施工要領図 R-1 ・ R-2

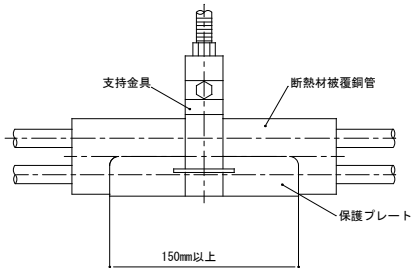


寸法	深さ	H=600以下	H=600超
		R-1	R-2
W		450×450	600×600
A		520×520	670×670
B		650×650	800×800
T		45	50
t		100	120

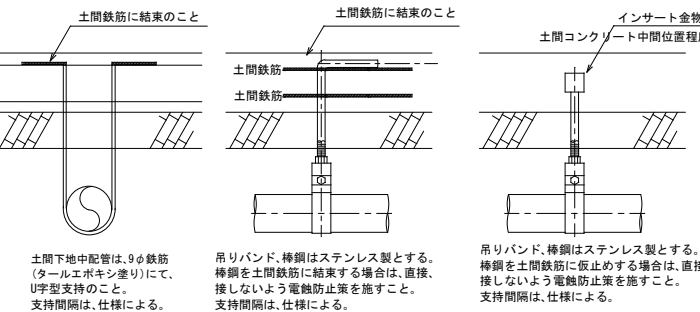
1. コンクリート蓋は、既製樹用とし、鉄筋入とする。
2. 既製樹側塊、縁塊は、すべて鉄筋入りとする。
3. 鋳鉄蓋を使用する場合は汚水樹に準ずる。

機 材 等	

## 令煤配管支持要領



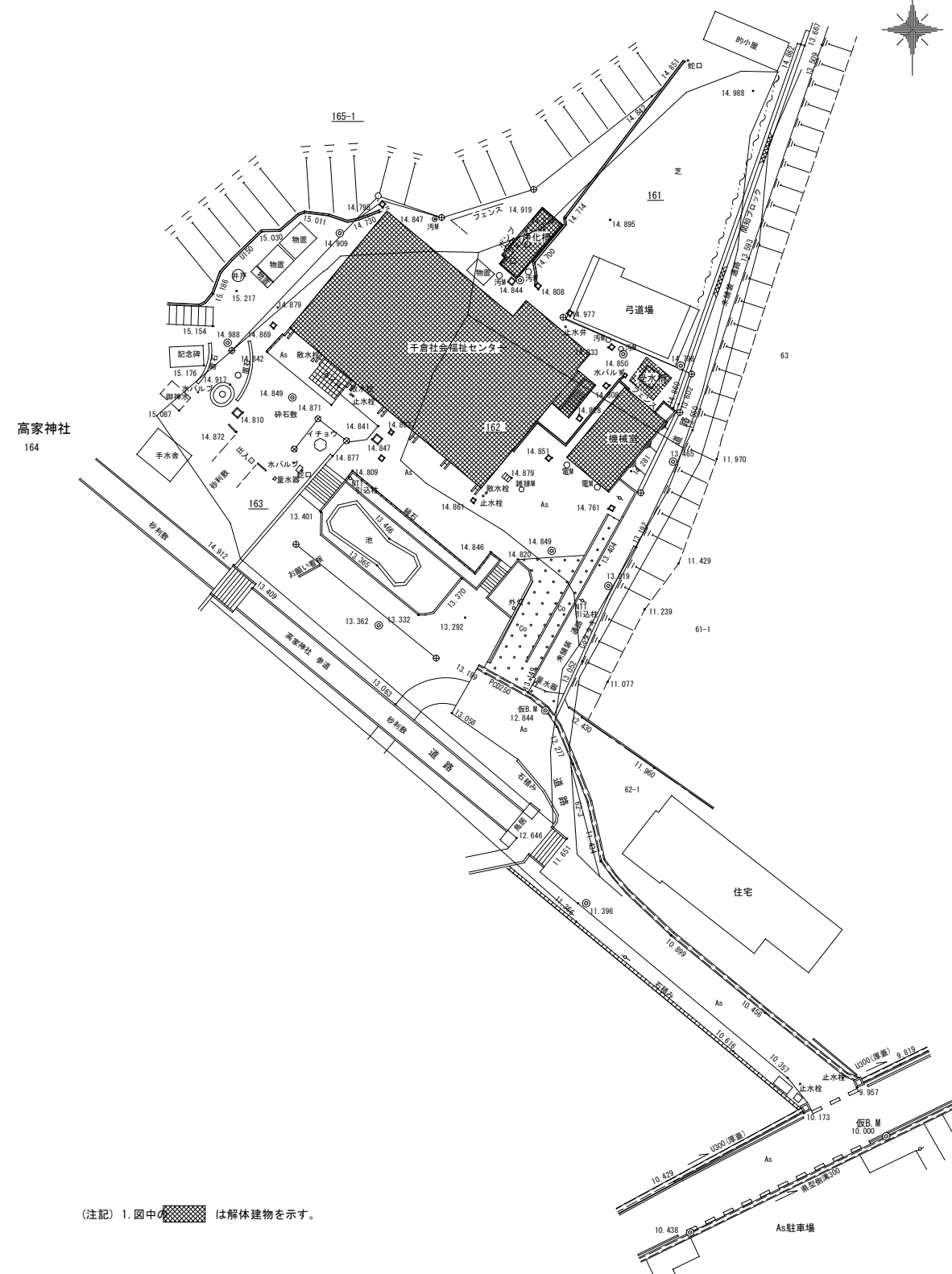
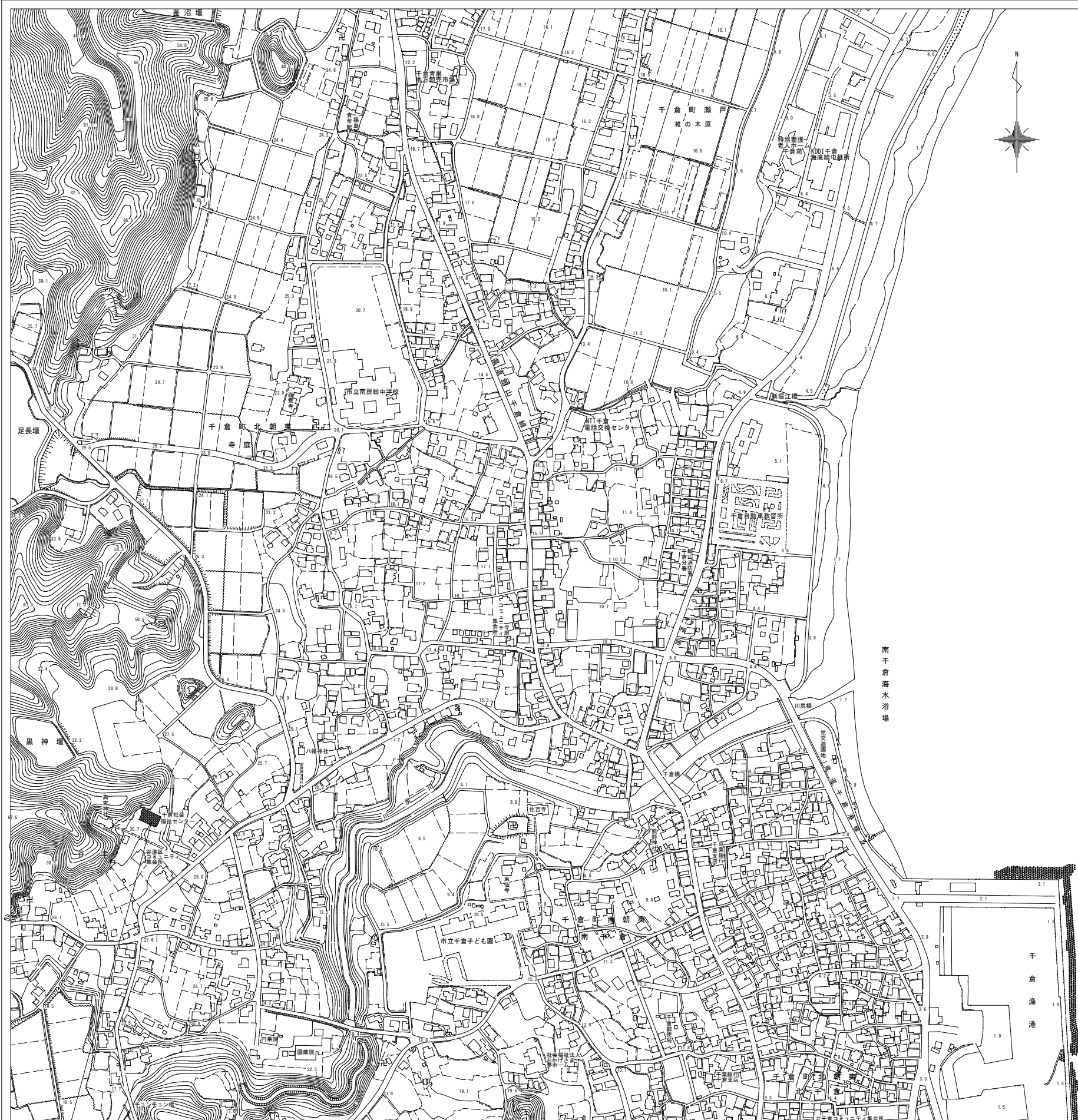
土間下配管詳細図



名 称	记 号	室内径	受 枠	安全荷重	備 考
防臭中耐蓋	MH-A-45	450φ	560	1500kg以上	
防臭中耐蓋	MH-A-60	600φ	710	1500kg以上	
防臭重耐蓋	MH-D-45	450φ	560	5000kg以上	
防臭重耐蓋	MH-D-60	600φ	710	5000kg以上	

### 樹標準構成表

W	H	側塊			既製 綠塊
		150H	300H	450H	
450	250 ~ 400			1	1
450	400 ~ 550	1		1	1
450	560 ~ 700		1	1	1
450	710 ~ 850			1	1
600	530 ~ 680		1	1	1
600	690 ~ 830	1	1	2	1
600	840 ~ 980			2	1
600	990 ~ 1130	1		2	1
600	1140 ~ 1280		1	2	1
600	1290 ~ 1430	1	1	2	1





配管				
	種 別	記 号	備 考	
○ 共 通	管の太さ 及 種 類	管の太さ又は種類を示す場合は、図の下又は右から読めるように図示するか、引出線を用いて図示する。  管の太さ又は種類を同時に示す場合は、管の太さを表わす文字の次に管の種類を表わす記号を記入する。  なお、管種記号は必要に応じて記入する。	<div>密着</div> <div>管径</div> <div>管径</div> <div>管径</div>	
		管の接続状態	接続していないとき 接続しているとき	
		管の立体的表示	立管 立上り 立下り	
	管の継手	フランジ	— H —	特に継手を示す場合に用いる。
		ユニオン	— U —	同 上
		チーゾ	— T —	同 上
		90° Y	— Y —	同 上
		90° エルボ	— E —	同 上
		ベント	— B —	同 上
		満水試験継手	— M —	
		プラグ	— P —	
		フレキシブルジョイント	— F —	たわみ継手、可とう継手等
	防振継手	— V —		
	ボールジョイント	— O —		
	貫 通 部	スリーブ	— S —	
防火壁貫通		— F —		
防水層		— W —		
はつり箇所		— H —		
○ 空 調		送 り	— S —	必要に応じ、使用圧を記入 (例) — S (0.05MPa) 中圧: SM 高圧: SH
		返 り	— SR —	破線としてもよい。
	冷却水管	送 り — CD — 返 り — CDR —	破線としてもよい。	
	冷 水 管	送 り — C — 返 り — CR —	破線としてもよい。	
	冷 媒 管	送 り — R — 返 り — RR —	送り管・返り管を同一線で表現した例 — R・RR —	
	ブライン管	送 り — B — 返 り — BR —		
	温 水 管	送 り — H — 返 り — HR —	破線としてもよい。	
	ドレン管	— D —		
	膨 張 管	— E —	破線としてもよい。	

配管				
	種 別	記 号	備 考	
○ 空 調	油 管	送 り	— O —	
		返 り	— OR —	破線としてもよい。
		通 気 管	— OV —	
	○ 衛 生	給 水 管	上 水 — — — — 雑用水 — — — —	
		給 湯 管	送 り — I — 返 り — II —	
	排 水 管	排 水	— — — —	厨房排水の場合は— KD —
		通 気	— — — — —	
	消 火 管	屋内及び屋外消火栓	— X —	
		連結送水	— XS —	
		連結散水	— XB —	
		スプリンクラー	— SP —	
		粉末消火	— DC —	
		泡 消 化	— F —	
		ハロゲン化物消火	— HL —	
		不 活 性ガス消火	— N —	
海 水 管		海 水 — — — —		
ガ ス 管		液化石油 — G —		

機器及び材料				
	種 別	記 号	備 考	
○ 空 調	蒸 気	蒸気トラップ装置	— T —	バイパス管付きとする。 必要に応じ、使用圧を記入
		リフト継手	— L —	
		伸縮管継手	単式 — S — 複式 — D —	
		油 量 計	— OM —	
		電 磁 流 量 計	— FM —	
	ダ ク ト (図に表われた部分の寸法を先に書く)	空調送気	— SA —	
		同上断面	長方形 円形	必要に応じ、記号を記入
		空調還気	— RA —	
		同上断面	長方形 円形	必要に応じ、記号を記入
		外気又は換気送気	— OA —	換気送気 — VOA —
		同上断面	長方形 円形	必要に応じ、記号を記入
		排 気	— EA —	換気送気 — VEA —
		同上断面	長方形 円形	必要に応じ、記号を記入
		排 煙	— SE —	
		同上断面	長方形 円形	必要に応じ、記号を記入
吹出口(壁付き)				
同上(天井付き及び床付き)			特殊な形状のものは、これに準じて記入	
吸込口(壁付き)				
同上(天井付き)			特殊な形状のものは、これに準じて記入	
ダ ン パー	ダンパー	— D —	次の記号を記入 風量調節ダンパー: VD 防火ダンパー: FD 排煙ダンパー: SMD 防煙ダンパー: SD 排煙ダクト接続の防火ダンパー: HFD 防火防煙ダンパー: SFD 逆流防止ダンパー: CD モーターダンパー: MD ビストンダンパー: PD	
	外気取入れガラリー			
	排 気 ガ ラ リ			
	ベントキャップ	← — C —	必要に応じ、記号及び大きさを記入 (例) 200 巾の場合 VC-200	
	たわみ継手	— W —		
	風 量 測 定 口	— M —		
	風 量 測 定 口	— M —		
	フレキシブルダクト	— F —		
	消 音 エ ル ボ	— S —		
	定風量ユニット	— U —		
	変風量ユニット	— V —		
	排煙口(壁付き)		SE-W×H W:幅 H:高さ	
	排煙口(天井付き)		SE-W×H W:よこ H:たて	
	排煙用自動解放装置			
	・ 制 御	コ イ ル (加熱)	コイル(加熱)	— C —
同 上 (冷却)			— C —	
同 上 (加熱冷却)			— CH —	
換 気 扇			— F —	
制 御 盤			自動制御盤 動力制御盤 動力盤(別途工事)	
ニ 方 弁		— B —	必要に応じ、口の中にMを記入	

機器及び材料					
	種 別	記 号	備 考		
・ 制 御	三 方 弁	三方弁	— T —	必要に応じ、口の中にMを記入	
		電 磁 弁	— E —	必要に応じ、口の中にSを記入	
		温度調節器・検出器	— T —	室内用 必要に応じ、機器記号を記入 (例) T1	
	室 温 調 節 器 ・ 検 出 器	— H —	室内用 必要に応じ、機器記号を記入 (例) H1		
		— H —	ダクト用 必要に応じ、保護管を記入 必要に応じ、Hの箇所に機器記号を記入 (例) HD1		
		電 極 棒	— E —	必要に応じ、LFの後に極数を記入 (例) 3極の場合 LF-3	
	レベルスイッチ	— F —			
	配 線	— S —	シールドが必要な場合はSを記入 (例) — S —		
		ブルボックス	— B —		
		○ 衛 生	給 水	量 水 器	— M —
	水 栓			— W —	
	洗 浄 弁			— W —	
	水		ボールタップ	— B —	
			シャワー	— S —	
			水 抜 栓	— W —	
水 栓 柱	— W —				
排	床上掃除口		— B —		
	床下掃除口		— B —		
	床排水トラップ		— B —		
水	排水金具		— D —		
	間接排水金具		— D —		
	グリース阻集器		— G —		
水	トラップ樹		— T —		
	インバート樹		— I —		
	ため樹	— T —			
火	公 共 樹	— G —			
	屋内消火栓	— W —			
	屋内消火栓(放水口共)	— W —	必要に応じ、1号消火栓の場合は1を、2号消火栓の場合は2を、補助散水栓の場合は補を、易操作性1号消火栓の場合は易1を、広範囲型2号消火栓の場合は広2を (例) 記入する。		
火	連結送水管放水口	— W —	放水口格納箱付き 放水用器具格納箱付き		
	屋外消火栓(地上式)	— H —	屋外消火栓箱付き		
	屋外消火栓(組込形)	— H —	屋外消火栓箱付き		
火	送 水 口	— W —	自立形		
	放 水 口	— W —			
	テ ス ト 弁	— T —			

機器及び材料				
	種 別	記 号	備 考	
○ 衛 生	制 御 盤	制御盤	— C —	
		選 択 弁	— S —	
		流水検知器	— L —	
	直 流 電 源 装 置	直流電源装置	— D —	
		手動起動装置	— M —	
		復 旧 弁 箱	— R —	
	モーターサイレン	モーターサイレン	— M —	
		ピストンレリーザ	— P —	手元復帰
		レリーザ操作管	— L —	遠隔復帰
	スプリンクラ、泡及び連結散水ヘッド	スプリンクラ、泡及び連結散水ヘッド	— S —	解放形 手作動作
		噴射ヘッド	— H —	
		ガ ス	ガス栓	— G —
	ガスメーター		— M —	
	壁埋込ガス栓		— G —	
	ス	バルブ	— B —	

空調設備新設機器表

[illegible][illegible]

一級建築士事務所

一級建築士事務所 千葉県登録 第 1-2209-2531 号  
〒295-0023 千葉県南房総市千倉町川口88 TEL0470-43-1718  
一級建築士 第 203776 号 荒井恭一

千倉社会福祉センター解体撤去工事設計図面

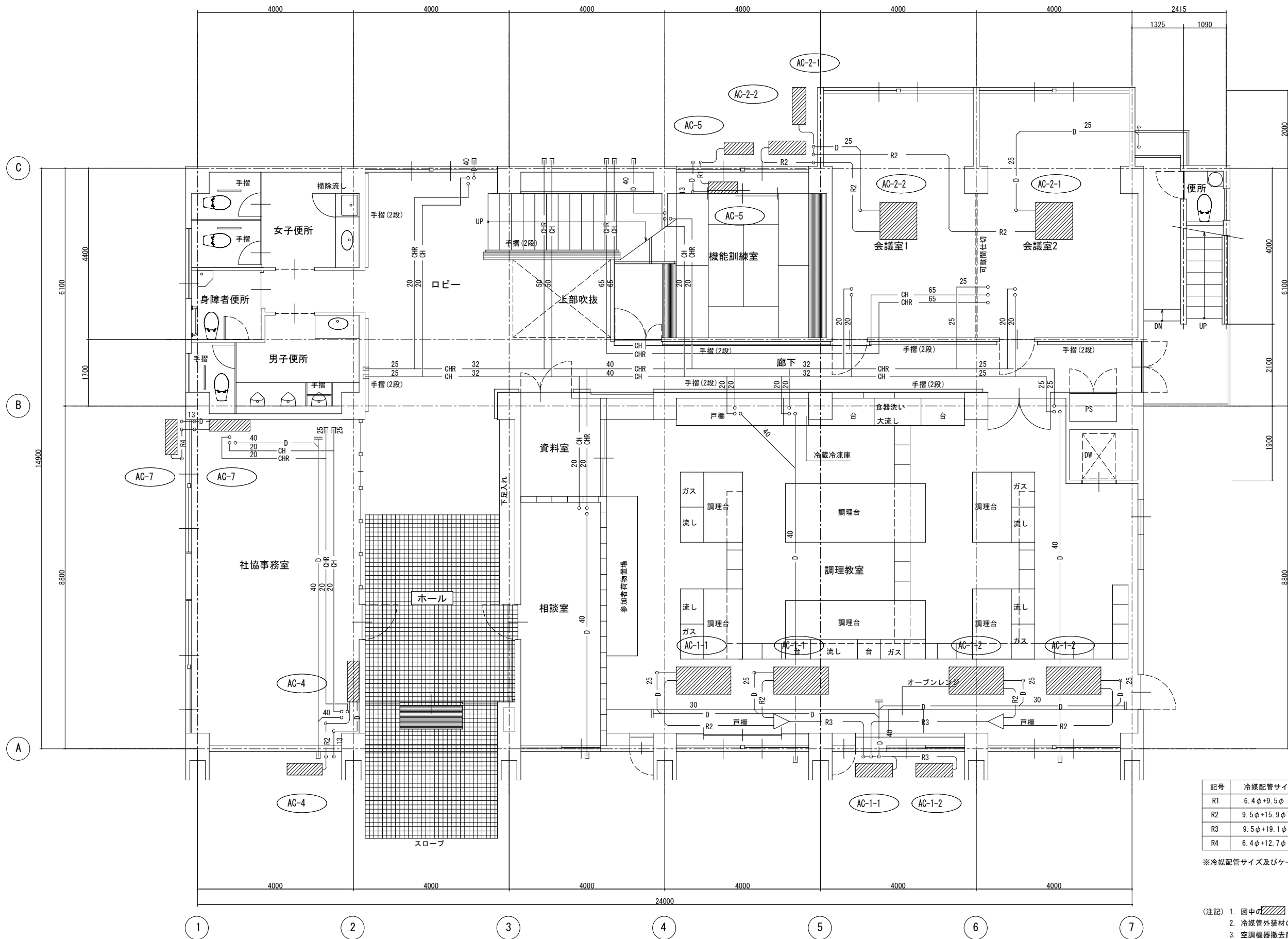
### 空調設備撤去機器表

令和7年 3月

S=NOT (A1)

S=NOT (A3)

NO M-06



記号	冷媒配管サイズ	備考
R1	6.4φ+9.5φ	VVF2.0-3C
R2	9.5φ+15.9φ	〃
R3	9.5φ+19.1φ	〃
R4	6.4φ+12.7φ	〃

※冷媒配管サイズ及びケーブルは参考とする。

- (注記) 1. 図中の~~〃~~ 機器及び冷媒管、ドレン管は撤去のこと。  
2. 冷媒管外装材のステンレスラッキング等も撤去のこと。  
3. 空調機器撤去前にフロン回収のこと。  
4. 冷温水管 (CH, CHR) はSGP (白) 土間下配管撤去。

1階平面図 S=1/50



一級建築士事務所

一級建築士事務所 千葉県登録 第 1-2209-2531 号  
〒295-0023 千葉県南房総市千倉町1288 TEL0470-43-1718  
一級建築士 第 203776 号 荒井恭一

千倉社会福祉センター解体撤去工事設計図面

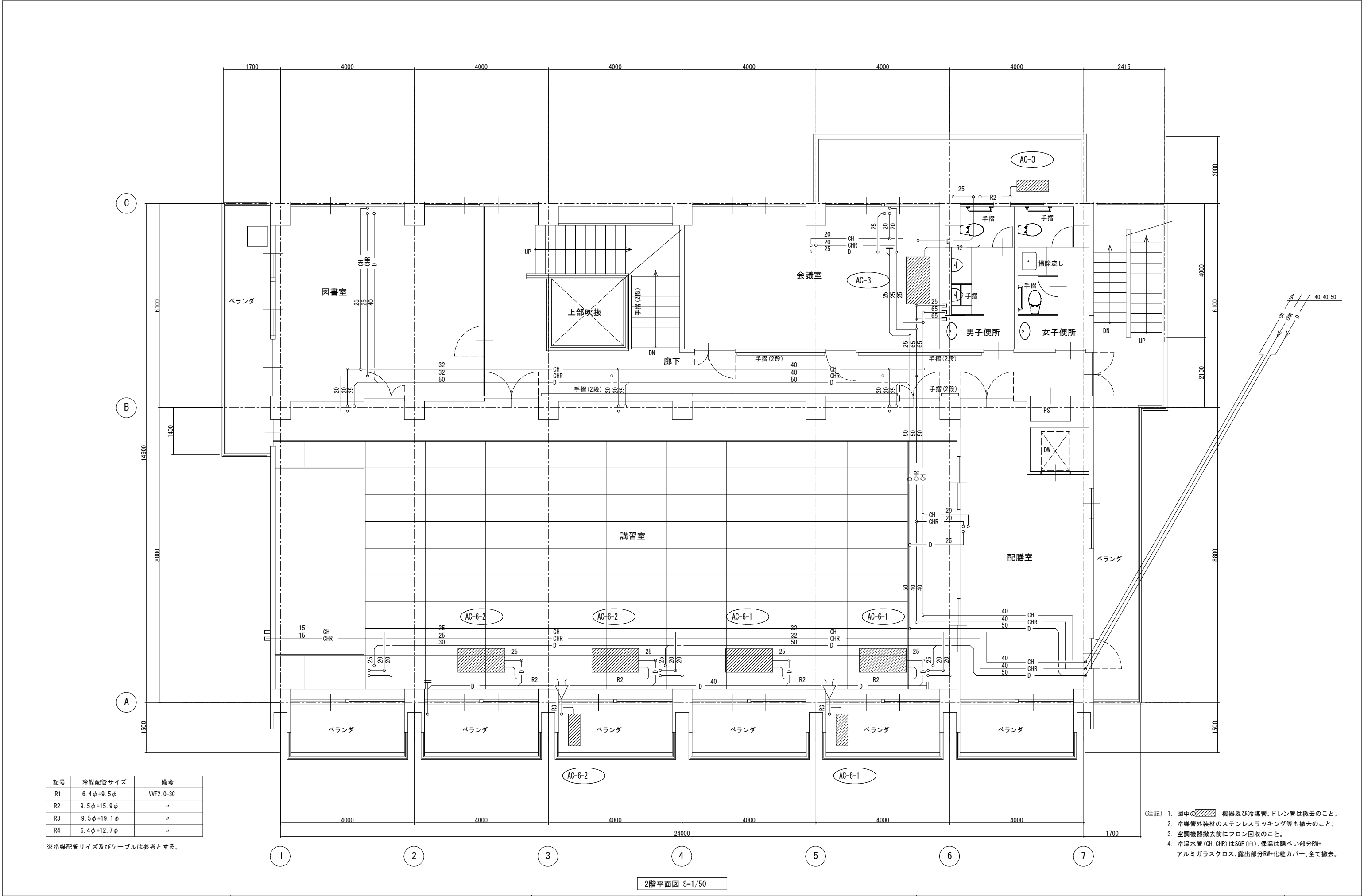
1階空調設備図(撤去)

令和7年 3月

S=1/50 (A1)

S=1/100 (A3)

NO M-07

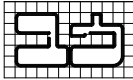


記号	冷媒配管サイズ	備考
R1	6.4φ+9.5φ	VVF2.0-30
R2	9.5φ+15.9φ	"
R3	9.5φ+19.1φ	"
R4	6.4φ+12.7φ	"

※冷媒配管サイズ及びケーブルは参考とする。

- (注記) 1. 図中の機器及び冷媒管、ドレン管は撤去のこと。  
2. 冷媒管外装材のステンレスラッキング等も撤去のこと。  
3. 空調機器撤去前にフロン回収のこと。  
4. 冷温水管 (CH, CHR) はSGP (白)、保温は隠ぺい部分RW+アルミガラスクロス、露出部分RW+化粧カバー、全て撤去。

2階平面図 S=1/50



一級建築士事務所

一級建築士事務所 千葉県登録 第 1-2209-2531 号  
〒295-0023 千葉県南房総市千倉町川口88 TEL0470-43-1718  
一級建築士 第 203776 号 荒井恭一

千倉社会福祉センター解体撤去工事設計図面

2階空調設備図 (撤去)

令和7年 3月

S=1/50 (A1)

S=1/100 (A3)

NO M-08



## 換氣設備撤去機器表

[illegible][illegible]

一級建築士事務所

一級建築士事務所 千葉県登録 第 1-2209-2531 号  
〒295-0023 千葉県南房総市千倉町川口88 TEL0470-43-1718  
一級建築士 第 203776 号 荒井恭一

千倉社会福祉センター解体撤去工事設計図面

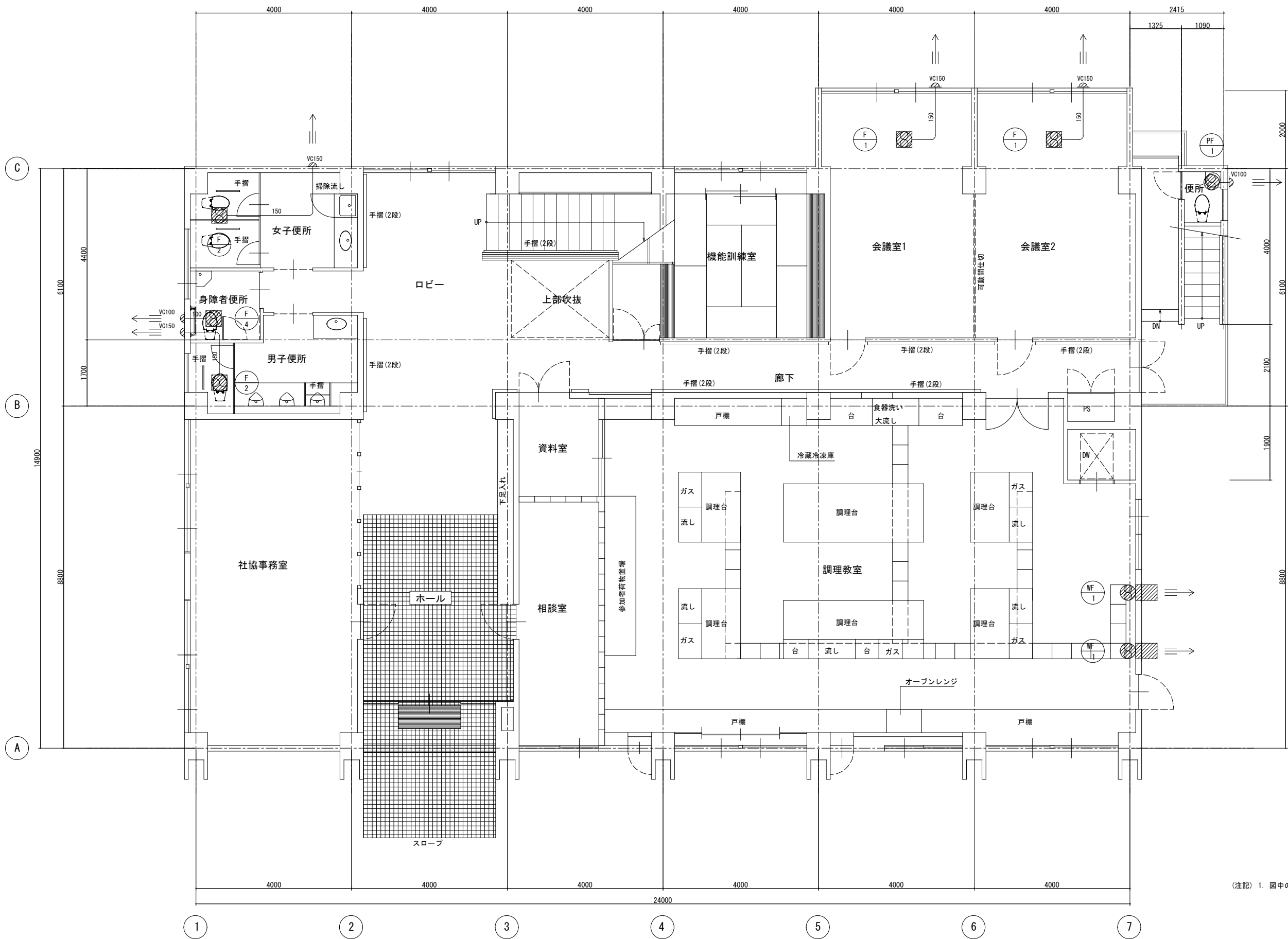
### 換氣設備撤去機器表

令和7年 3月

S=NOT (A1)

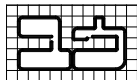
S=NOT (A3)

NO M-09



(注記) 1. 図中の斜線記号は機器及びダクト管は撤去のこと。

1階平面図 S=1/50



一級建築士事務所

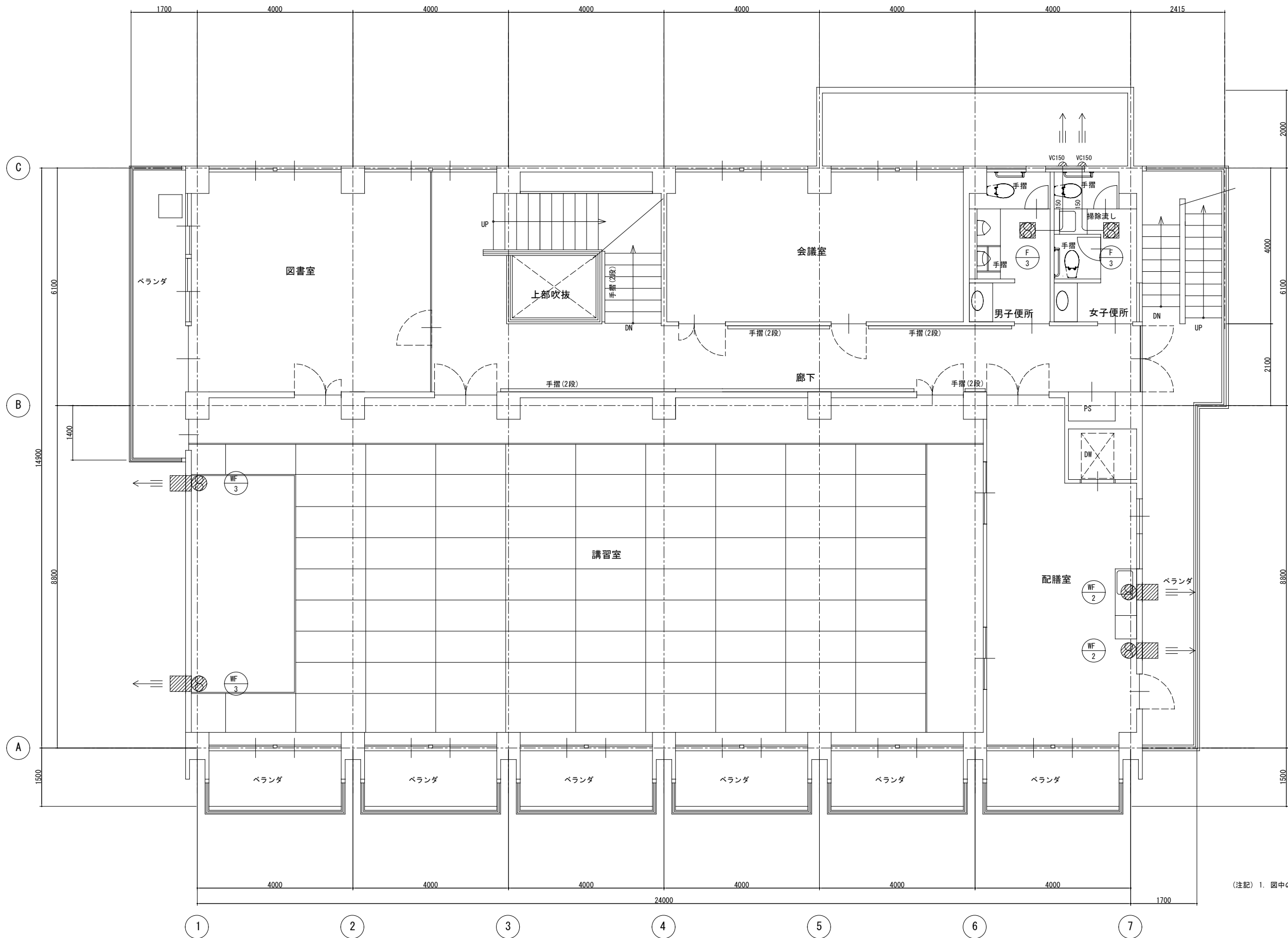
一級建築士事務所 千葉県登録 第 1-2209-2531 号  
〒295-0023 千葉県南房総市千倉町川口288 TEL0470-43-1718  
一級建築士 第 203776 号 荒井恭一

千倉社会福祉センター解体撤去工事設計図面

1階換気設備図(撤去)

令和7年 3月  
S=1/50 (A1)  
S=1/100 (A3)

NO M-10



(注記) 1. 図中の 機器及びダクト管は撤去のこと。

2階平面図 S=1/50



一級建築士事務所

一級建築士事務所 千葉県登録 第 1-2209-2531 号  
〒295-0023 千葉県南房総市千倉町川口88 TEL0470-43-1718  
一級建築士 第 203776 号 荒井恭一

千倉社会福祉センター解体撤去工事設計図面

2階換気設備図(撤去)

令和7年 3月  
S=1/50 (A1)  
S=1/100 (A3)

NO M-11

撤去器具表

名称	参考型番	社会福祉センター									機械室	屋外	合 計	備 考
		1階						2階			1階			
		男子 便所	女子 便所	身障者 便所	階段下 便所	調理 教室		男子 便所	女子 便所	配膳 室	ポンプ 室			
洋風便器	C-480S (FV式)	1	2					1	2				6	撤去
洋風便器	C-21R (タンク式)				1								1	撤去
身障者用便器	C-480H (FV式)			1									1	撤去
温水洗浄便座	TCF581M	1	2	1				1	2				7	撤去
小便器	UFS800C	3						2					5	撤去
掃除流し	SK22A		1						1				2	撤去
洗面器	L546U (アンダーカウンター式)	1	1					1	1				4	撤去
洗面器	L7			1	1								2	撤去
化粧鏡	TS119ASR5 (450x600)	1	1	1				1	1				5	撤去
化粧鏡	TS119ASR3 (350x450)				1								1	撤去
L型手摺	T112CL3S			1				1	2				4	撤去
可動型手摺	T112CLS5			1									1	撤去
小便器用手摺	T112CU1	1						1					2	撤去
床設置型手摺	T112CW1	1	2										3	撤去
立自在水栓	T136S13					5							5	撤去
立自在水栓	T136LS13					5							5	撤去
万能ホーム水栓	T200S13									1	1	1	3	撤去
散水栓	T27NH13											2	2	撤去
水栓柱	L=1200 (入研)											1	1	撤去
1槽シンク	1200x550x800									1			1	撤去
ガス台	600x550x600									1			1	撤去

撤去機器表

記号	機器名称	設置場所		機器仕様	台 数	備考
		階	室名			
PU-1	加圧給水ポンプ	1	ポンプ室	推定末端圧力一定 インバーター制御 2台自動交互並列運転 制御盤付	1	撤去
				32Ax50Ax250L/minx22mHx0.75KW		
MP-1	減菌器	1	ポンプ室	パルス発信式 最大吐出量22.8cc/min 最大吐出圧0.98MPa	1	撤去
				パルス発信式流量計50A ケミカルタンク100L		
GH-1	ガス給湯器	1	屋外	30号 屋外設置型 LPG用	1	撤去
GT-1	グリストラップ	1	屋外	土間埋設型 FRP製3槽式 ステンレス製蓋付	1	撤去
				800x400x700H		

撤去配管リスト

	名称	管種	保温外装
・給水管	屋内露出	SGP-VB	合成樹脂カバー
	屋外露出	SGP-VB	ステンレスラッキング
	地中埋設	SGP-VD	-
	屋内隠べい	SGP-VB	アルミガラスクロス
	ビット	SGP-VB	着色アルミガラスクロス
・給湯管	屋内露出	保温付被覆銅管	合成樹脂カバー
	屋外露出	保温付被覆銅管	ステンレスラッキング
	地中埋設	-	-
	屋内隠べい	保温付被覆銅管	アルミガラスクロス
	ビット	保温付被覆銅管	着色アルミガラスクロス
・排水管	屋内露出	-	-
	屋外露出	VP	-
	地中埋設	VP	-
	屋内隠べい	VP、耐火二層管	-
	ビット	-	-
・通気管	屋内露出	VP	-
	屋外露出	-	-
	地中埋設	VP	-
	屋内隠べい	VP	-
	ビット	-	-
・ガス管	屋内露出	カラー銅管	-
	屋外露出	カラー銅管	-
	地中埋設	PLP	-
	屋内隠べい	SGP (白)	-
	ビット	カラー銅管	-
・冷媒管	屋内露出	-	-
	屋外露出	断熱材被覆銅管	ステンレス鋼板
	地中埋設	-	-
	屋内隠べい	断熱材被覆銅管	-
	ビット	-	-
・ドレン管	屋内露出	-	-
	屋外露出	VP	-
	地中埋設	-	-
	屋内隠べい	VP	-
	ビット	-	-

撤去機器表

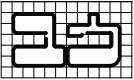
記号	名 称	数量	仕 様	電 源	備 考
T-1	受水槽	1	FRP断熱パネルタンク 1600x1600x1500H (3.0m3) マンホール、梯子、鉄塔架台他付属品	-	撤去

撤去工事要領図

石綿保温材の撤去工事要領図

※石綿保温材で覆われていない直管部分にて切断・撤去すること。

※フランジ部分ではなく直管部分にて切断・撤去すること。



一級建築士事務所

一級建築士事務所 千葉県登録 第 1-2209-2531 号  
〒295-0023 千葉県南房総市千倉町1288 TEL0470-43-1718  
一級建築士 第 203776 号 荒井恭一

千倉社会福祉センター解体撤去工事設計図面

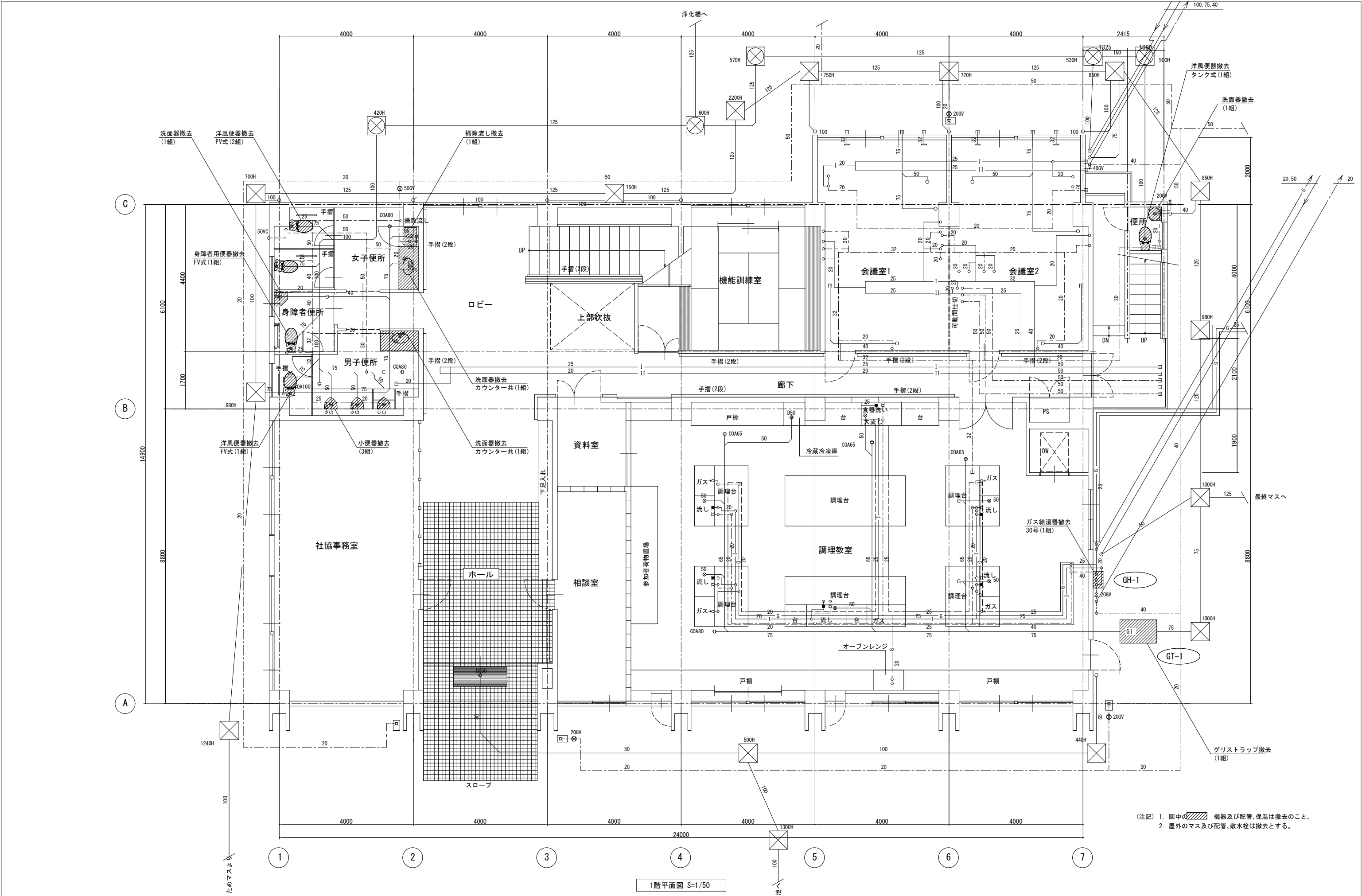
衛生設備設備撤去機器表

令和7年 3月

S=NOT (A1)  
S=NOT (A3)

NO M-12





(注記) 1. 図中の 機器及び配管、保温は撤去のこと。  
2. 屋外のマス及び配管、散水柱は撤去とする。



一級建築士事務所

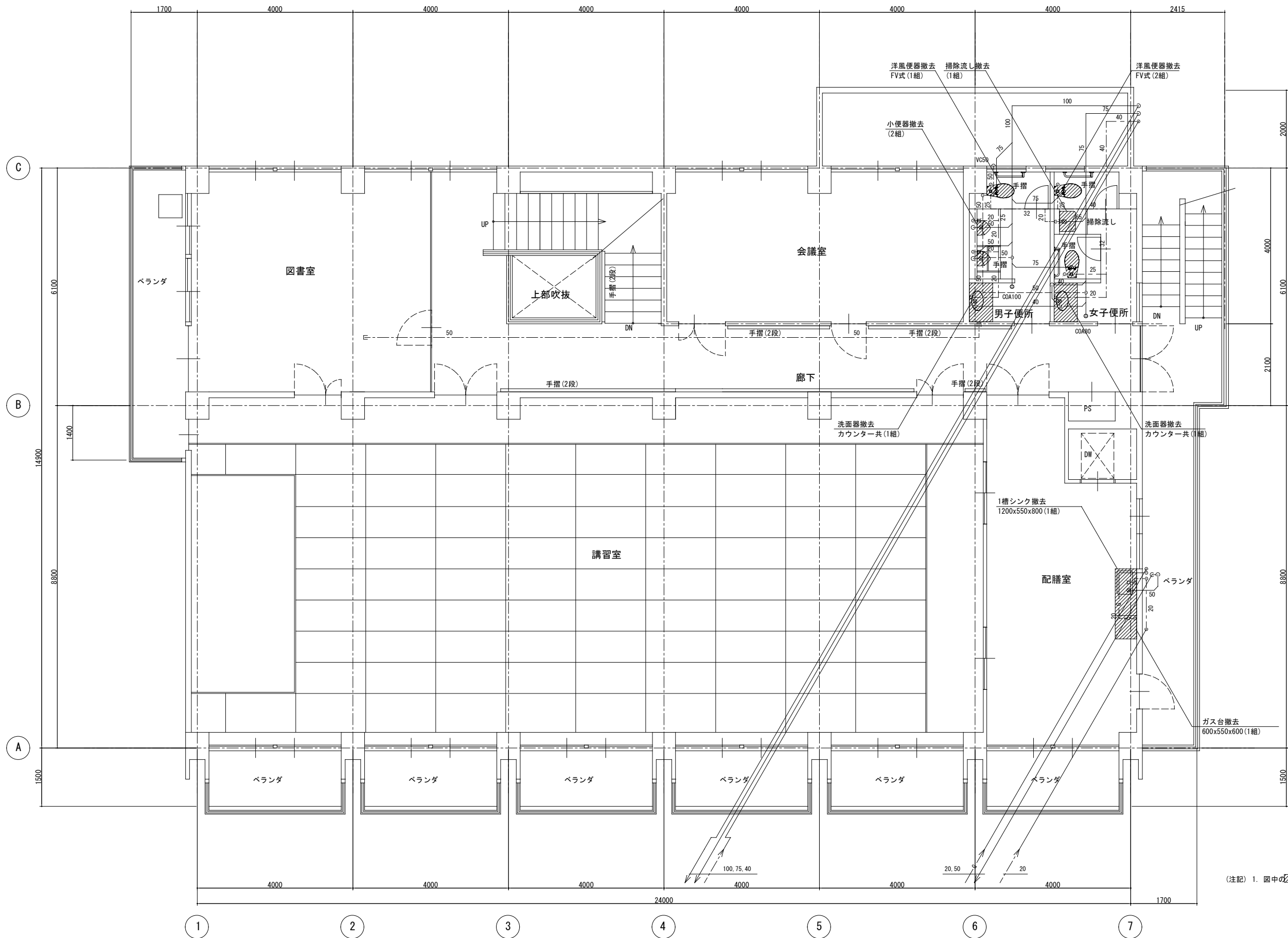
一級建築士事務所 千葉県登録 第 1-2209-2531 号  
〒295-0023 千葉県南房総市千倉町川口288 TEL0470-43-1718  
一級建築士 第 203776 号 荒井恭一

千倉社会福祉センター解体撤去工事設計図面

1階給排水設備図(撤去)

令和7年 3月  
S=1/50 (A1)  
S=1/100 (A3)

NO M-13



(注記) 1. 図中の 機器及び配管、保温は撤去のこと。

2階平面図 S=1/50



一級建築士事務所

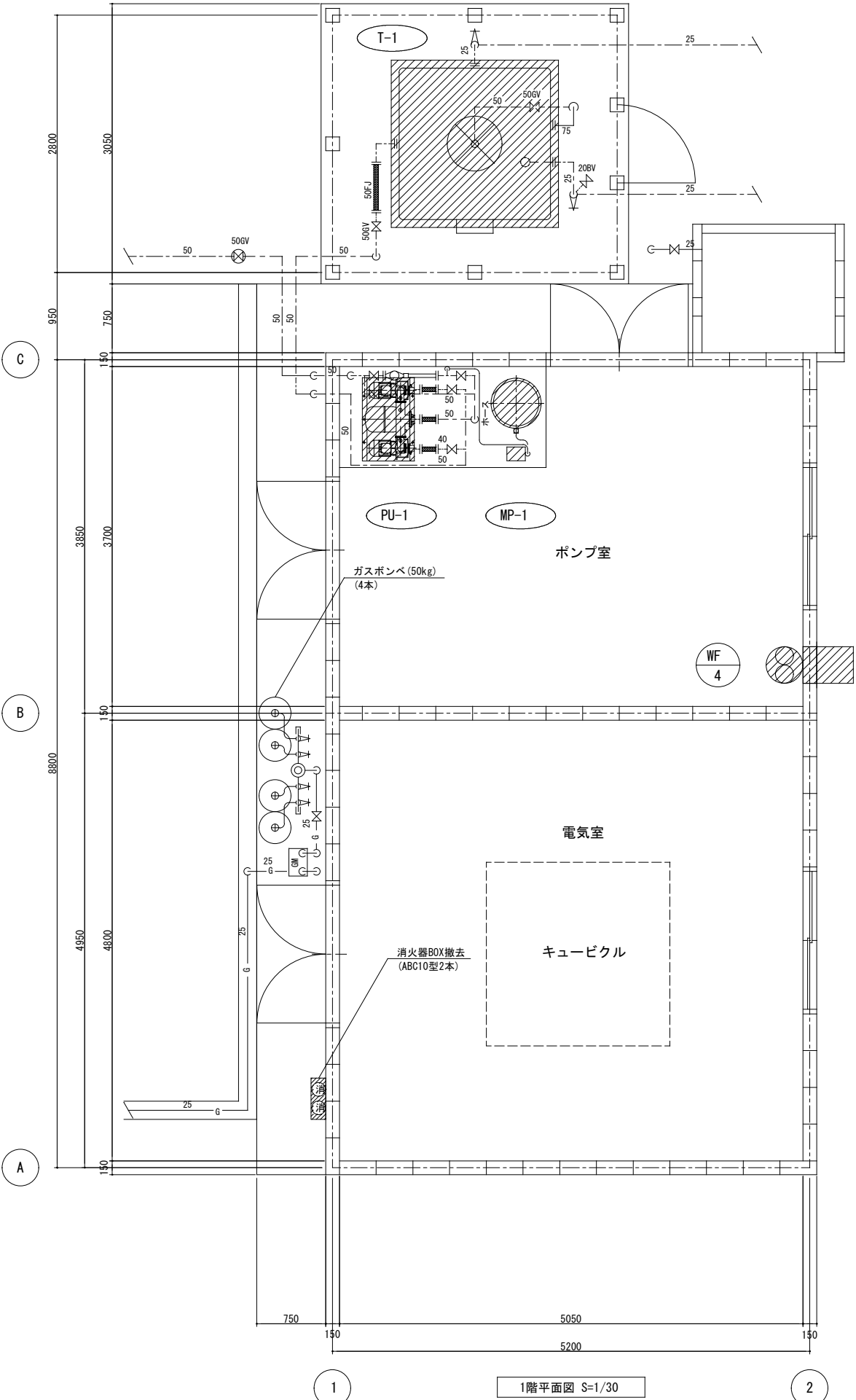
一級建築士事務所 千葉県登録 第 1-2209-2531 号  
〒295-0023 千葉県南房総市千倉町川口288 TEL0470-43-1718  
一級建築士 第 203776 号 荒井恭一

千倉社会福祉センター解体撤去工事設計図面

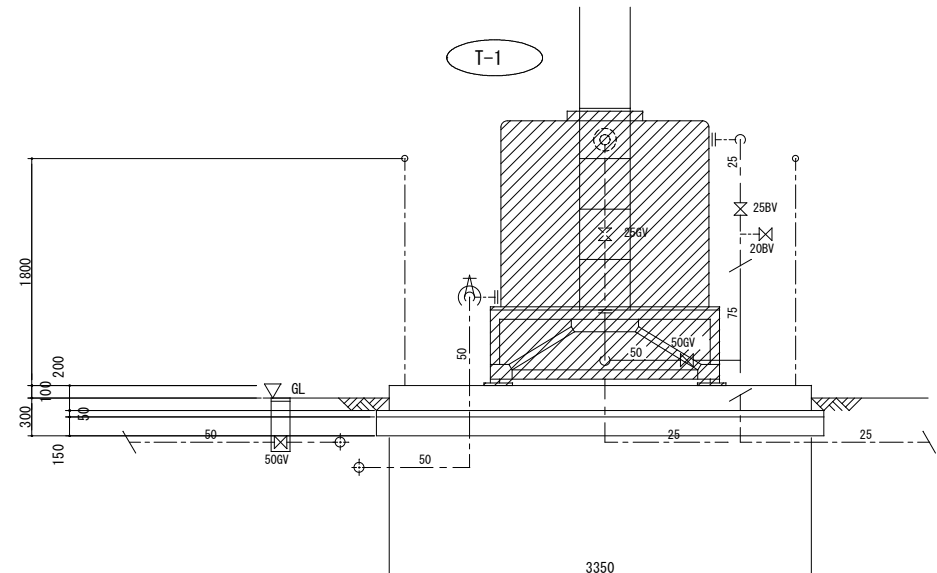
2階給排水設備図(撤去)

令和7年 3月  
S=1/50 (A1)  
S=1/100 (A3)

NO M-14

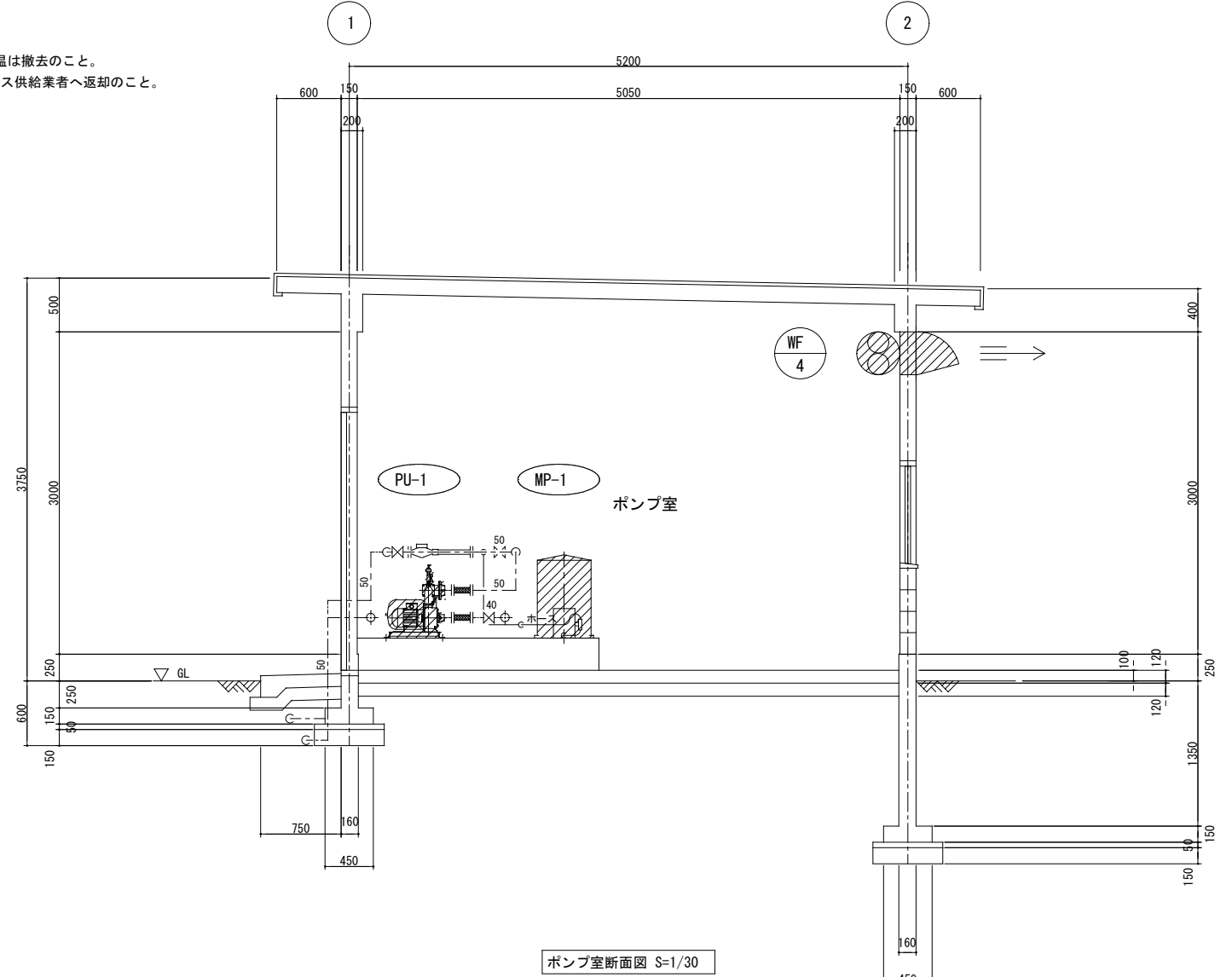


1階平面図 S=1/30

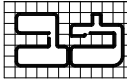


受水槽断面図 S=1/30

(注記) 1. 図中の $\square$  機器及び配管、保温は撤去のこと。  
2. ガスポンペ及びガスメーターはガス供給業者へ返却のこと。



ポンプ室断面図 S=1/30



一級建築士事務所

一級建築士事務所 千葉県登録 第 1-2209-2531 号  
〒295-0023 千葉県南房総市千倉町川口88 TEL0470-43-1718  
一級建築士 第 203776 号 荒井恭一

千倉社会福祉センター解体撤去工事設計図面

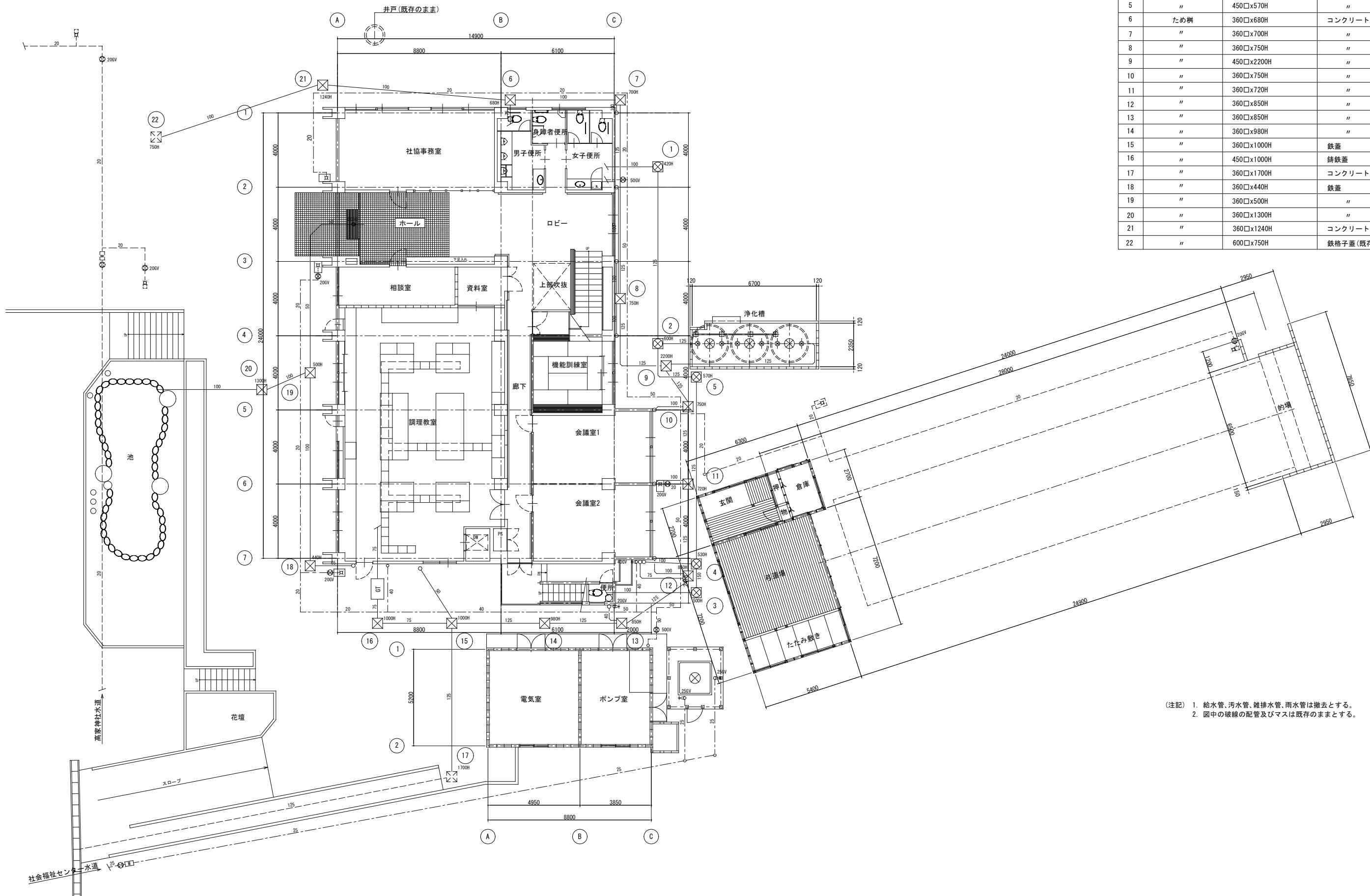
機械室給排水設備図(撤去)

令和7年 3月  
S=1/30 (A1)  
S=1/60 (A3)

NO M-15







一級建築士事務所

一級建築士事務所 千葉県登録 第 1-2209-2531 号  
〒295-0023 千葉県南房総市千倉町川口288 TEL0470-43-1718  
一級建築士 第 203776 号 荒井恭一

千倉社会福祉センター解体撤去工事設計図面

配置図(撤去)

令和7年 3月

S=1/100 (A1)

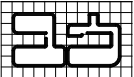
S=1/200 (A3)

NO M-17

# 千倉社会福祉センター解体撤去工事

図 面 目 録

A - 01	解体工事特記仕様書(1) S=NOT	A - 26	浄化槽配筋図 S=1/30(A1) S=1/60(A3)	M - 01	機械設備特記仕様書(1) S=NOT	E - 01	電気設備特記仕様書(1) S=NOT
A - 02	解体工事特記仕様書(2) S=NOT	A - 27	仮設計画図 S=1/150(A1) S=1/300(A3)	M - 02	機械設備特記仕様書(2) S=NOT	E - 02	電気設備特記仕様書(2) S=NOT
A - 03	案内図・配置図 S=1/300(A1) S=1/600(A3)	A - 28	構内仮設計画図 S=1/100(A1) S=1/200(A3)	M - 03	機械設備特記仕様書(3) S=NOT	E - 03	案内図・配置図 S=1/300(A1) S=1/600(A3)
A - 04	仕上表 S=NOT	A - 29	構内舗装計画図 S=1/100(A1) S=1/200(A3)	M - 04	案内図・配置図 S=1/300(A1) S=1/600(A3)	E - 04	電気設備工事凡例 S=NOT
A - 05	1階平面図 S=1/50(A1) S=1/100(A3)			M - 05	機械設備工事凡例 S=NOT	E - 05	受変電設備(撤去) S=NOT
A - 06	2階平面図 S=1/50(A1) S=1/100(A3)			M - 06	空調設備撤去機器表 S=NOT	E - 06	電灯分電盤単線結線図(撤去) S=NOT
A - 07	R階平面図 S=1/50(A1) S=1/100(A3)			M - 07	1階空調設備図(撤去) S=1/50(A=1) S=1/100(A3)	E - 07	1階電灯設備図(撤去) S=1/50(A1) S=1/100(A3)
A - 08	立面図 S=1/100(A1) S=1/200(A3)			M - 08	2階空調設備図(撤去) S=1/50(A=1) S=1/100(A3)	E - 08	1階コンセント設備図(撤去) S=1/50(A1) S=1/100(A3)
A - 09	矩形図1 S=1/20(A1) S=1/40(A3)			M - 09	換気設備撤去機器表 S=NOT	E - 09	2階電灯設備図(撤去) S=1/50(A1) S=1/100(A3)
A - 10	矩形図2 S=1/20(A1) S=1/40(A3)			M - 10	1階換気設備図(撤去) S=1/50(A=1) S=1/100(A3)	E - 10	2階コンセント設備図(撤去) S=1/50(A1) S=1/100(A3)
A - 11	内階段室詳細図 S=1/20(A1) S=1/40(A3)	B - 01	杭伏図 S=1/100(A1) S=1/200(A3)	M - 11	2階換気設備図(撤去) S=1/50(A=1) S=1/100(A3)	E - 11	R階電灯・コンセント設備図(撤去) S=1/50(A1) S=1/100(A3)
A - 12	1階建具図番号 S=1/50(A1) S=1/100(A3)	B - 02	基礎リスト S=1/30(A1) S=1/60(A3)	M - 12	衛生設備撤去機器表 S=NOT	E - 12	1階火災報知設備図(撤去) S=1/50(A1) S=1/100(A3)
A - 13	2階建具図番号 S=1/50(A1) S=1/100(A3)	B - 03	基礎梁リスト S=1/30(A1) S=1/60(A3)	M - 13	1階給排水設備図(撤去) S=1/50(A=1) S=1/100(A3)	E - 13	2階火災報知設備図(撤去) S=1/50(A1) S=1/100(A3)
A - 14	R階建具図番号 S=1/50(A1) S=1/100(A3)	B - 04	伏図 S=1/100(A1) S=1/200(A3)	M - 14	2階給排水設備図(撤去) S=1/50(A=1) S=1/100(A3)	E - 14	R階火災報知設備図(撤去) S=1/50(A1) S=1/100(A3)
A - 15	建具表1 S=1/50(A1) S=1/100(A3)	B - 05	梁リスト S=1/30(A1) S=1/60(A3)	M - 15	機械室給排水設備図(撤去) S=1/30(A=1) S=1/60(A3)	E - 15	1階幹線・弱電設備図(撤去) S=1/50(A1) S=1/100(A3)
A - 16	建具表2 S=1/50(A1) S=1/100(A3)	B - 06	梁リスト・スラブリスト・壁リスト S=1/30(A1) S=1/60(A3)	M - 16	浄化槽撤去図 S=1/30(A=1) S=1/60(A3)	E - 16	2階幹線・弱電設備図(撤去) S=1/50(A1) S=1/100(A3)
A - 17	建具表3 S=1/50(A1) S=1/100(A3)	B - 07	小梁リスト S=1/30(A1) S=1/60(A3)	M - 17	配置図(撤去) S=1/100(A=1) S=1/200(A3)	E - 17	R階幹線・弱電設備図(撤去) S=1/50(A1) S=1/100(A3)
A - 18	1階室内展開図1 S=1/50(A1) S=1/100(A3)	B - 08	架構配筋詳細図 S=1/30(A1) S=1/60(A3)			E - 18	1階動力配置図(撤去) S=1/50(A1) S=1/100(A3)
A - 19	1階室内展開図2 S=1/50(A1) S=1/100(A3)					E - 19	2階動力配置図(撤去) S=1/50(A1) S=1/100(A3)
A - 20	2階室内展開図 S=1/50(A1) S=1/100(A3)					E - 20	機械室分電盤(P-1)単線結線図 S=NOT
A - 21	1階天井伏図 S=1/50(A1) S=1/100(A3)					E - 21	機械室電気設備図(撤去) S=1/50(A1) S=1/100(A3)
A - 22	2階天井伏図 S=1/50(A1) S=1/100(A3)					E - 22	弓道場電灯・コンセント設備図 S=1/50(A1) S=1/100(A3)
A - 23	機械室平断面図 S=1/30(A1) S=1/60(A3)					E - 23	弓道場火災報知設備図 S=1/50(A1) S=1/100(A3)
A - 24	機械室立面図・建具表 S=1/50(A1) S=1/100(A3)					E - 24	配置図 S=1/100(A1) S=1/200(A3)
A - 25	機械室平配筋図 S=1/30(A1) S=1/60(A3)						



一級建築士事務所

一級建築士事務所 千葉県登録 第 1-2209-2531 号  
〒295-0023 千葉県南房総市千倉町川口288 TEL0470-43-1718  
一級建築士 第 203776 号 荒井恭一

千倉社会福祉センター解体撤去工事設計図面

図面目録

令和7年 3月

S=NOT(A1)  
S=NOT(A3)

NO A-00



SEB

一級建築士事務所

一級建築士事務所

千葉県登録  
〒295-0023 千葉県南房総市千倉町川口288  
一級建築士 第 203776 号

第 1-2209-2531 号  
TEL0470-43-1718  
荒井恭一

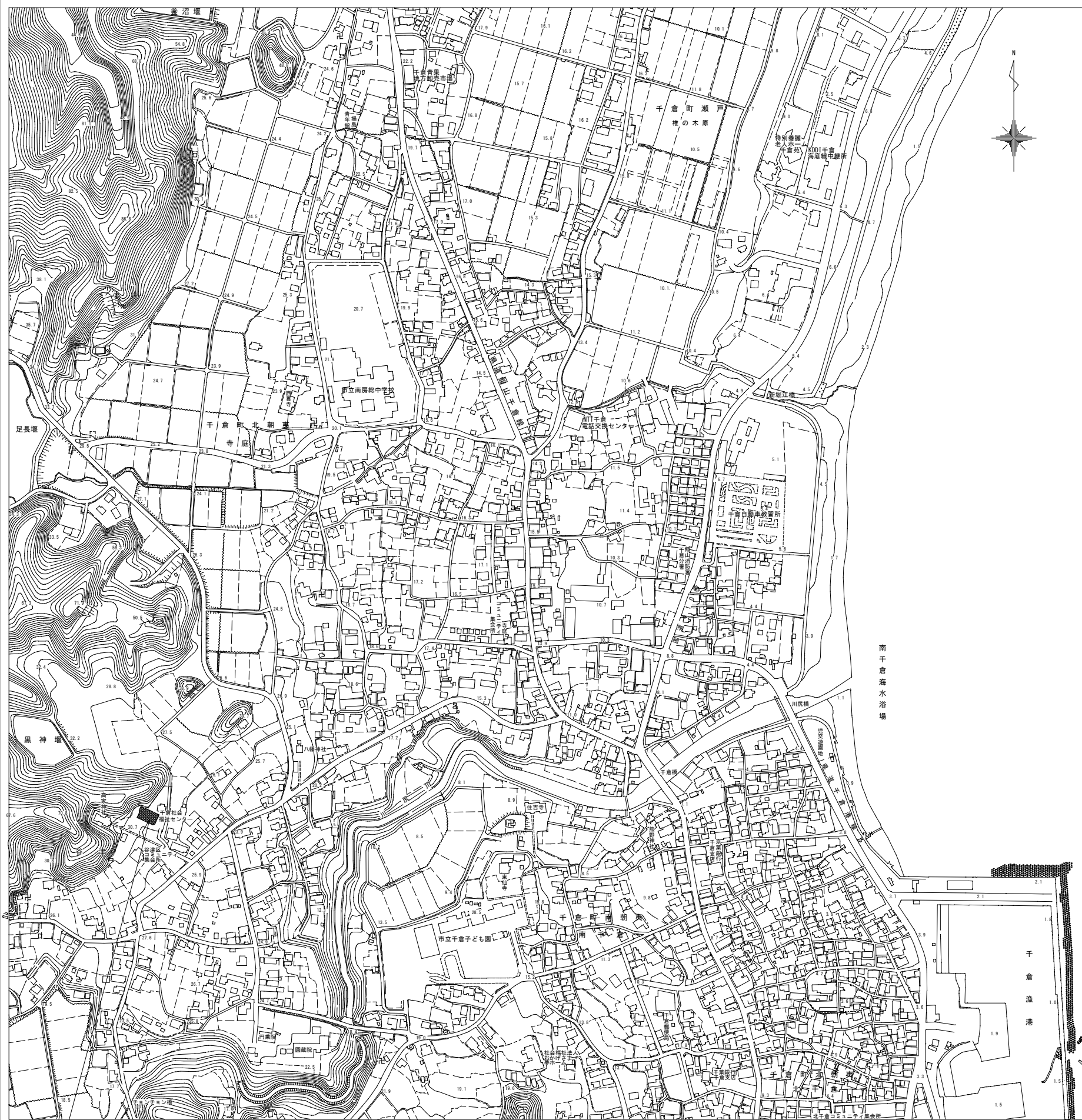
千葉社会福祉センター解体撤去工事設計図面

解体工事特記仕様書(2)

令和7年 3月  
S=NOT(A1)  
S=NOT(A3)

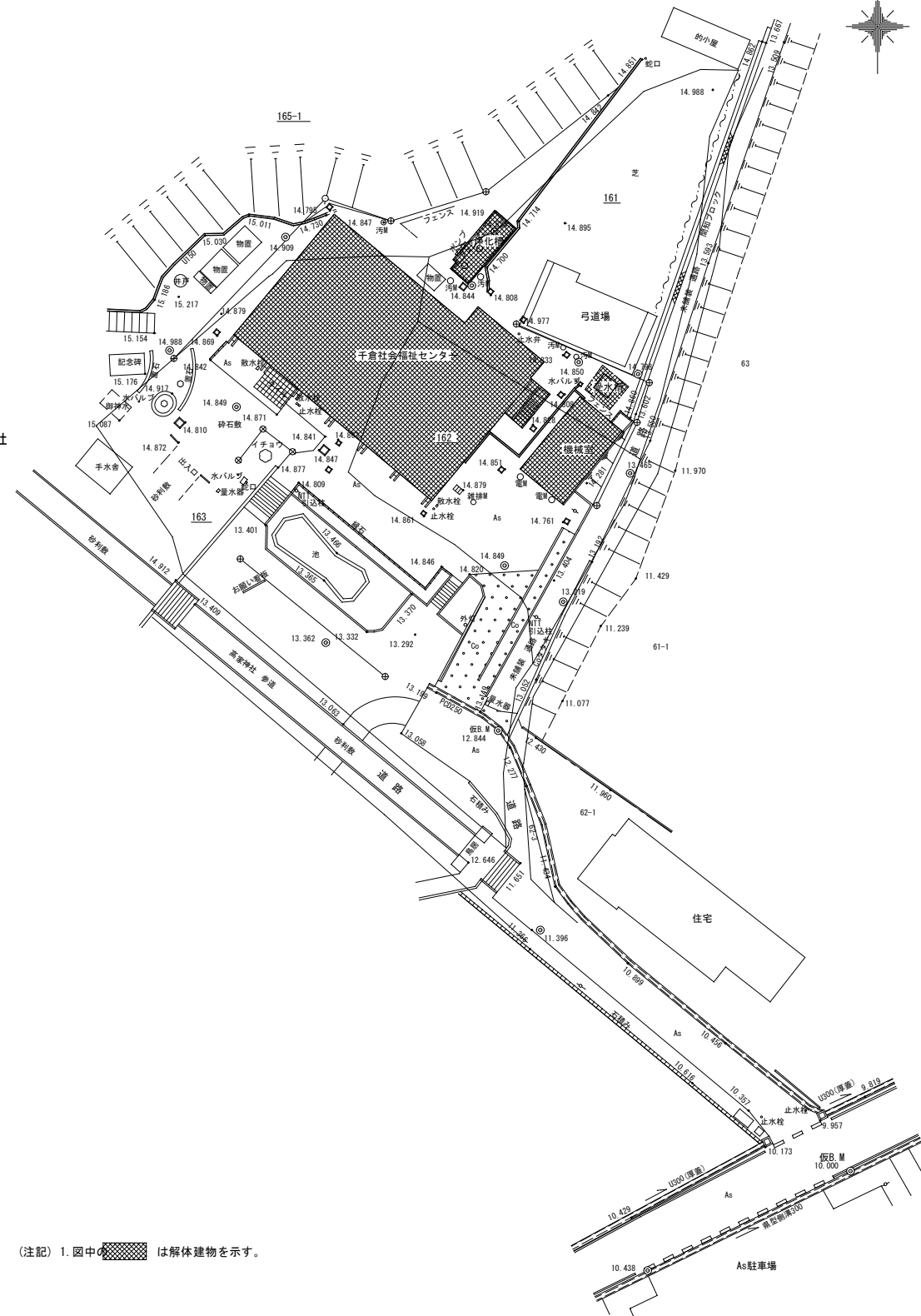
NO A-02





千倉社会福祉センター  
千葉県南房総市千倉町南朝夷字上野塚164

案内図



(注記) 1. 図中の[ハatched box]は解体建物を示す。

配置図



一級建築士事務所

一級建築士事務所 千葉県登録 第 1-2209-2531 号  
〒295-0023 千葉県南房総市千倉町川口288 TEL0470-43-1718  
一級建築士 第 203776 号 荒井恭一

千倉社会福祉センター解体撤去工事設計図面

案内図・配置図

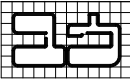
令和7年 3月  
S=1/300 (A1)  
S=1/600 (A3)

NO A-03

仕上表(色番)

階	室 名	床	巾 木	壁	天 井	備 考
		仕 上	仕 上	仕 上	仕 上	
①	玄関	磁器タイル 150口貼	長尺塩ビシート巾木 H=100	アクリル樹脂塗装	プラスターボード厚9.0 アクリル樹脂塗装	軒天 (P-22) サッシ (OBJ)
①	ホール・廊下	長尺塩ビシート 厚2.5貼 (ノンスリップ)	長尺塩ビシート巾木 H=100	アクリル樹脂塗装	プラスターボード厚9.0 アクリル樹脂塗装	手摺 (共通) (α-09)
①	社協事務室	長尺塩ビシート 厚2.5貼 (ノンスリップ)	長尺塩ビシート巾木 H=100	アクリル樹脂塗装	化粧石膏ボード厚9.5貼	
①	相談室	長尺塩ビシート 厚2.5貼 (ノンスリップ)	長尺塩ビシート巾木 H=100	アクリル樹脂塗装	化粧石膏ボード厚9.5貼	
①	調理教室	長尺塩ビシート 厚2.5貼 (ノンスリップ)	長尺塩ビシート巾木 H=100	アクリル樹脂塗装	フレキシブルボード厚6.0 目透かし貼・AEP	調理台 (AB133G/L)
①	会議所1・2	長尺塩ビシート 厚2.5貼 (ノンスリップ)	長尺塩ビシート巾木 H=100	ビニルクロス貼	化粧石膏ボード厚9.5貼	稼働間仕切り (クロス貼77-329)
①	機能訓練室	スタイロ畳 厚55 踏込 長尺塩ビシート 厚2.5貼 (ノンスリップ)	タタミ寄せ	アクリル樹脂塗装	石膏ボード 杉桎 敷目板貼	
①	男子便所	長尺塩ビシート 厚2.5貼 (ノンスリップ)	長尺塩ビシート巾木 H=100	ビニルクロス貼	フレキシブルボード厚6.0 目透かし貼・AEP	トイレブース 洗面カウンター
①	女子便所	長尺塩ビシート 厚2.5貼 (ノンスリップ)	長尺塩ビシート巾木 H=100	ビニルクロス貼	フレキシブルボード厚6.0 目透かし貼・AEP	トイレブース
①	身障者便所	長尺塩ビシート 厚2.5貼 (ノンスリップ)	長尺塩ビシート巾木 H=100	PB厚12.5二重貼 (両面) ビニルクロス貼	フレキシブルボード厚6.0 目透かし貼・AEP	入口扉 (ポリ)
①	ロビー	長尺塩ビシート 厚2.5貼 (ノンスリップ)	長尺塩ビシート巾木 H=100	アクリル樹脂塗装	プラスターボード厚9.0 アクリル樹脂塗装	
②	階段室	長尺塩ビシート 厚2.5貼 (ノンスリップ)	長尺塩ビシート巾木 H=100	アクリル樹脂塗装	プラスターボード厚9.0 アクリル樹脂塗装	ノンスリップ (α-07)
②	廊下	長尺塩ビシート 厚2.5貼 (ノンスリップ)	長尺塩ビシート巾木 H=100	アクリル樹脂塗装	プラスターボード厚9.0 アクリル樹脂塗装	
②	会議室	長尺塩ビシート 厚2.5貼 (ノンスリップ)	長尺塩ビシート巾木 H=100	ビニルクロス貼	化粧石膏ボード厚9.5貼	
②	講習室	スタイロ畳 厚55 踏込 ビニルタイル貼	ソフト巾木 H=100 タタミ寄せ	ダイヤソフト吹付	プラスターボード厚9.0 着色パーライト吹付	
②	男子便所	長尺塩ビシート 厚2.5貼 (ノンスリップ)	長尺塩ビシート巾木 H=100	PB厚12.5二重貼 (両面) ビニルクロス貼	フレキシブルボード厚6.0 目透かし貼・AEP	トイレブース 洗面カウンター
②	女子便所	長尺塩ビシート 厚2.5貼 (ノンスリップ)	長尺塩ビシート巾木 H=100	PB厚12.5二重貼 (両面) ビニルクロス貼	フレキシブルボード厚6.0 目透かし貼・AEP	トイレブース
②	図書室	ビニルタイル貼	ソフト巾木 H=100	ダイヤソフト吹付	プラスターボード厚9.0 着色パーライト吹付	
②	配膳室	ビニルタイル貼	ソフト巾木 H=100	VP	大平板目透張 VP	

	外壁仕上	シーリング	金物類	塔屋防水	
外壁	可とう形改修塗Eの上 高耐候性水系ハルス樹脂塗装	ポリサルファイド系	OP	シート防水	



一級建築士事務所

一級建築士事務所 千葉県登録 第 1-2209-2531 号  
〒295-0023 千葉県南房総市千倉町川口88 TEL0470-43-1718  
一級建築士 第 203776 号 荒井恭一

千倉社会福祉センター解体撤去工事設計図面

仕上表

令和7年 3月

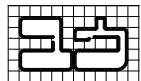
S=NOT (A1)

S=NOT (A3)

NO A-04



1階平面図 S=1/50



一級建築士事務所

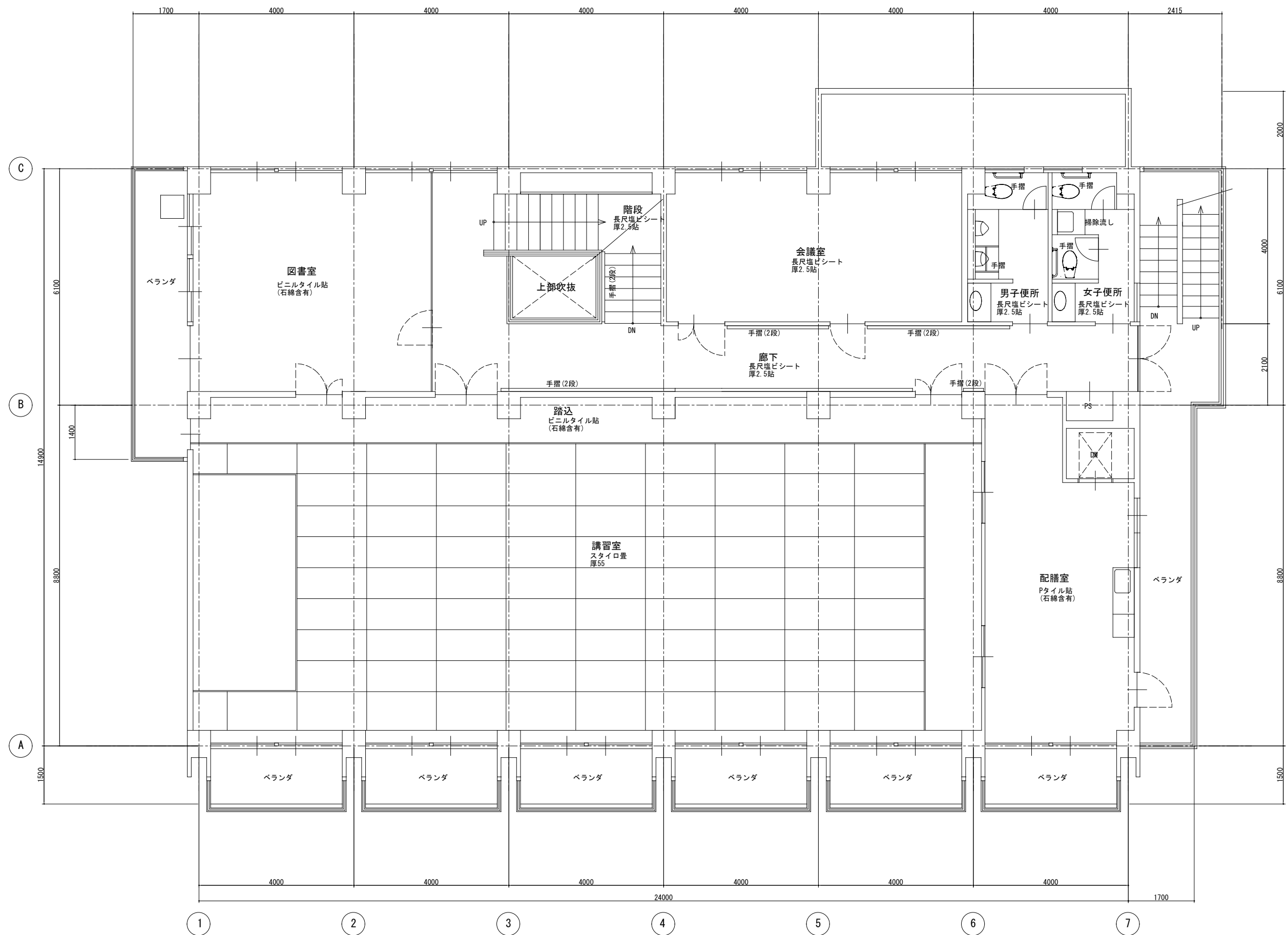
一級建築士事務所 千葉県登録 第 1-2209-2531 号  
〒295-0023 千葉県南房総市千倉町川口288 TEL0470-43-1718  
一級建築士 第 203776 号 荒井恭一

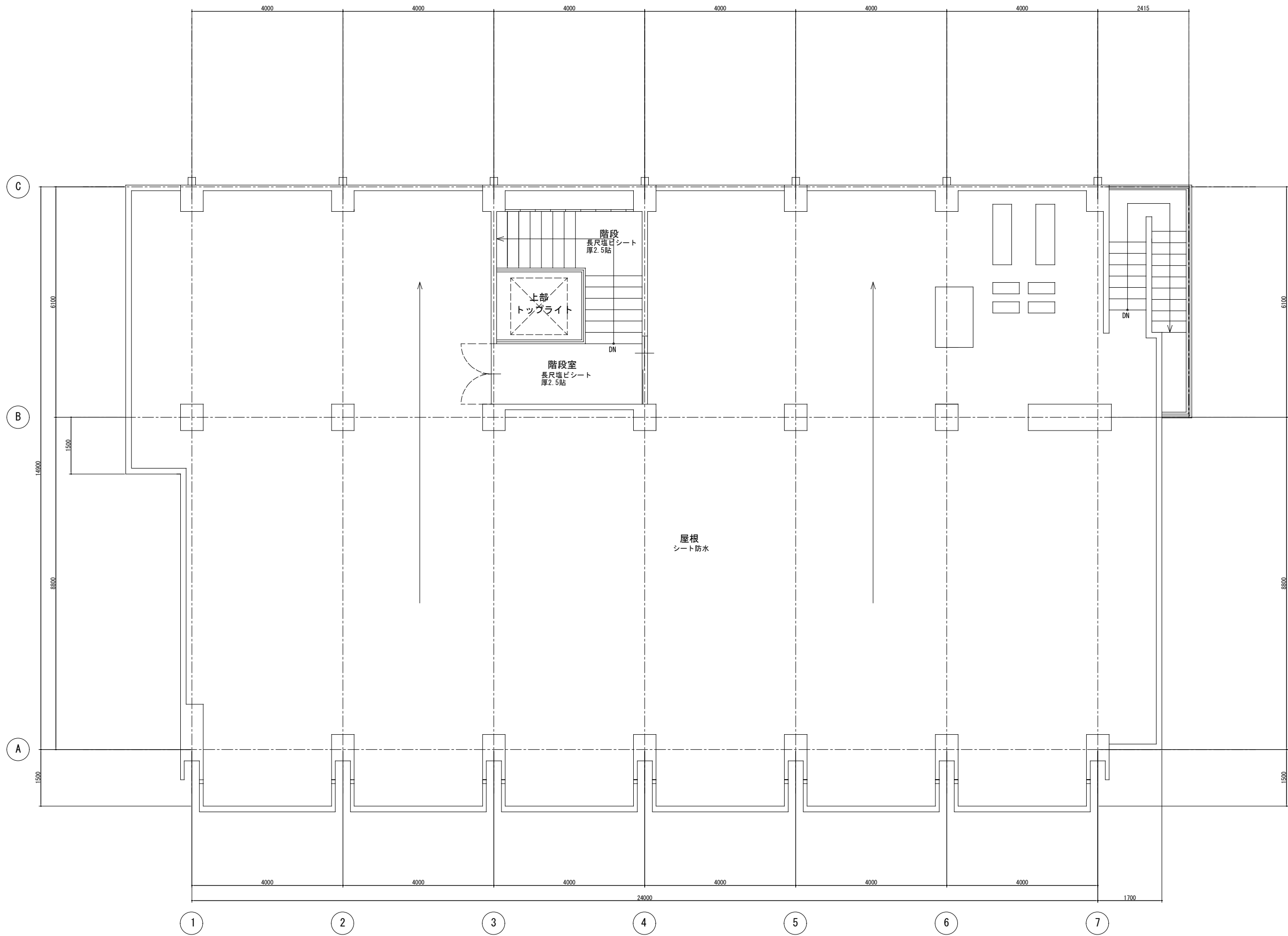
千倉社会福祉センター解体撤去工事設計図面

1階平面図

令和7年 3月  
S=1/50 (A1)  
S=1/100 (A3)

NO A-05





R階平面図 S=1/50



一級建築士事務所

一級建築士事務所 千葉県登録 第 1-2209-2531 号  
〒295-0023 千葉県南房総市千倉町川口288 TEL0470-43-1718  
一級建築士 第 203776 号 荒井恭一

千倉社会福祉センター解体撤去工事設計図面

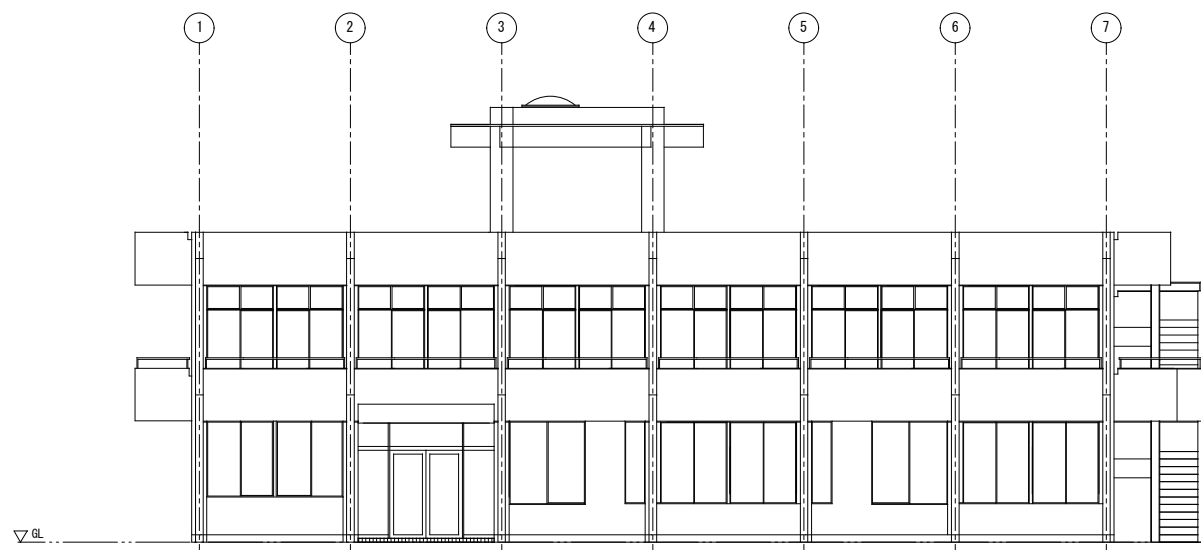
R階平面図

令和7年 3月

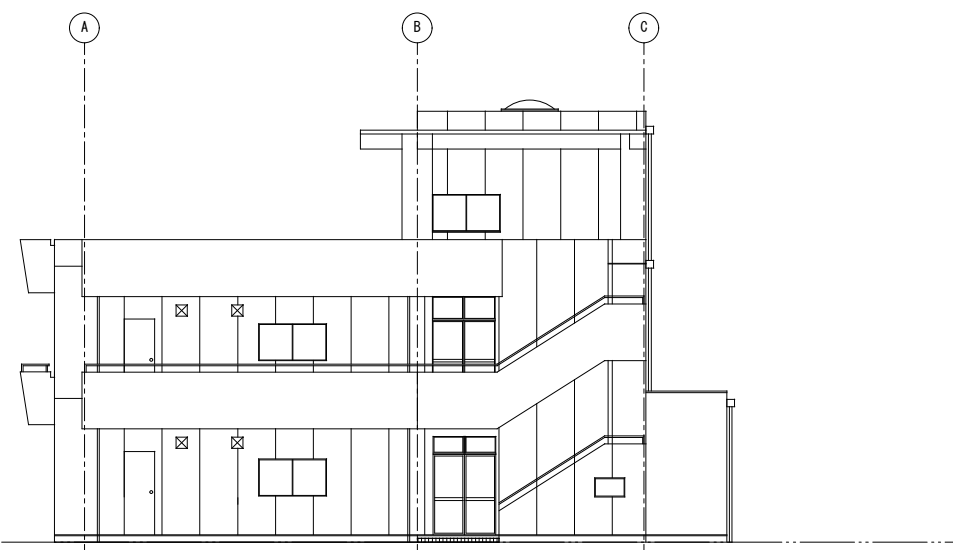
S=1/50 (A1)

S=1/100 (A3)

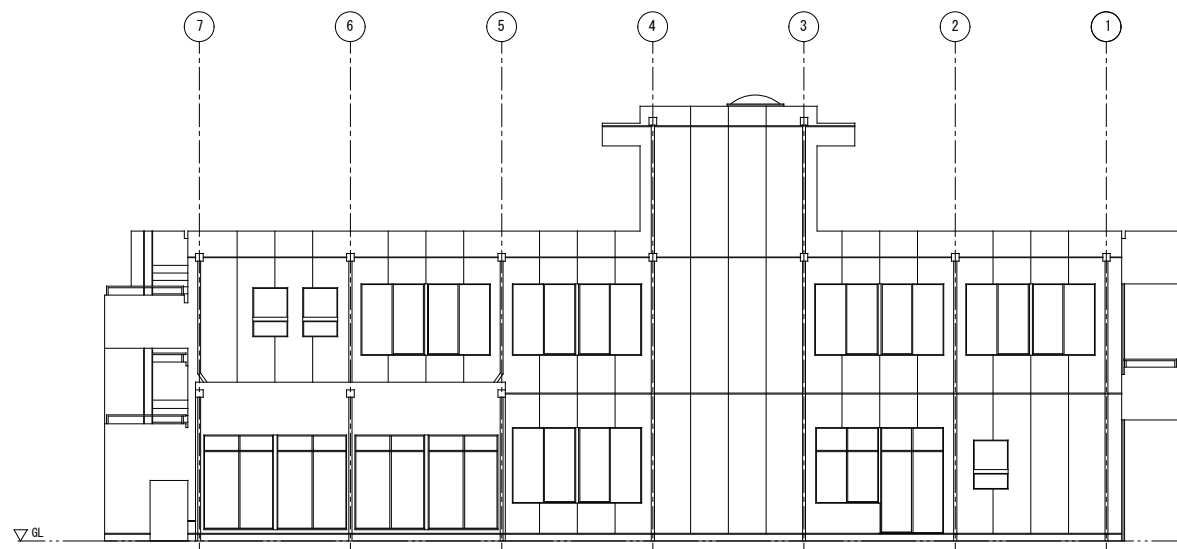
NO A-07



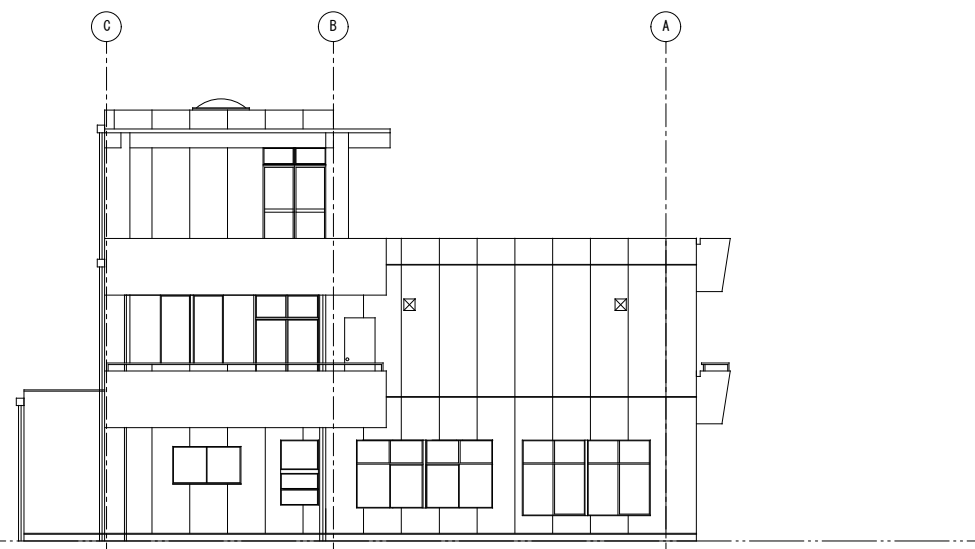
南立面図 S=1:100



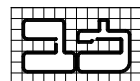
東立面図 S=1:100



北立面図 S=1:100



西立面図 S=1:100



一級建築士事務所

一級建築士事務所 千葉県登録 第 1-2209-2531 号  
〒295-0023 千葉県南房総市千倉町川口88 TEL0470-43-1718  
一級建築士 第 203776 号 荒井恭一

千倉社会福祉センター解体撤去工事設計図面

立面図

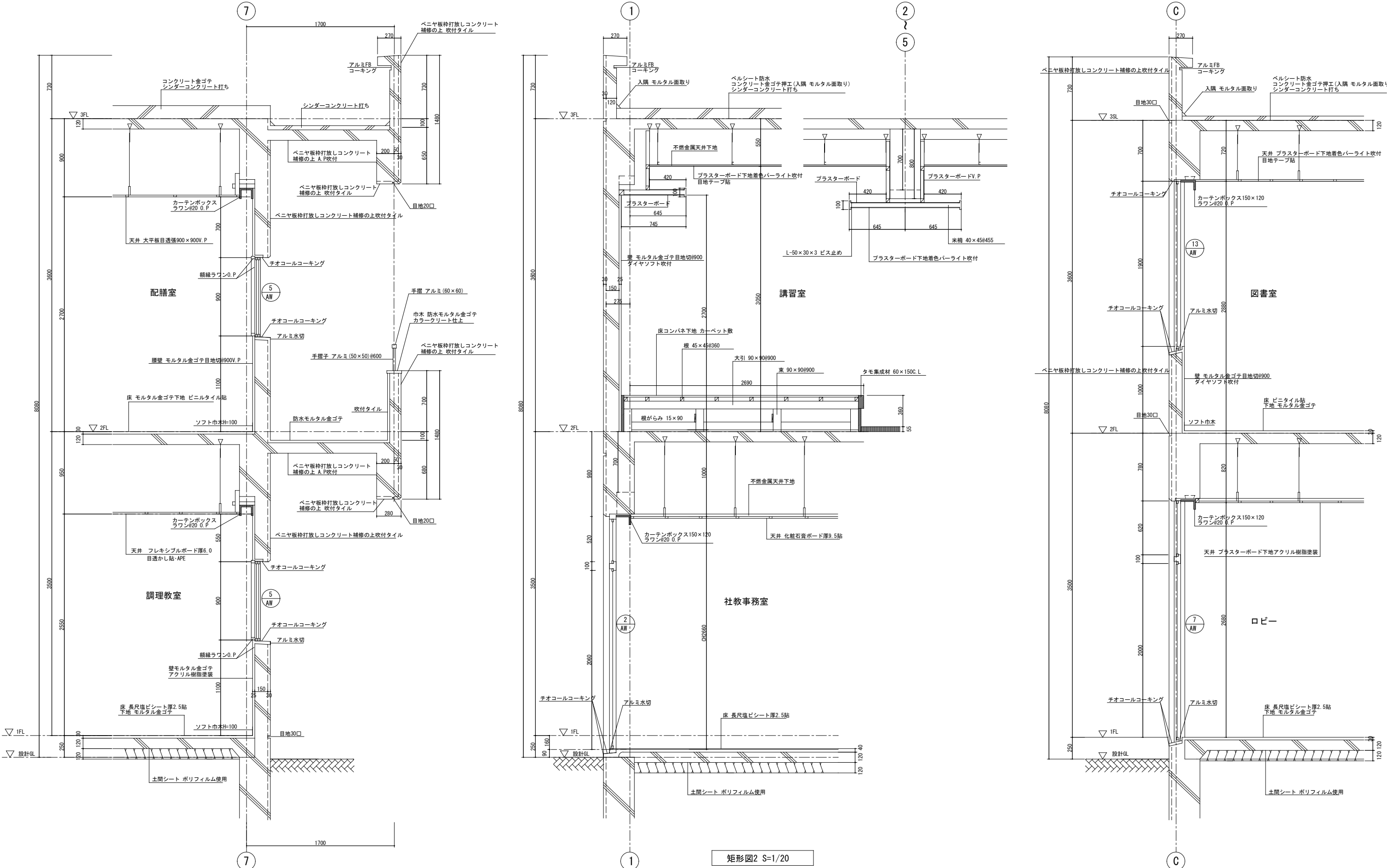
令和7年 3月

S=1/100 (A1)

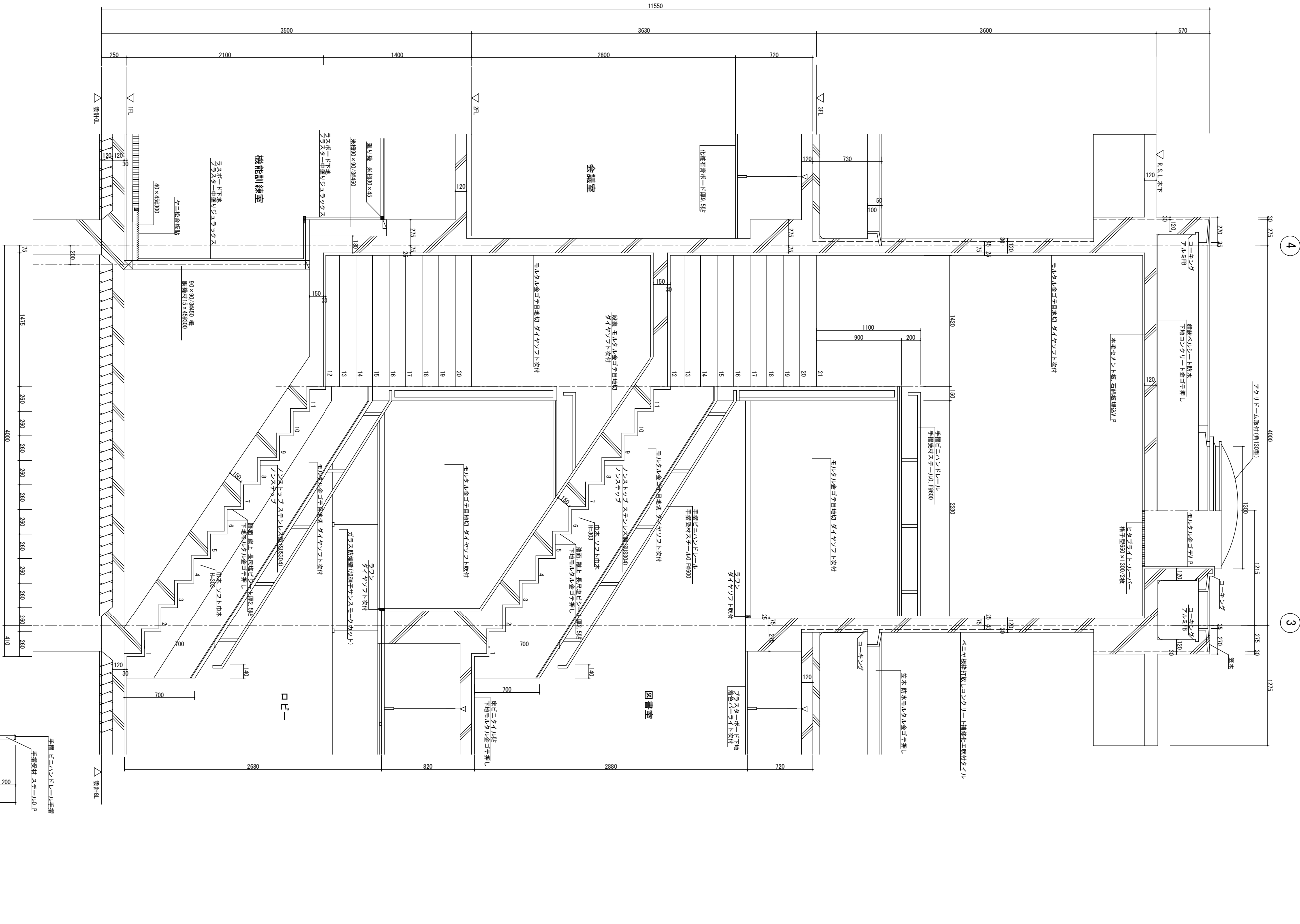
S=1/200 (A3)

NO A-08

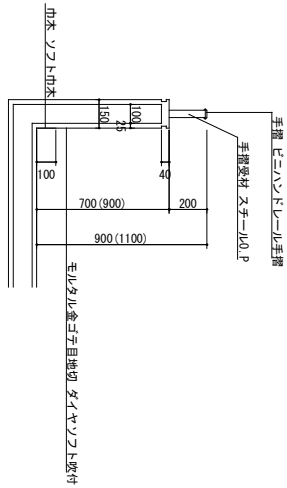








内階段室詳細図 S=1/20



一級建築士事務所

一級建築士事務所 千葉県登録 第 1-2209-2531 号  
〒295-0023 千葉県南房総市千倉町川口288 TEL0470-43-1718  
一級建築士 第 203776 号 荒井恭一

千倉社会福祉センター解体撤去工事設計図面

内階段室詳細図

令和7年 3月  
S=1/20 (A1)  
S=1/40 (A3)

NO A-11



1階平面図 S=1/50



一級建築士事務所

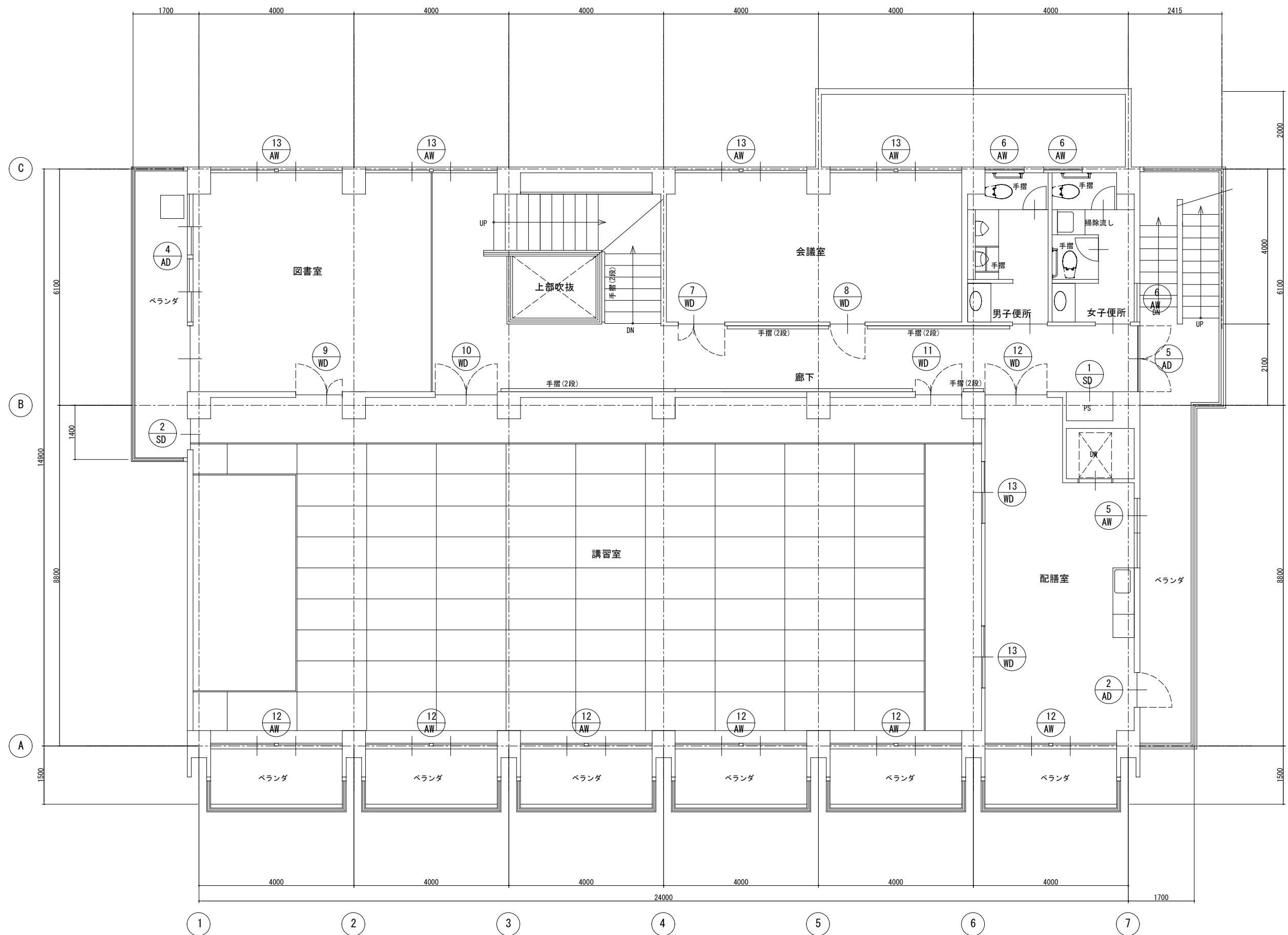
一級建築士事務所 千葉県登録 第 1-2209-2531 号  
〒295-0023 千葉県南房総市千倉町1288 TEL0470-43-1718  
一級建築士 第 203776 号 荒井恭一

千倉社会福祉センター解体撤去工事設計図面

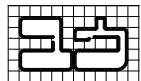
1階建具図番号

令和7年 3月  
S=1/50 (A1)  
S=1/100 (A3)

NO A-12



2階平面図 S=1/50



一級建築士事務所

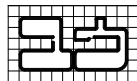
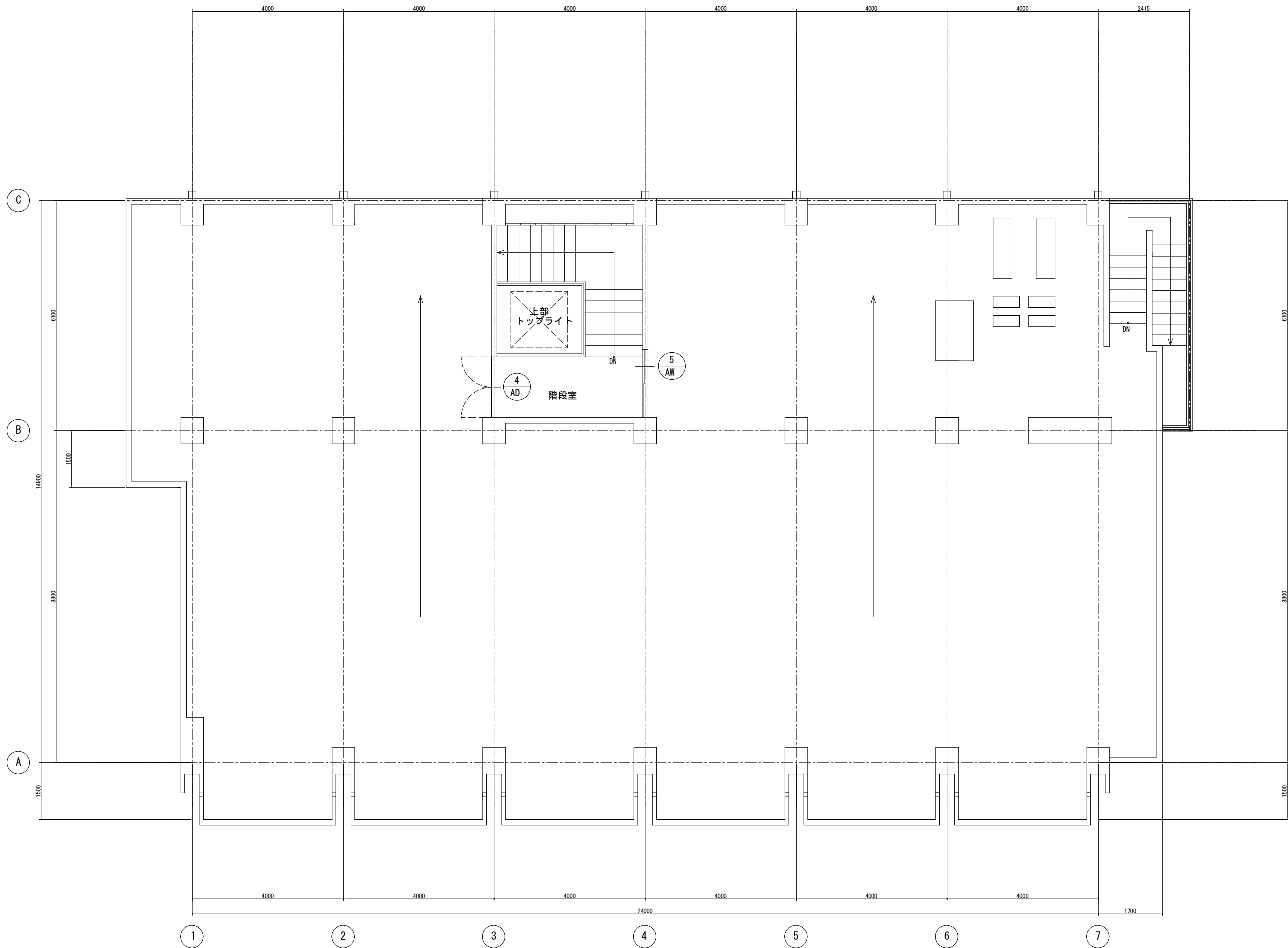
一級建築士事務所 千葉県登録 第 1-2209-2531 号  
〒295-0023 千葉県南房総市千倉町川口288 TEL0470-43-1718  
一級建築士 第 203776 号 荒井恭一

千倉社会福祉センター解体撤去工事設計図面

2階建具図番号

令和7年 3月
S=1/50 (A1)
S=1/100 (A3)

10 A-13



一級建築士事務所

一級建築士事務所 千葉県登録 第 1-2209-2531 号  
〒295-0023 千葉県南房総市千倉町川口288 TEL0470-43-1718  
一級建築士 第 203776 号 荒井恭一

千倉社会福祉センター解体撤去工事設計図面

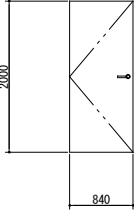
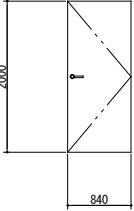
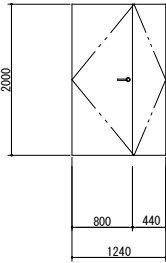
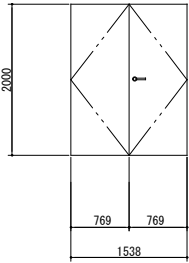




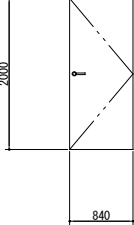
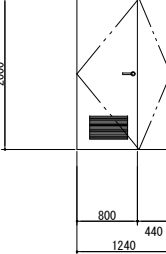
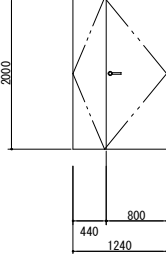
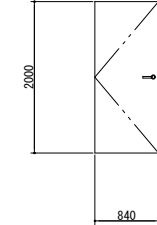
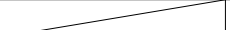
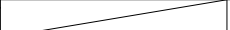
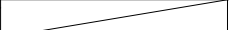
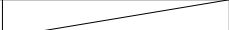
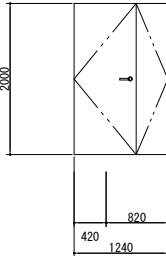
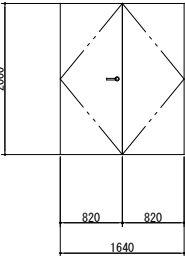
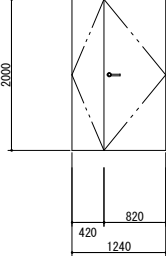
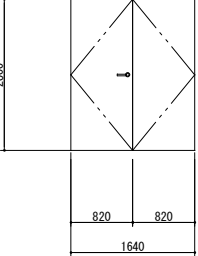




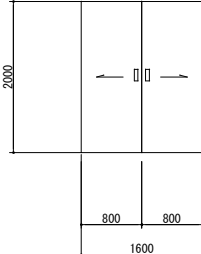
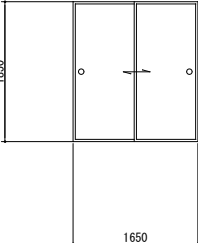
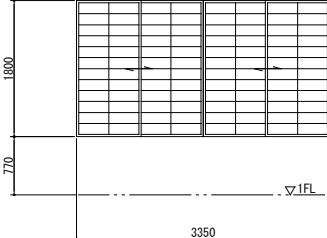



R階建具図番号

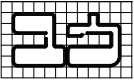
令和7年 3月

S=1/50 (A1)

S=1/100 (A3)

NO A-14

記 号	① 前	数 量	1ヶ所	記 号	② 前	数 量	1ヶ所	記 号	③ 前	数 量	1ヶ所	記 号	④ 前	数 量	1ヶ所
型 式	片開き	使用箇所	1階相談室	型 式	片開き	使用箇所	1階事務所	型 式	親子開き	使用箇所	1階調理室入口	型 式	両開き	使用箇所	1階調理教室入口
															
付属金物	レバーハンドル、シリンダー錠、ピボットヒンジ、ドアチェック			付属金物	レバーハンドル、シリンダー錠、ピボットヒンジ、ドアチェック			付属金物	レバーハンドル、シリンダー錠、ピボットヒンジ、ドアチェック				レバーハンドル、シリンダー錠、ピボットヒンジ、ドアチェック		
ガラス		適 用	たも珪化重合板フラッシュ戸 OSCL 見込40	ガラス		適 用	たも珪化重合板フラッシュ戸 OSCL 見込40	ガラス		適 用	たも珪化重合板フラッシュ戸 OSCL 見込40	ガラス		適 用	たも珪化重合板フラッシュ戸 OSCL 見込40
記 号	⑤ 前	数 量	2ヶ所	記 号	⑥ 前	数 量	1ヶ所	記 号	⑦ 前	数 量	1ヶ所	記 号	⑧ 前	数 量	1ヶ所
形 式	片開き	使用箇所	1階会議室	形 式	親子開き	使用箇所	1階機能訓練室	形 式	親子開き	使用箇所	2階会議室	形 式	片開き	使用箇所	2階会議室
															
付属金物	レバーハンドル、シリンダー錠、ピボットヒンジ、ドアチェック			付属金物	レバーハンドル、シリンダー錠、ピボットヒンジ、ドアチェック			付属金物	レバーハンドル、シリンダー錠、ピボットヒンジ、ドアチェック			付属金物	レバーハンドル、シリンダー錠、ピボットヒンジ、ドアチェック		
ガラス		適 用	たも珪化重合板フラッシュ戸 OSCL 見込40	ガラス		適 用	たも珪化重合板フラッシュ戸 OSCL 見込40	ガラス		適 用	たも珪化重合板フラッシュ戸 OSCL 見込40	ガラス		適 用	たも珪化重合板フラッシュ戸 OSCL 見込40
記 号	⑨ 前	数 量	1ヶ所	記 号	⑩ 前	数 量	1ヶ所	記 号	⑪ 前	数 量	1ヶ所	記 号	⑫ 前	数 量	1ヶ所
形 式	親子開き	使用箇所	2階講習室	形 式	両開き	使用箇所	2階講習室	形 式	親子開き	使用箇所	2階講習室	形 式	両開き	使用箇所	2階配膳室
															
付属金物	レバーハンドル、シリンダー錠、ピボットヒンジ、ドアチェック			付属金物	レバーハンドル、シリンダー錠、ピボットヒンジ、ドアチェック			付属金物	レバーハンドル、シリンダー錠、ピボットヒンジ、ドアチェック			付属金物	レバーハンドル、シリンダー錠、ピボットヒンジ、ドアチェック		
ガラス		適 用	たも珪化重合板フラッシュ戸 OSCL 見込40	ガラス		適 用	たも珪化重合板フラッシュ戸 OSCL 見込40	ガラス		適 用	たも珪化重合板フラッシュ戸 OSCL 見込40	ガラス		適 用	たも珪化重合板フラッシュ戸 OSCL 見込40
記 号	⑬ 前	数 量	2ヶ所	記 号	⑬ 前	数 量	1ヶ所	記 号	⑬ 前	数 量	1ヶ所	記 号		数 量	
形 式	引分けフラッシュ戸	使用箇所	2階講習室	形 式	引違い戸ふすまフラッシュ	使用箇所	機能訓練室	形 式	障子引違い	使用箇所	機能訓練室	形 式		使用箇所	
															
付属金物	レバーハンドル、シリンダー錠、ピボットヒンジ、ドアチェック			付属金物	引手、敷居スベリ			付属金物	引手、敷居スベリ			付属金物			
ガラス		適 用	たもベニヤCL、耐水ベニヤOP 見込36	ガラス		適 用	しなベニヤCL、しなベニヤクロス貼 見込30	ガラス		適 用	米ヒバ 見込30	ガラス		適 用	



一級建築士事務所

一級建築士事務所 千葉県登録 第 1-2209-2531 号  
〒295-0023 千葉県南房総市千倉町川口288 TEL0470-43-1718  
一級建築士 第 203776 号 荒井恭一

千倉社会福祉センター解体撤去工事設計図面

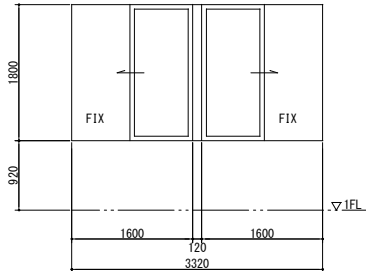
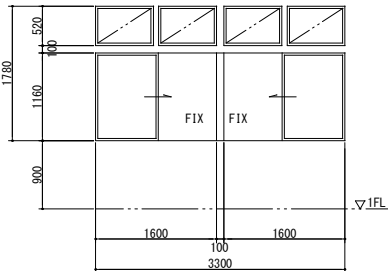
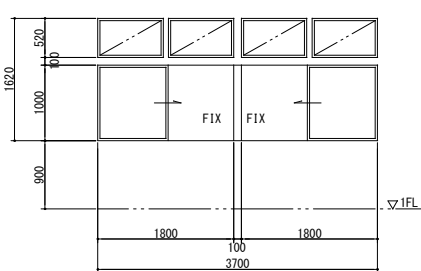
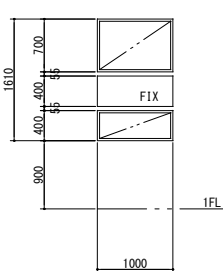
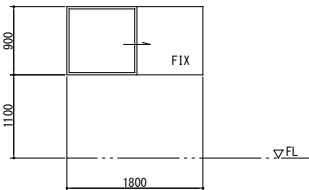
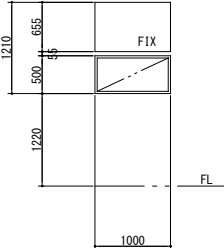
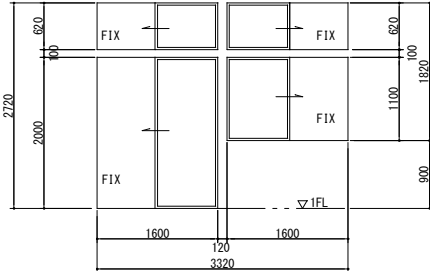
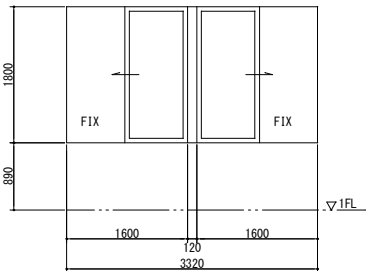
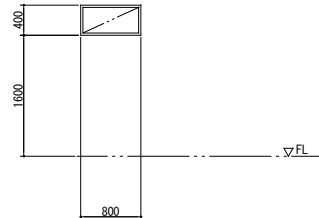
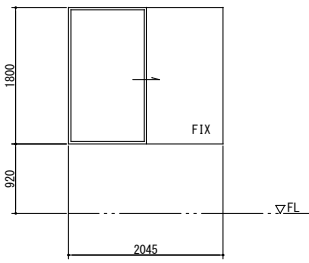
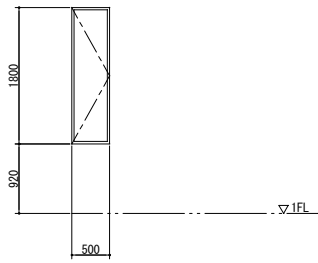
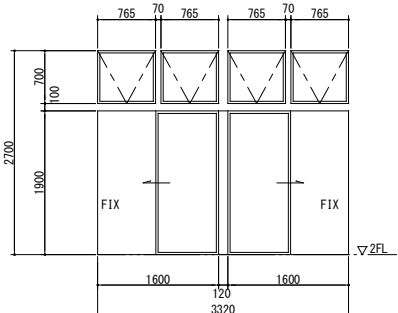
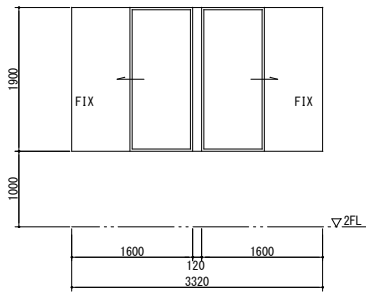
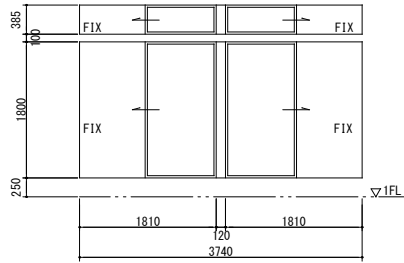
建具表1

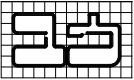
令和7年 3月

S=1/50 (A1)

S=1/100 (A3)

NO A-15

記 号	① AW	数 量	3ヶ所	記 号	② AW	数 量	1ヶ所	記 号	③ AW	数 量	1ヶ所	記 号	④ AW	数 量	1ヶ所
型 式	FIX 連窓アルミサッシ片引戸	使用箇所	1階社協事務室、調理教室	型 式	連窓アルミサッシ片引戸	使用箇所	1階社協事務室	型 式	連窓アルミサッシ片引戸 上段より出し	使用箇所	1階社協事務室	型 式	段窓 FIX、上り出し	使用箇所	1階男子便所
															
付属金物	水切り、アングル、六点締り、起倒し式ストッパー			付属金物	水切り、アングル、六点締り、起倒し式ストッパー、カムラッチ			付属金物	水切り、アングル、六点締り、起倒し式ストッパー、カムラッチ			付属金物	水切り、アングル、カムラッチ		
ガラス	熱線吸収ガラス厚5	適 用	アルミサッシ見込70	ガラス	熱線吸収ガラス厚5、3mm透明ガラス	適 用	アルミサッシ見込70	ガラス	5mm透明ガラス、3mm透明ガラス	適 用	アルミサッシ見込70	ガラス	5mm透明ガラス	適 用	アルミサッシ見込70
記 号	⑤ AW	数 量	4ヶ所	記 号	⑥ AW	数 量	4ヶ所	記 号	⑦ AW	数 量	1ヶ所	記 号	⑧ AW	数 量	1ヶ所
形 式	片引窓	使用箇所	1階女子便所、調理教室 2階配膳室、屋上	形 式	段窓 FIX、上り出し	使用箇所	1階女子便所 2階男子便所、女子便所	形 式	連段窓片引	使用箇所	1階ロビー	形 式	連窓アルミサッシ片引戸	使用箇所	1階機能訓練室
															
付属金物	水切り、アングル、四点締り、起倒し式ストッパー			付属金物	水切り、アングル、カムラッチ			付属金物	水切り、アングル、六点締り、起倒し式ストッパー			付属金物	水切り、アングル、六点締り、起倒し式ストッパー		
ガラス	4mm型板ガラス	適 用	アルミサッシ見込70	ガラス	4mm型板ガラス	適 用	アルミサッシ見込70	ガラス	5mm透明ガラス、3mm透明ガラス	適 用	アルミサッシ見込70	ガラス	5mm透明ガラス	適 用	アルミサッシ見込70
記 号	⑨ AW	数 量	1ヶ所	記 号	⑩ AW	数 量	2ヶ所	記 号	⑪ AW	数 量	2ヶ所	記 号	⑫ AW	数 量	6ヶ所
形 式	上り出し	使用箇所	1階外便所	形 式	片引き	使用箇所	調理教室、相談室	形 式	片開き	使用箇所	調理教室	形 式	連、段窓、片引き、上段外倒し	使用箇所	2階講習室、配膳室
															
付属金物	水切り、アングル、カムラッチ			付属金物	水切り、アングル、六点締り、起倒し式ストッパー			付属金物	丁番、レバーストッパー、旋錠			付属金物	水切り、アングル、六点締り、オペレーター		
ガラス	4mm型板ガラス	適 用	アルミサッシ見込70	ガラス	熱線吸収ガラス厚5	適 用	アルミサッシ見込70	ガラス	熱線吸収ガラス厚5	適 用	アルミサッシ見込70	ガラス	熱線吸収ガラス厚5、熱線吸収ガラス厚3	適 用	アルミサッシ見込70
記 号	⑬ AW	数 量	4ヶ所	記 号	⑭ AW	数 量	2ヶ所	記 号		数 量		記 号		数 量	
形 式	連窓片引き	使用箇所	2階会議室、図書室	形 式	連、段窓片引き	使用箇所	1階会議室	形 式		使用箇所		形 式		使用箇所	
															
付属金物	水切り、アングル、六点締り、起倒し式ストッパー			付属金物	水切り、アングル、六点締り			付属金物				付属金物			
ガラス	5mm透明ガラス	適 用	アルミサッシ見込70	ガラス	6.8mm網入りガラス	適 用	アルミサッシ見込70	ガラス		適 用		ガラス		適 用	



一級建築士事務所

一級建築士事務所 千葉県登録 第 1-2209-2531 号  
〒295-0023 千葉県南房総市千倉町川口288 TEL0470-43-1718  
一級建築士 第 203776 号 荒井恭一

千倉社会福祉センター解体撤去工事設計図面

建具表2

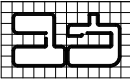
令和7年 3月

S=1/50 (A1)

S=1/100 (A3)

NO A-16

記 号	① AD		数 量	1ヶ所		記 号	① SPF		数 量	1ヶ所		記 号	② AD		数 量	3ヶ所		記 号	③ AD		数 量	1ヶ所	
型 式	FIX 引分け戸(自動ドア)		使用箇所	1階玄関		型 式	半自動吊戸片引きシステム		使用箇所	1階身障者便所		型 式	片開きフラッシュドア		使用箇所	調理教室、外便所、2階配膳室		型 式	両開きドア		使用箇所	1階廊下	
付属金物	アルミサッシ標準仕様に準ずる(自動ドアエンジン装置一式含む)					付属金物	ドアハンドル、シリンダー錠錠					付属金物	丁香、シリンダー錠、ドアチェック					付属金物	丁香、シリンダー錠、ドアチェック、フランス落し、カムラッチ、フック棒				
ガラス	フロートガラス厚5 強化ガラス厚6		適 用	アルミサッシ見込100		ガラス	4mm型板ガラス		適 用	メラミン化粧合板フラッシュ戸 見込40		ガラス			適 用	アルミサッシ見込70		ガラス	6.8mm網入りガラス		適 用	アルミサッシ見込70	
記 号	④ AD		数 量	1ヶ所		記 号	⑤ RE		数 量	2ヶ所		記 号	⑥ AD		数 量	1ヶ所		記 号			数 量		
形 式	両開きドア、片引き		使用箇所	2階図書室		形 式	両開きドア		使用箇所	2階廊下、R階		形 式	片開きフラッシュドア		使用箇所	DW機械室		形 式			使用箇所		
付属金物	丁香、シリンダー錠、ドアチェック、フランス落し、水切り、アングル、六点締り、起倒式ストッパー					付属金物	丁香、シリンダー錠、ドアチェック、フランス落し、カムラッチ、フック棒					付属金物	丁香、シリンダー錠、戸当り					付属金物					
ガラス	6.8mm網入りガラス		適 用	アルミサッシ見込70		ガラス	6.8mm網入りガラス		適 用	アルミサッシ見込70		ガラス			適 用	アルミサッシ見込70		ガラス			適 用		
記 号	⑦ SP		数 量	2ヶ所		記 号	⑧ SP		数 量	1ヶ所		記 号			数 量			記 号			数 量		
形 式	両開きドア		使用箇所	PS点検用		形 式	甲種防火戸		使用箇所	2階講習室		形 式			使用箇所			形 式			使用箇所		
付属金物	丁香、シリンダー錠、フランス落し					付属金物	丁香、ロック錠、ドアチェック					付属金物						付属金物					
ガラス			適 用	スチールドア見込100		ガラス			適 用	スチールドア見込86		ガラス			適 用			ガラス			適 用		
記 号			数 量			記 号			数 量			記 号			数 量			記 号			数 量		
形 式			使用箇所			形 式			使用箇所			形 式			使用箇所			形 式			使用箇所		
付属金物						付属金物						付属金物						付属金物					
ガラス			適 用			ガラス			適 用			ガラス			適 用			ガラス			適 用		



一級建築士事務所

一級建築士事務所 千葉県登録 第 1-2209-2531 号  
〒295-0023 千葉県南房総市千倉町川口288 TEL0470-43-1718  
一級建築士 第 203776 号 荒井恭一

千倉社会福祉センター解体撤去工事設計図面

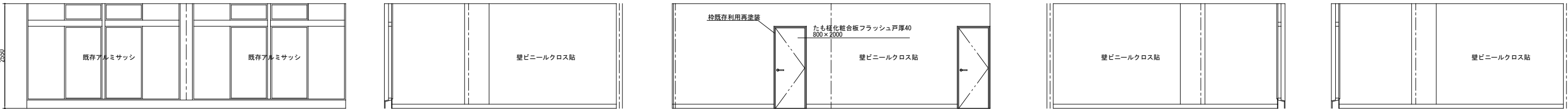
建具表3

令和7年 3月

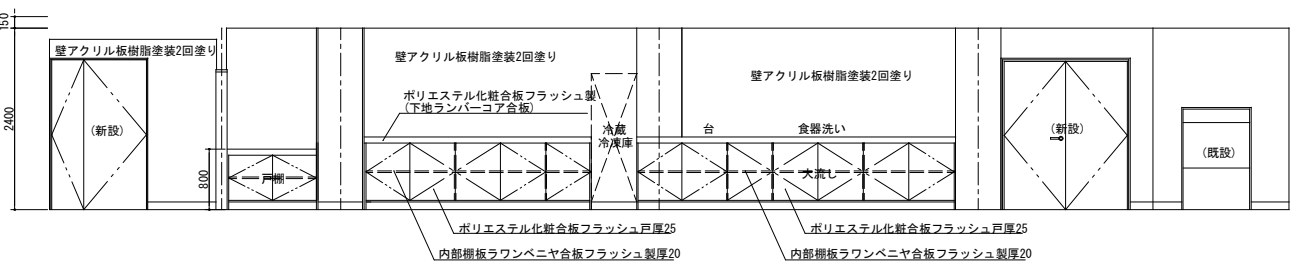
S=1/50 (A1)

S=1/100 (A3)

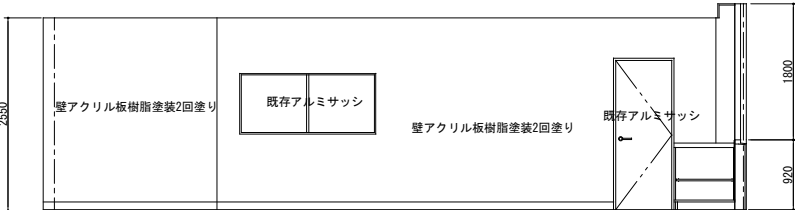
NO A-17



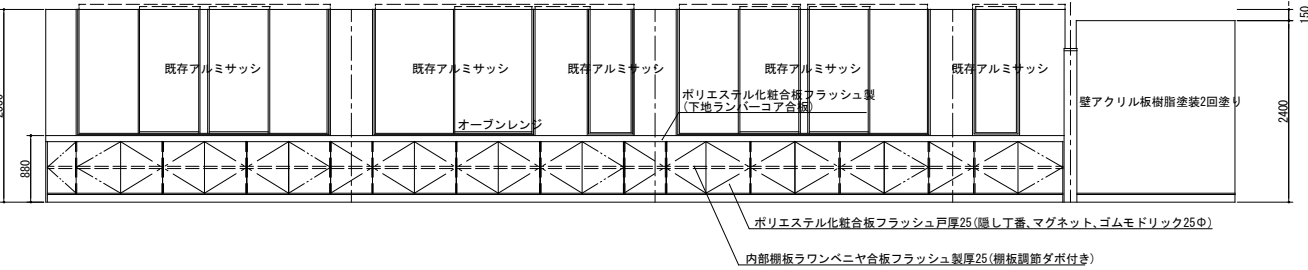
会議室1・2室内展開図 ① 会議室1・2室内展開図 ② 会議室1・2室内展開図 ③ 会議室1・2室内展開図 ④ 会議室1・2室内展開図 ⑤



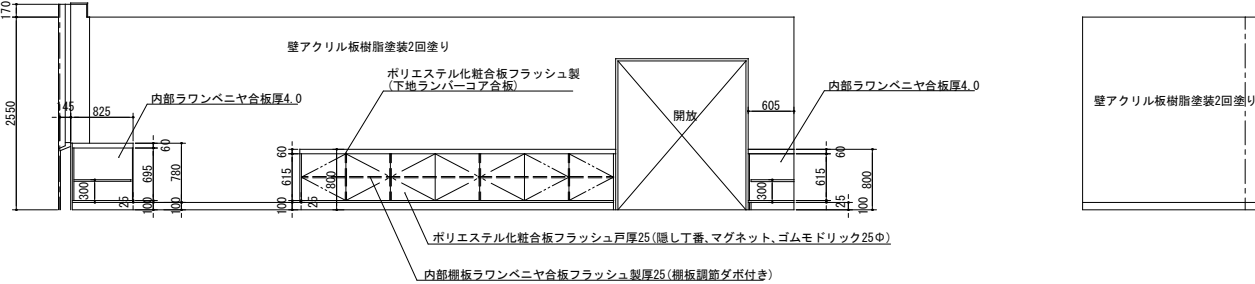
調理教室室内展開図 ①



調理教室室内展開図 ②

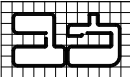


調理教室室内展開図 ③

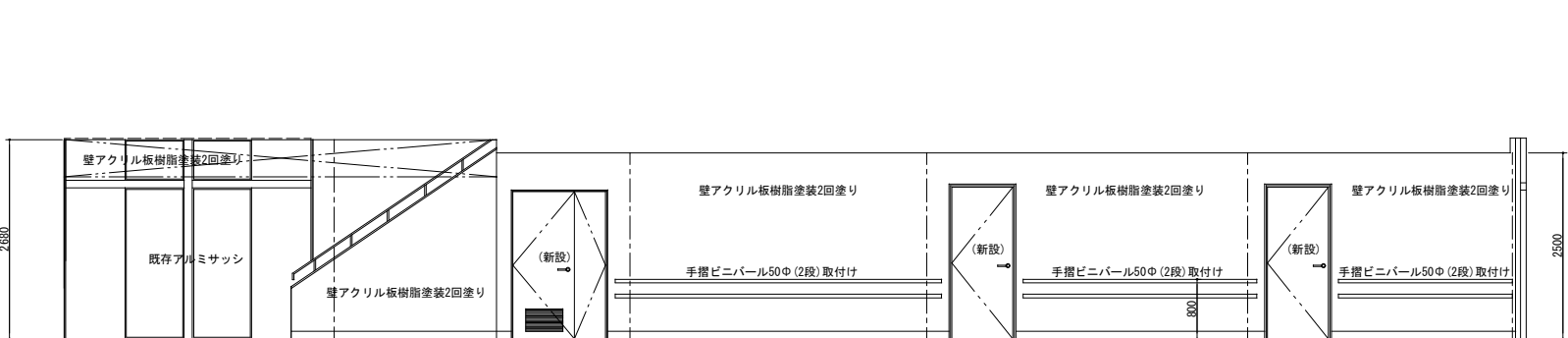


調理教室室内展開図 ④

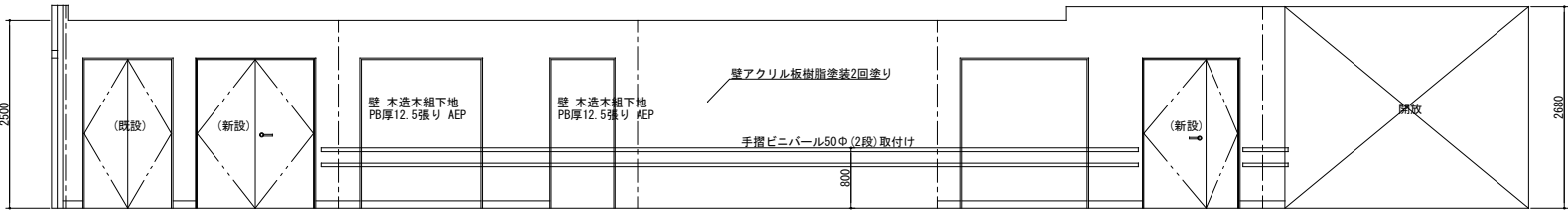
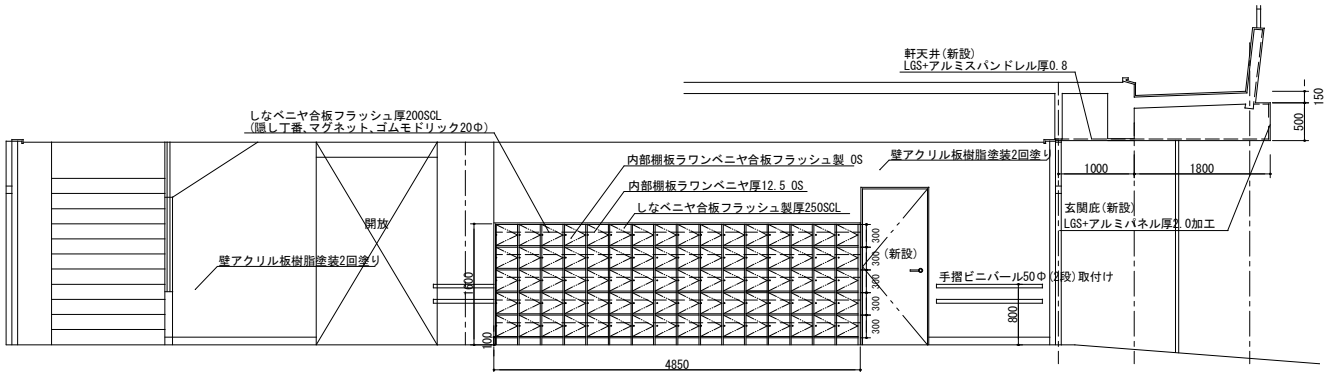
調理教室室内展開図 ⑤



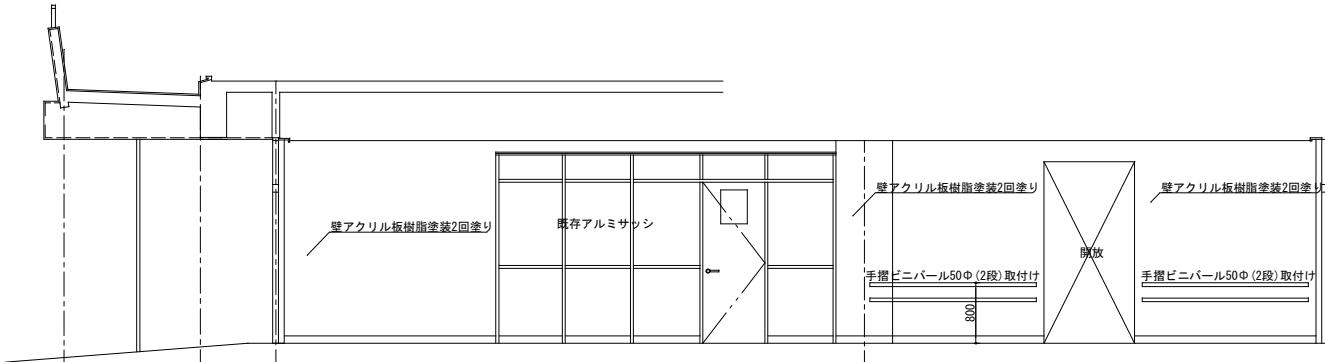




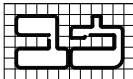
廊下室内展開図 ①



廊下室内展開図 ③



1階室内展開図1 S=1/50



一級建築士事務所

一級建築士事務所 千葉県登録 第 1-2209-2531 号  
〒295-0023 千葉県南房総市千倉町川口88 TEL0470-43-1718  
一級建築士 第 203776 号 荒井恭一

千倉社会福祉センター解体撤去工事設計図面

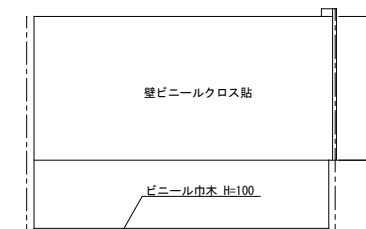
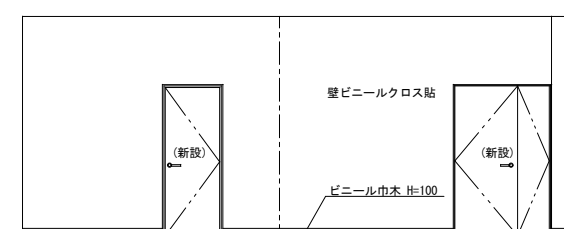
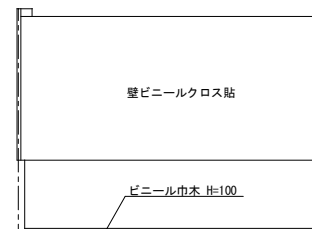
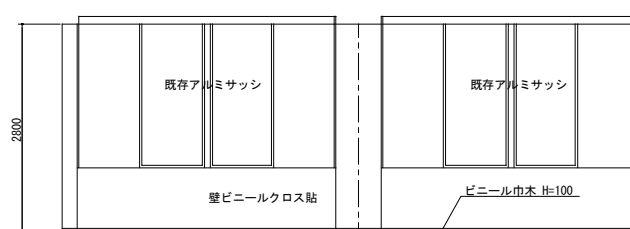
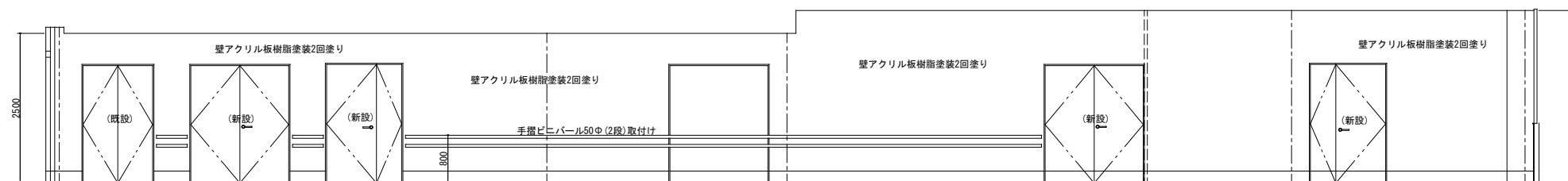
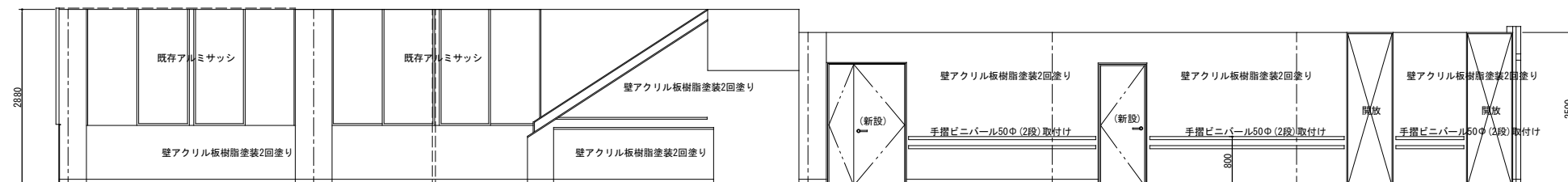
1階室内展開図2

令和7年 3月

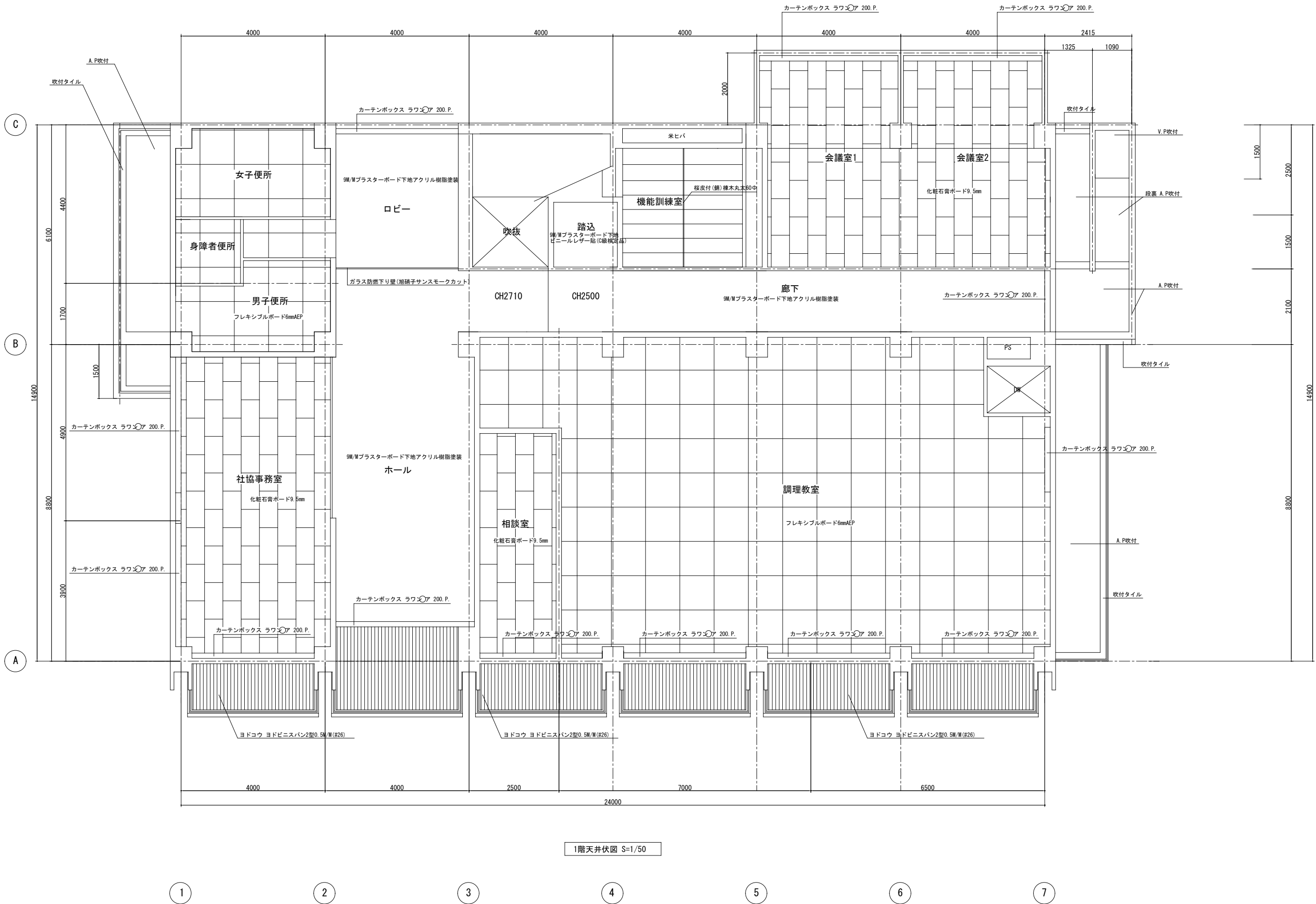
S=1/50 (A1)

S=1/100 (A3)

NO A-19



2階室内展開図1 S=1/50



一級建築士事務所

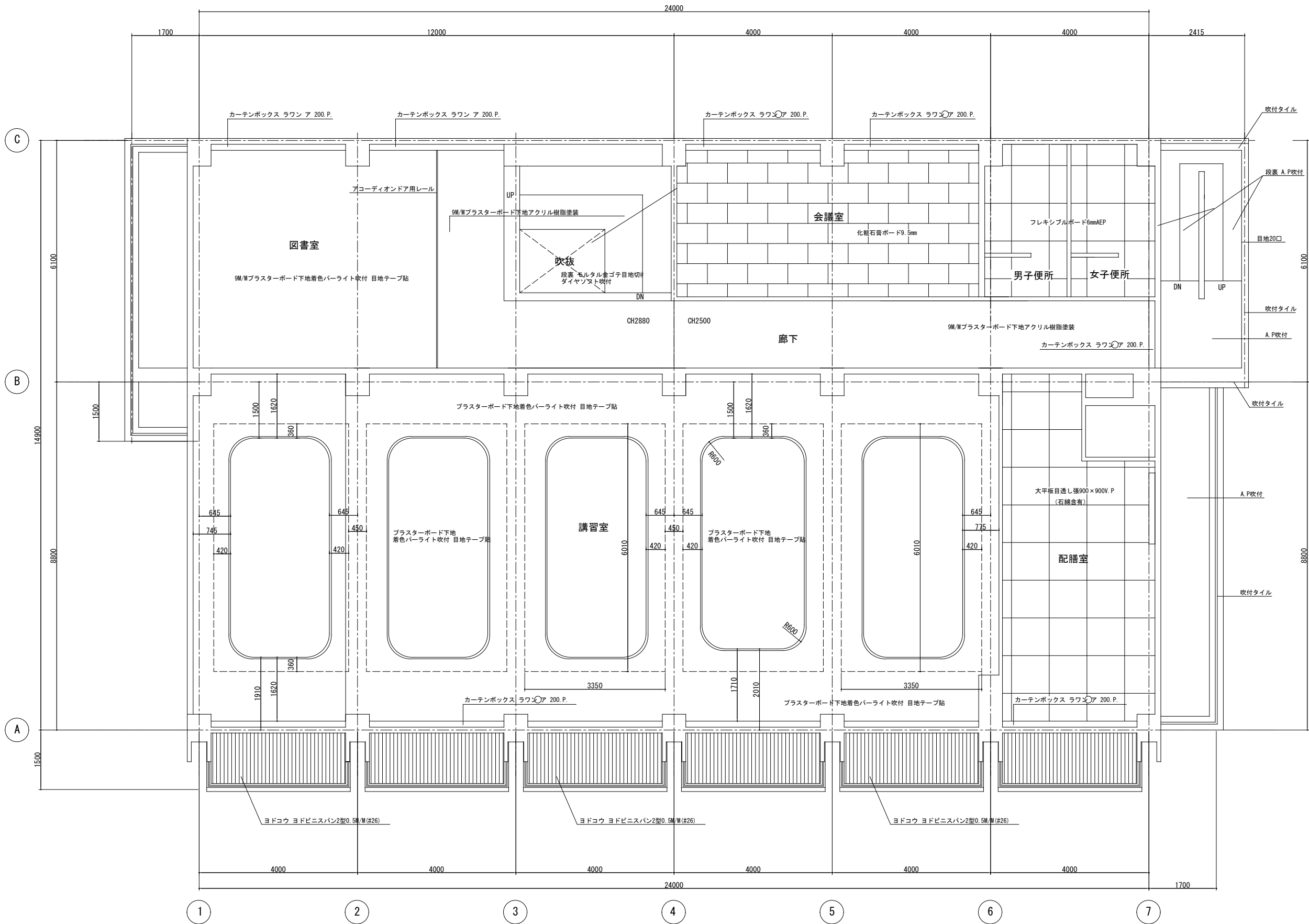
一級建築士事務所 千葉県登録 第 1-2209-2531 号  
〒295-0023 千葉県南房総市千倉町川口88 TEL0470-43-1718  
一級建築士 第 203776 号 荒井恭一

千倉社会福祉センター解体撤去工事設計図面

1階天井伏図

令和7年 3月  
S=1/50 (A1)  
S=1/100 (A3)

NO A-21



一級建築士事務所

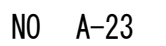
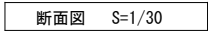
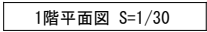
一級建築士事務所 千葉県登録 第 1-2209-2531 号  
〒295-0023 千葉県南房総市千倉町川口288 TEL0470-43-1718  
一級建築士 第 203776 号 荒井恭一

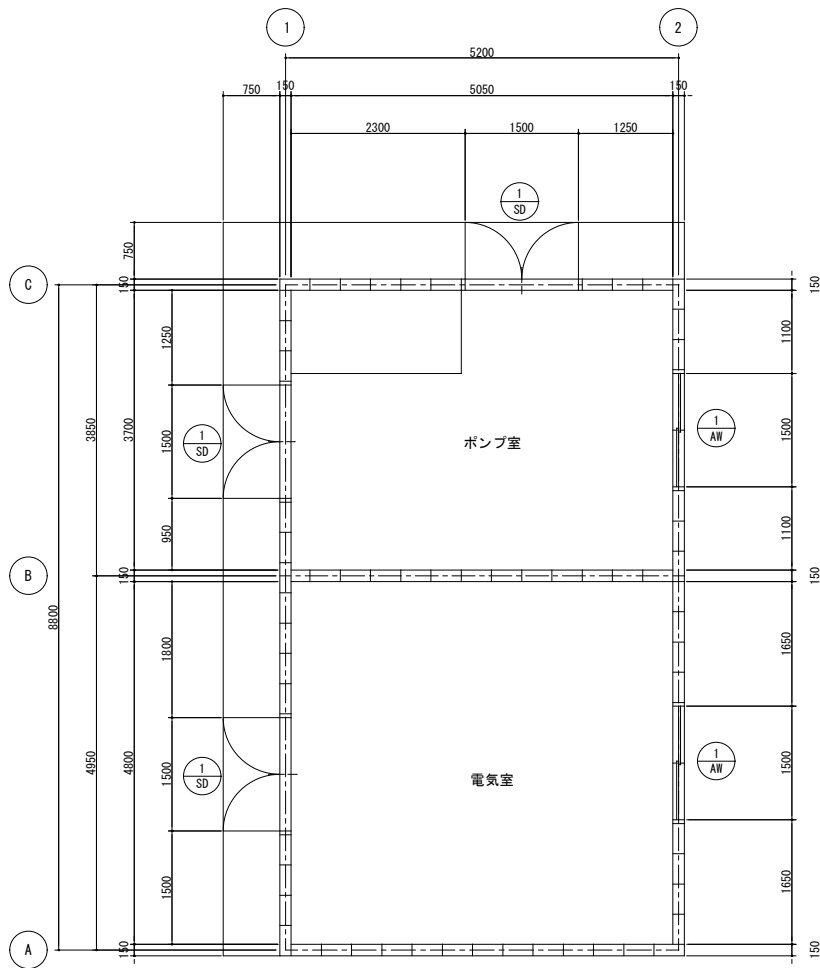
千倉社会福祉センター解体撤去工事設計図面

2階天井伏図

令和7年 3月  
S=1/50 (A1)  
S=1/100 (A3)

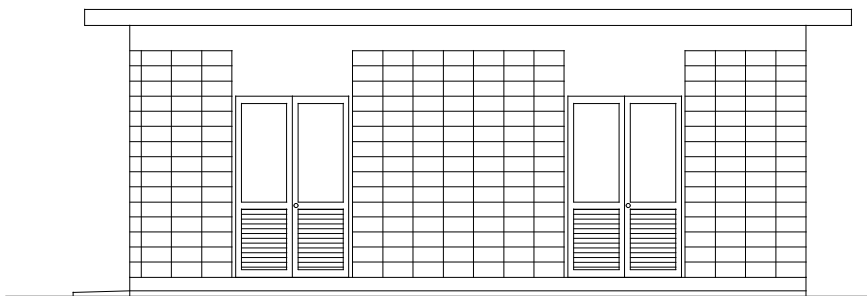
NO A-22



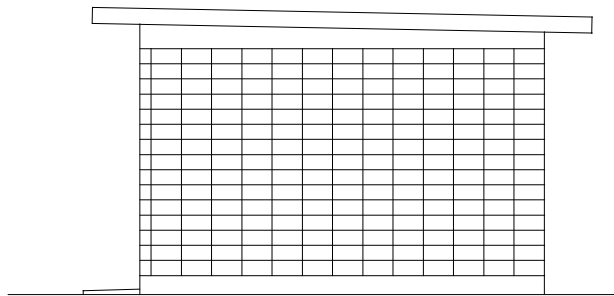


1階平面図 S=1/50

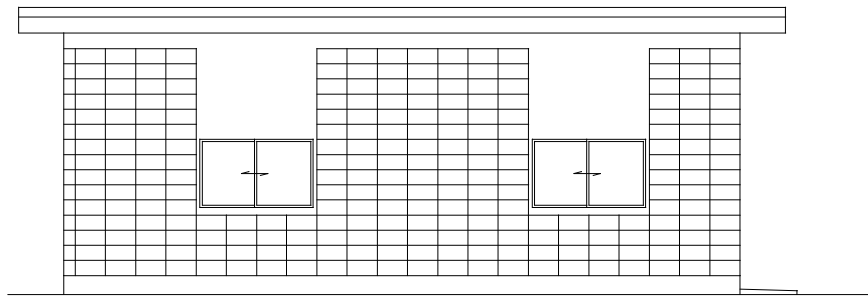
記 号	① AW	数 量	2ヶ所	記 号	① SD	数 量	3ヶ所
型 式	引違いアルミサッシ窓	使用箇所	ポンプ室、電気室	型 式	両開きスチールドア(腰ガラリ)	使用箇所	ポンプ室、電気室
付属金物	水切り、クレセント			付属金物	シリンダー錠、ドアチェック、フランス落し		
ガラス	6.8mmラフワイヤーガラス	通 用	アルミサッシ見込70	ガラス	6.8mmラフワイヤーガラス	通 用	



西側立面図 S=1/50



南側立面図 S=1/50



東側立面図 S=1/50



北側立面図 S=1/50



一級建築士事務所

一級建築士事務所 千葉県登録 第 1-2209-2531 号  
〒295-0023 千葉県南房総市千倉町川口88 TEL0470-43-1718  
一級建築士 第 203776 号 荒井恭一

千倉社会福祉センター解体撤去工事設計図面

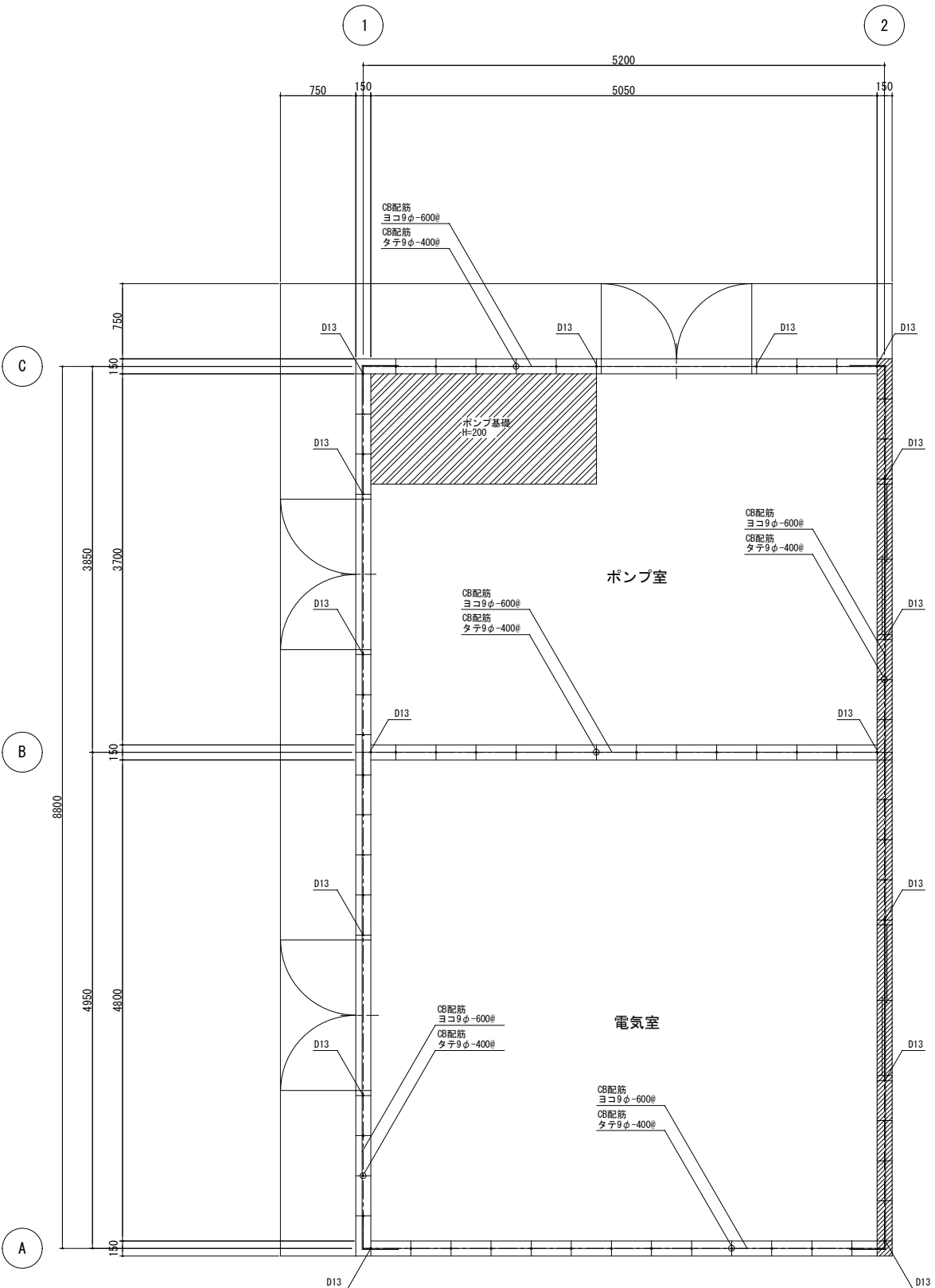
機械室立面図・建具表

令和7年 3月

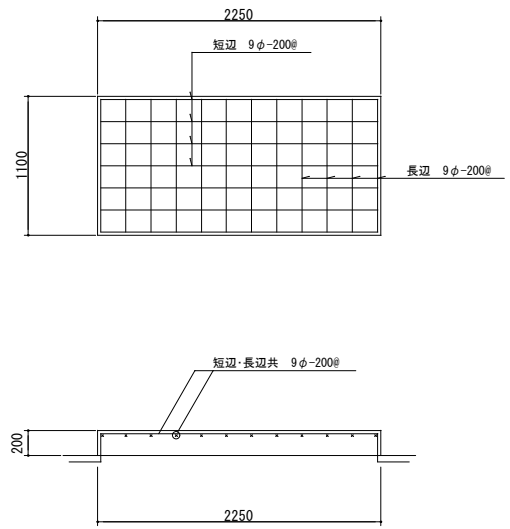
S=1/50 (A1)

S=1/100 (A3)

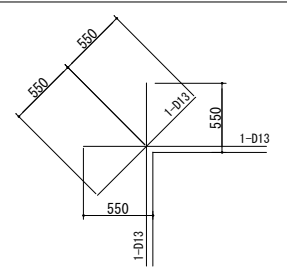
NO A-24



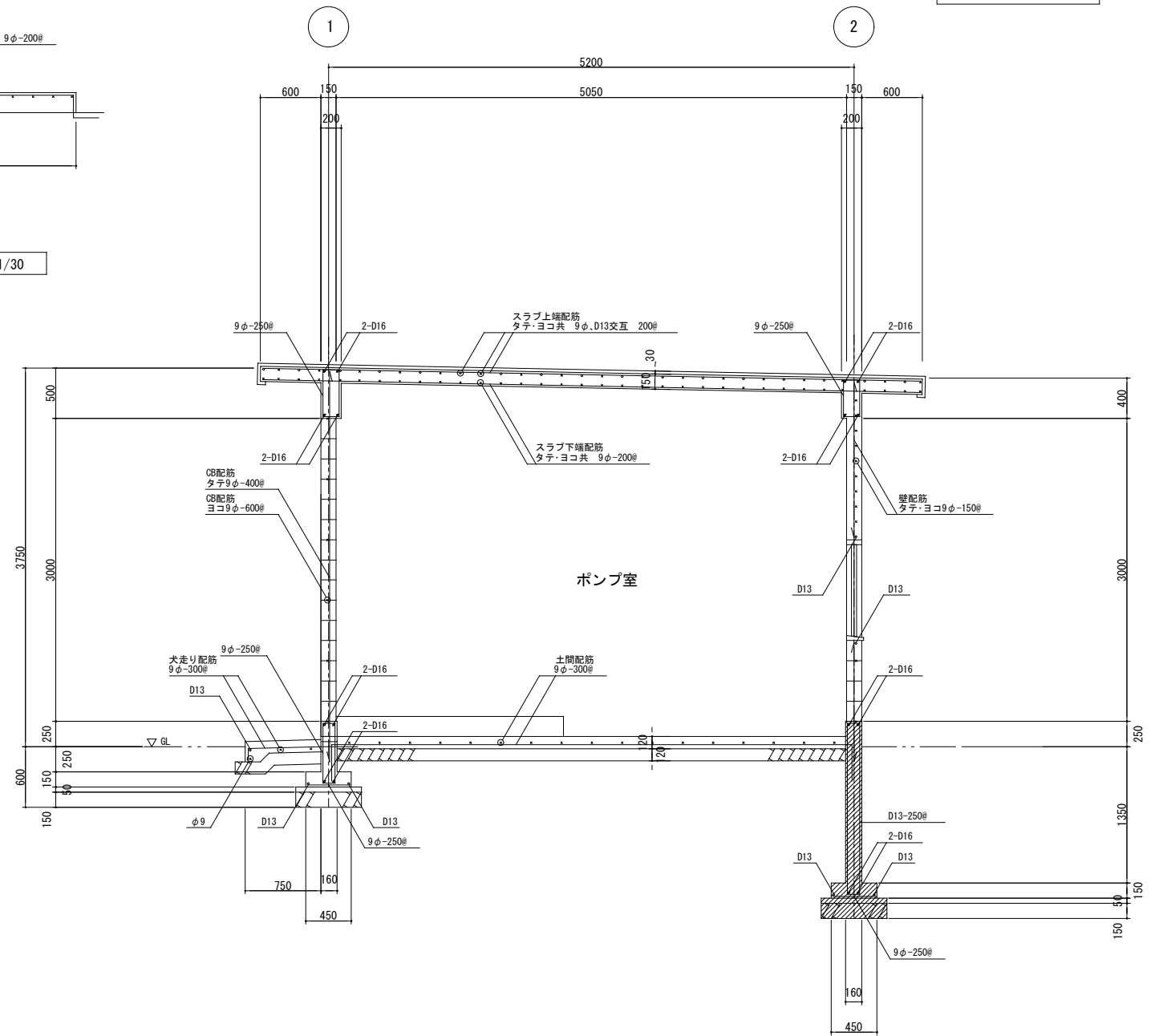
1階平面図 S=1/30



基礎配筋 S=1/30

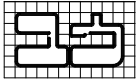


開口補強 S=1/30



断面図 S=1/30

(注記) 1. 図中の [hatched box] 部分は残置とし、土留め壁として使用する。



一級建築士事務所

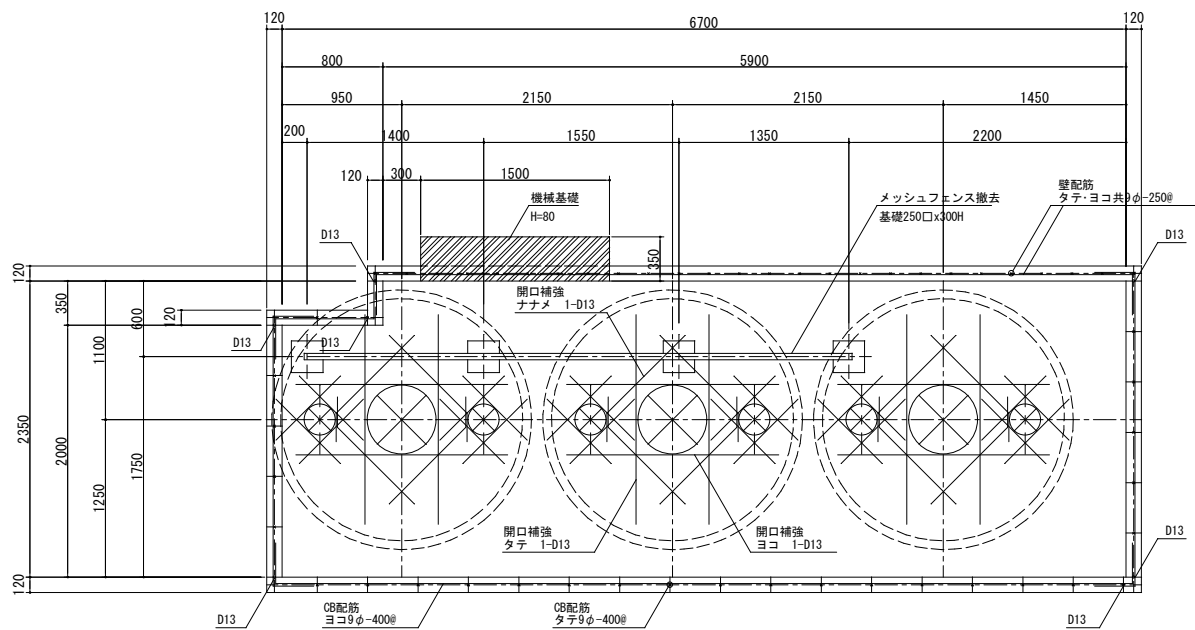
一級建築士事務所 千葉県登録 第 1-2209-2531 号  
〒295-0023 千葉県南房総市千倉町川口88 TEL0470-43-1718  
一級建築士 第 203776 号 荒井恭一

千倉社会福祉センター解体撤去工事設計図面

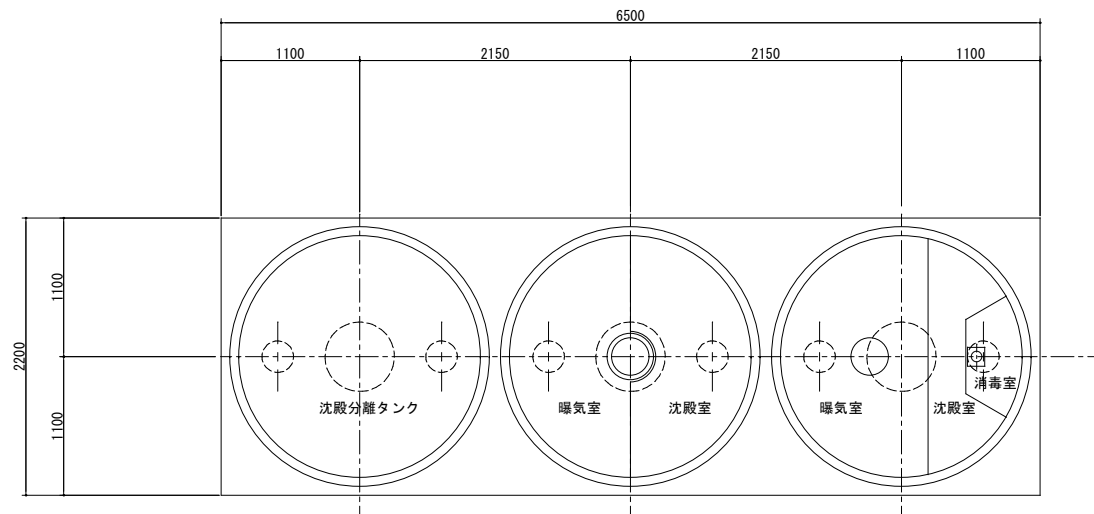
機械室配筋図

令和7年 3月  
S=1/30 (A1)  
S=1/60 (A3)

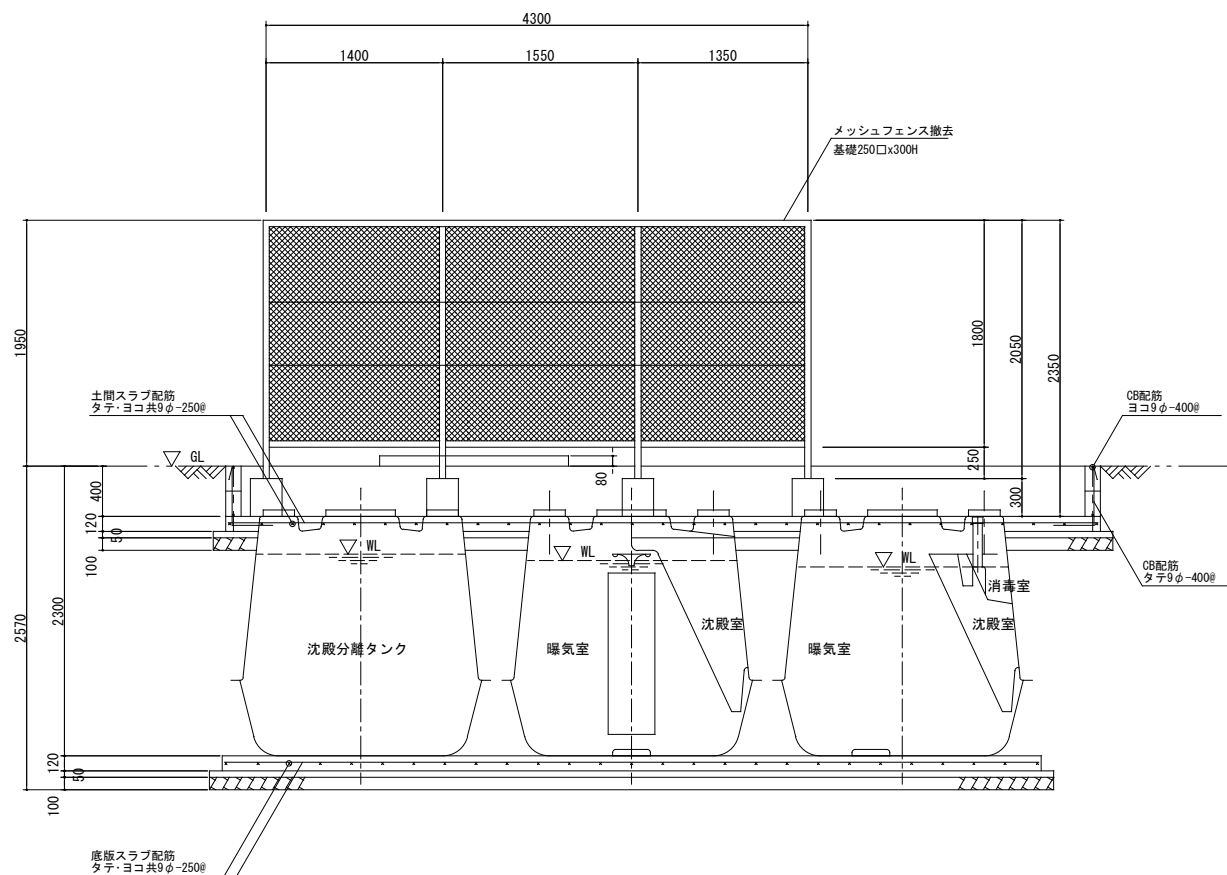
NO A-25



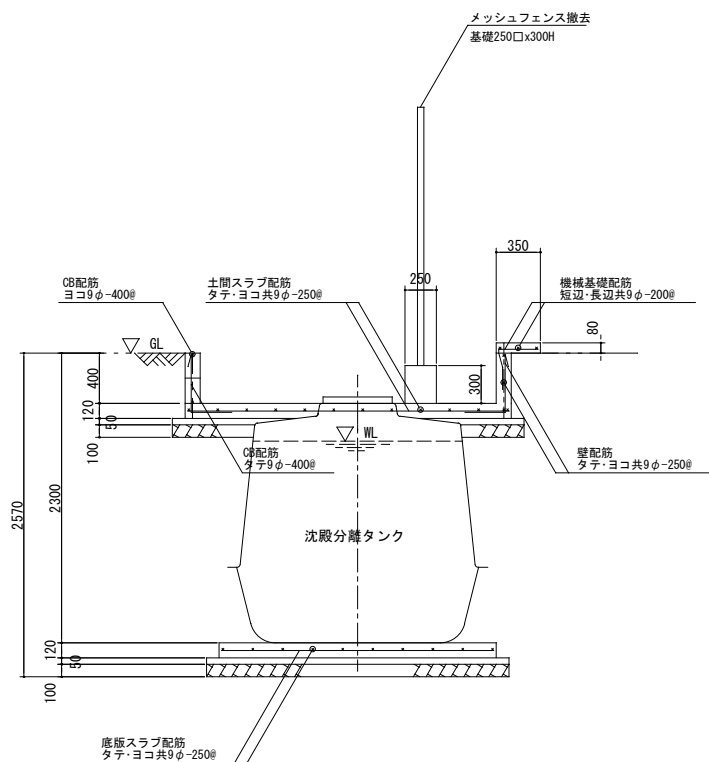
上部平面図



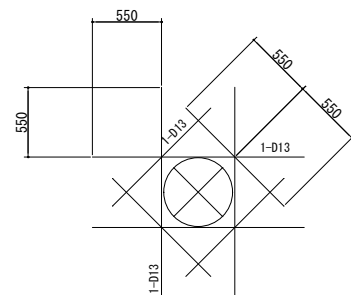
地中平面図



断面図

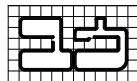


断面図



開口補強

(注記) 1. メッシュフェンスの基礎は無筋コンクリートとする。



一級建築士事務所

一級建築士事務所 千葉県登録 第 1-2209-2531 号  
〒295-0023 千葉県南房総市千倉町川口288 TEL0470-43-1718  
一級建築士 第 203776 号 荒井恭一

千倉社会福祉センター解体撤去工事設計図面

浄化槽配筋図

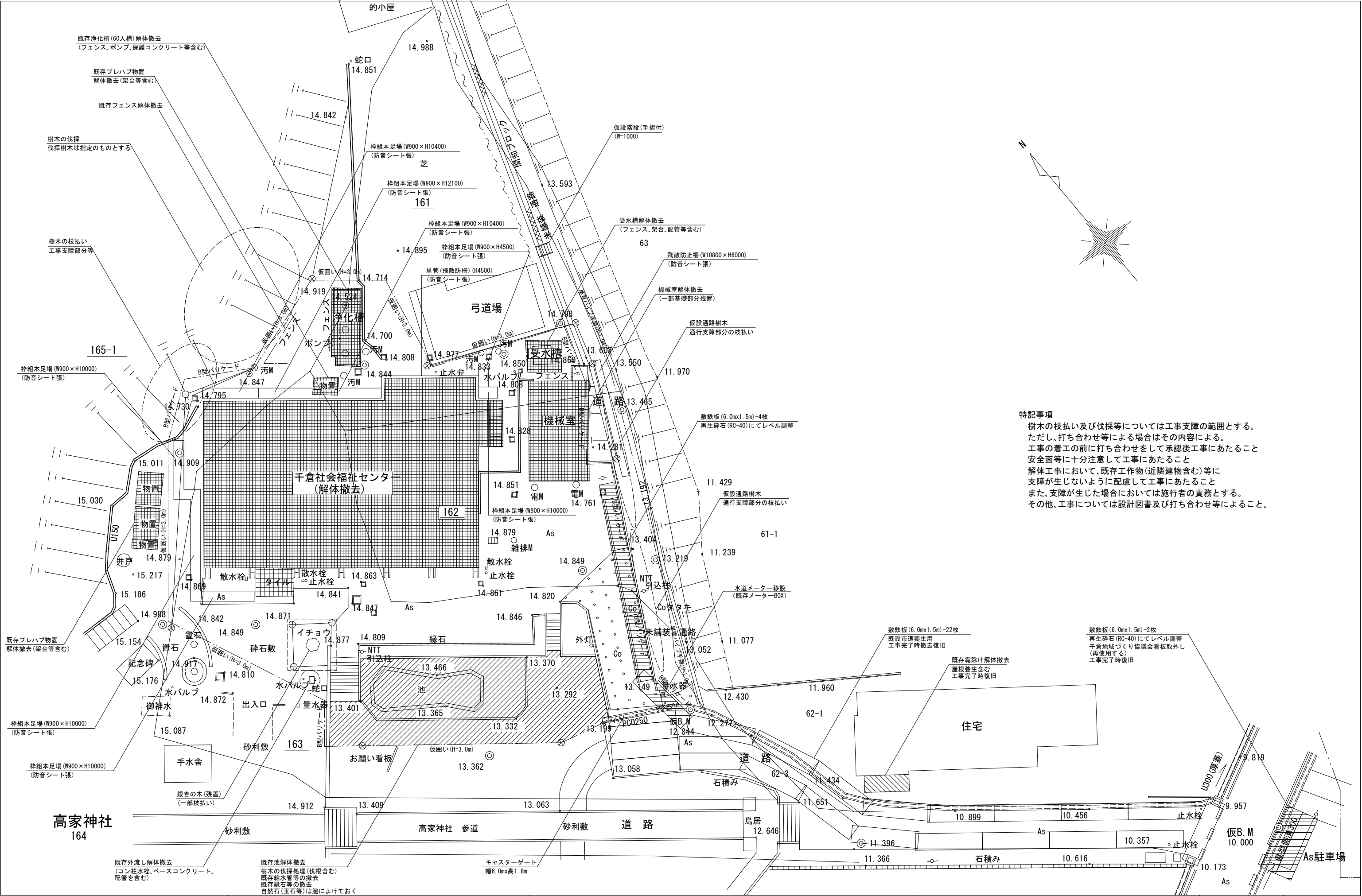
令和7年 3月

S=1/30 (A1)

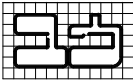
S=1/60 (A3)

NO A-26





特記事項  
樹木の枝払い及び伐採等については工事支障の範囲とする。  
ただし、打ち合わせ等による場合はその内容による。  
工事の着工の前に打ち合わせをして承認後工事にあたること  
安全面等に十分注意して工事にあたること  
解体工事において、既存工作物（近隣建物含む）等に  
支障が生じないように配慮して工事にあたること  
また、支障が生じた場合においては施行者の責務とする。  
その他、工事については設計図書及び打ち合わせ等によること。



一級建築士事務所

一級建築士事務所 千葉県登録 第 1-2209-2531 号  
〒295-0023 千葉県南房総市千倉町川口288 TEL0470-43-1718  
一級建築士 第 203776 号 荒井恭一

千倉社会福祉センター解体撤去工事設計図面

仮設計画図

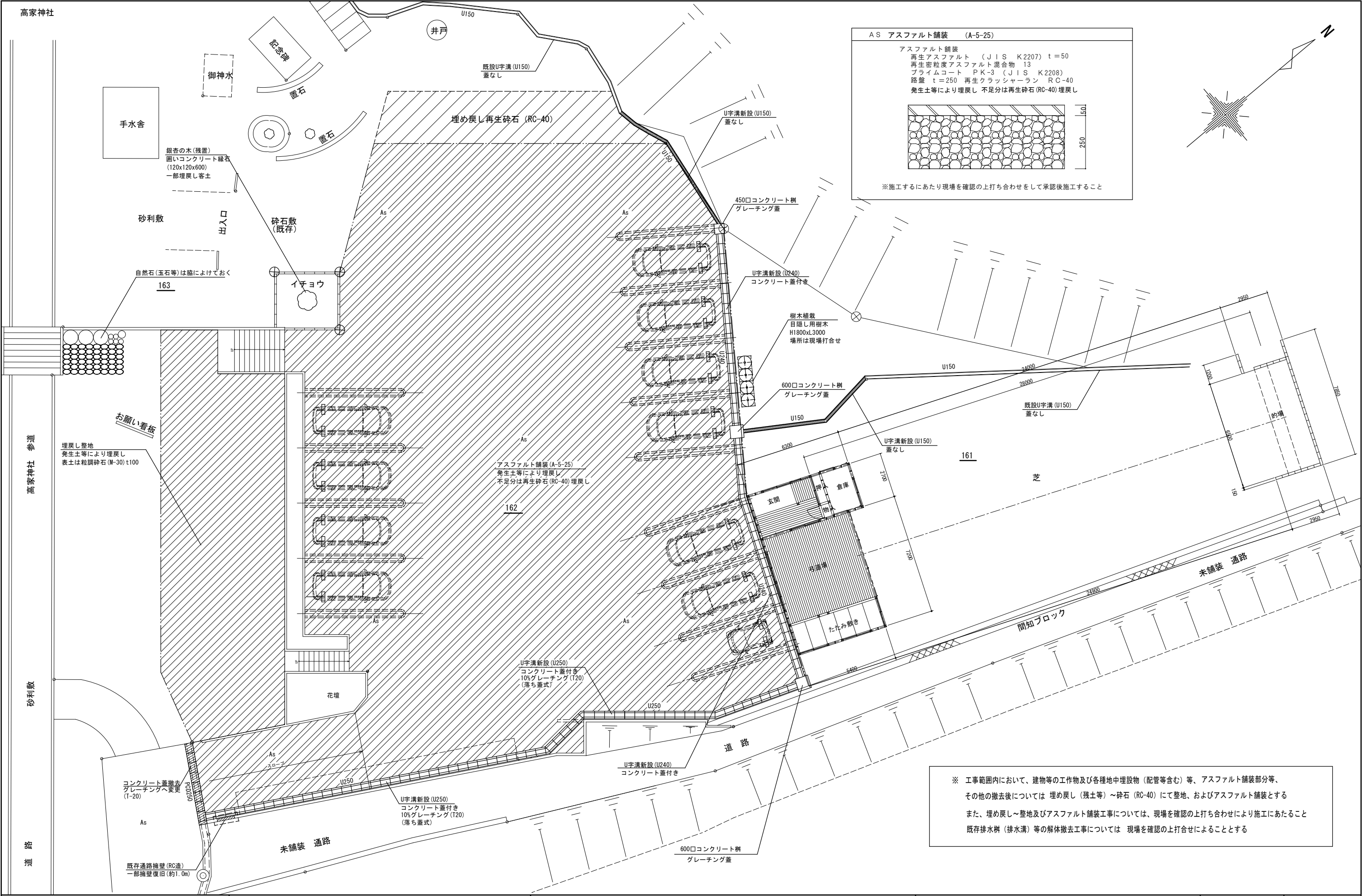
令和7年 3月

S=1/150 (A1)

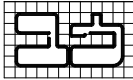
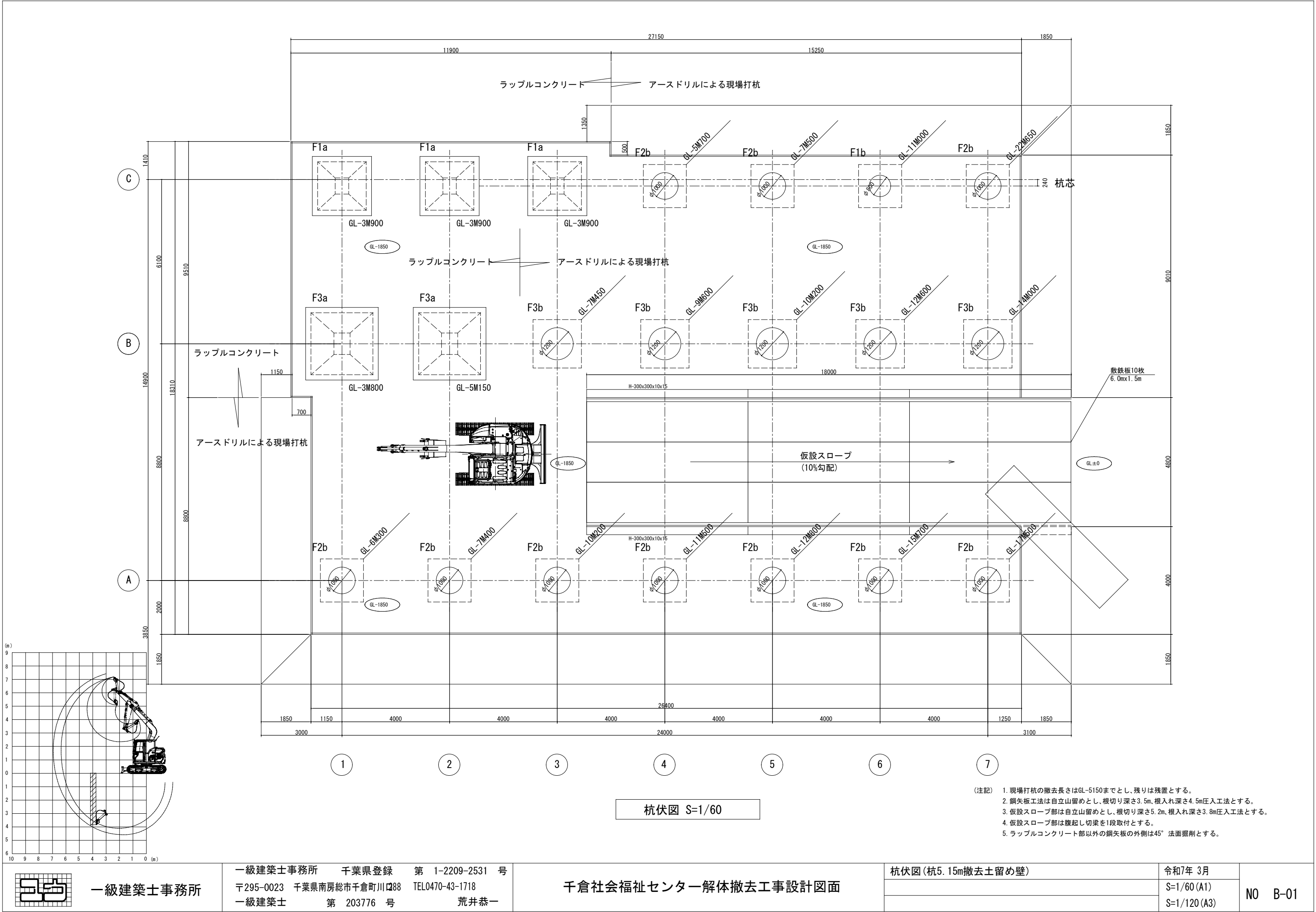
S=1/300 (A3)

NO A-27





※ 工事範囲内において、建物等の工作物及び各種地中埋設物（配管等含む）等、アスファルト舗装部分等、その他の撤去後については 埋め戻し（残土等）～砕石（RC-40）にて整地、およびアスファルト舗装とする  
また、埋め戻し～整地及びアスファルト舗装工事については、現場を確認の上打ち合わせにより施工にあたること  
既存排水樹（排水溝）等の解体撤去工事については 現場を確認の上打ち合わせによることとする



一級建築士事務所

一級建築士事務所 千葉県登録 第 1-2209-2531 号  
〒295-0023 千葉県南房総市千倉町川口88 TEL0470-43-1718  
一級建築士 第 203776 号 荒井恭一

千倉社会福祉センター解体撤去工事設計図面

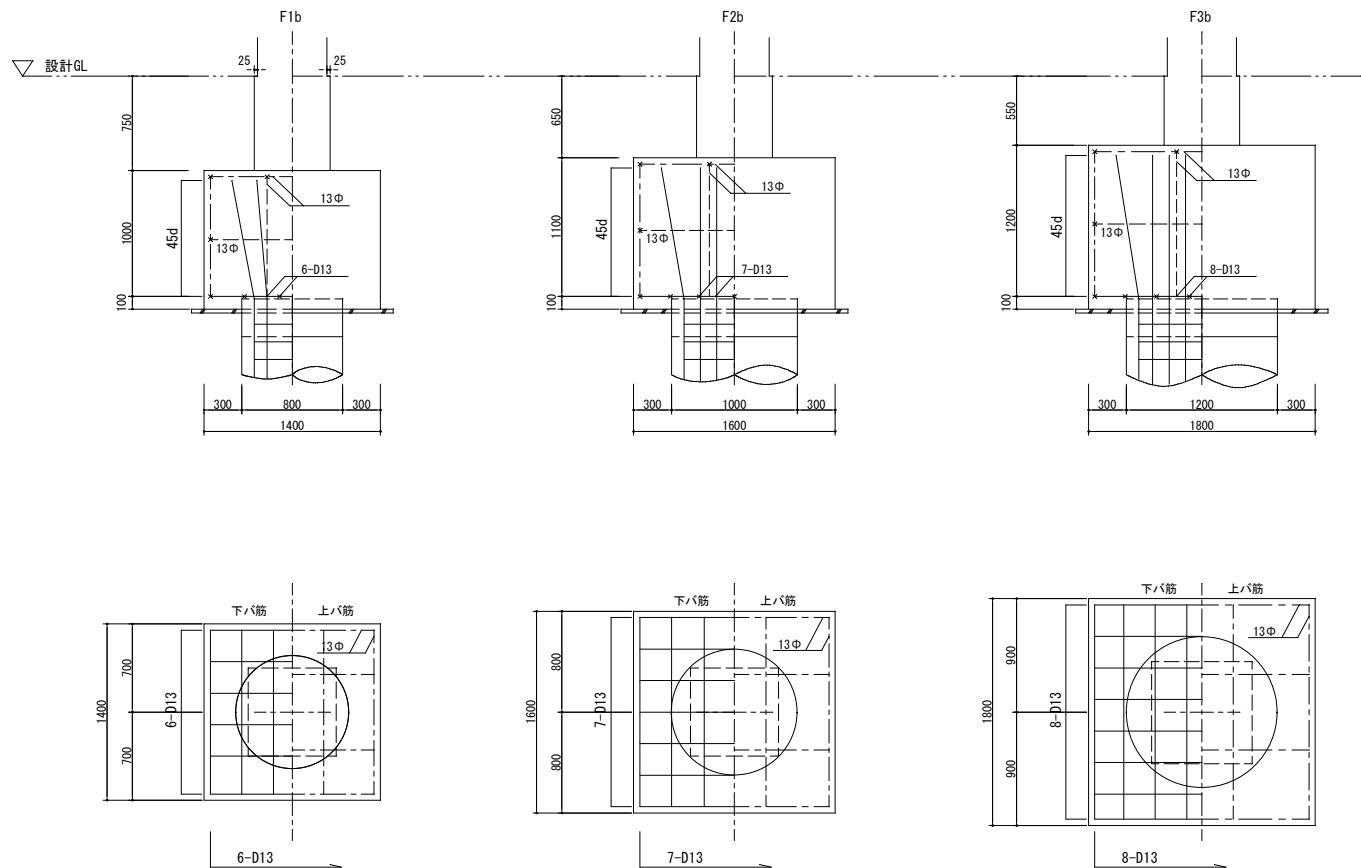
杭伏図(杭5.15m撤去土留め壁)

令和7年 3月

S=1/60 (A1)

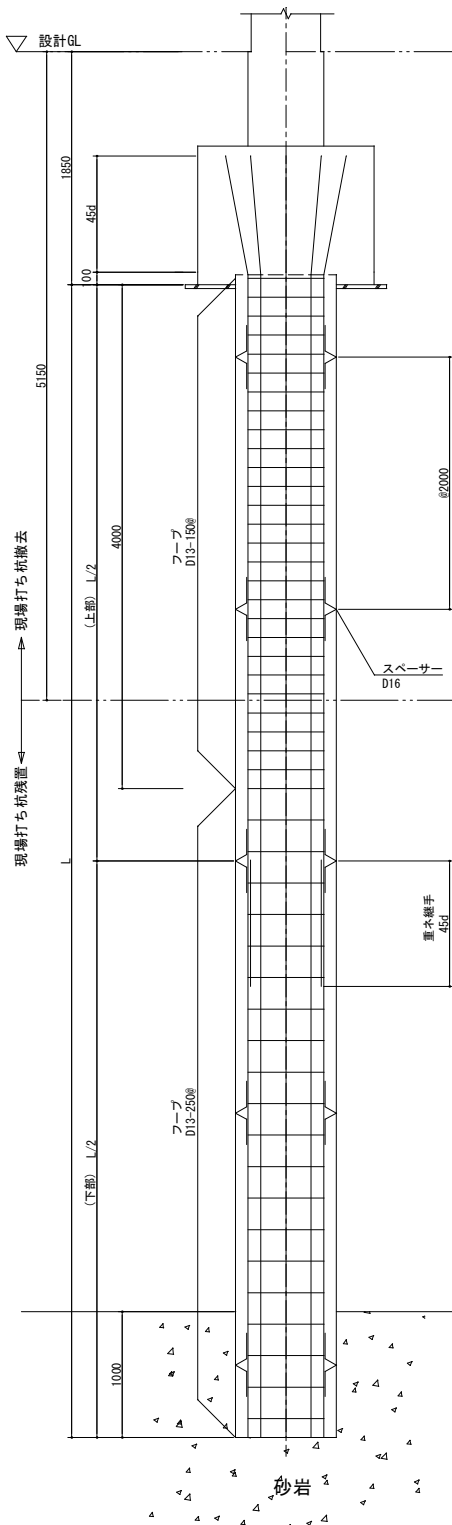
S=1/120 (A3)

NO B-01



杭 径	800φ	1000φ	1200φ
上 部			
主 筋	8-D22	8-D25	12-D25
フープ			
下 部			
主 筋	8-D19	8-D22	12-D22
フープ			

＊ 杭長 L=6.0M以下の杭は全長を上部配筋とする。



一級建築士事務所

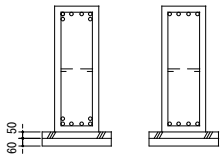
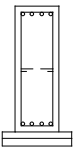
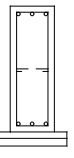
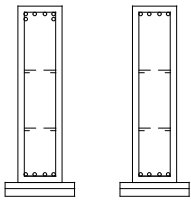
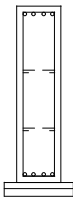
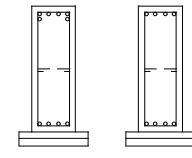
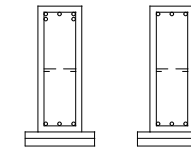
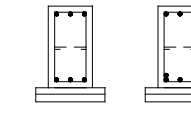
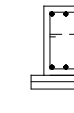
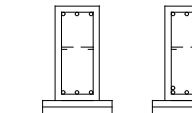
一級建築士事務所 千葉県登録 第 1-2209-2531 号  
〒295-0023 千葉県南房総市千倉町川口88 TEL0470-43-1718  
一級建築士 第 203776 号 荒井恭一

千倉社会福祉センター解体撤去工事設計図面

基礎リスト、杭リスト

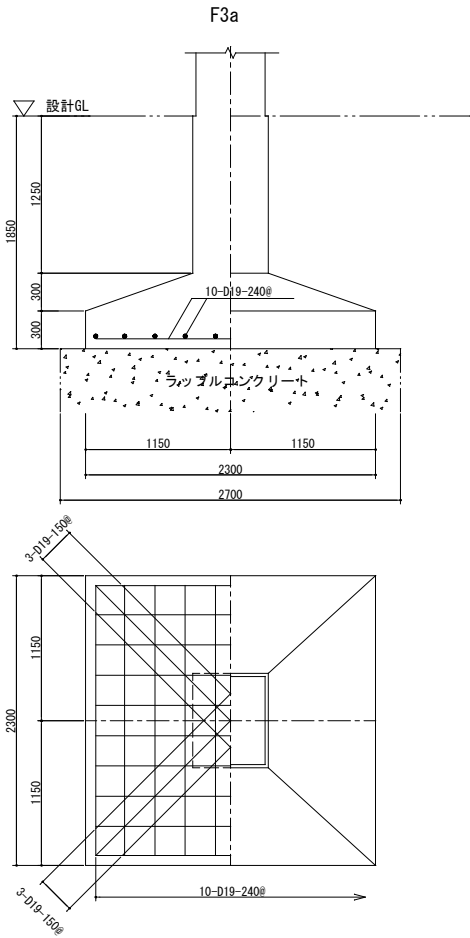
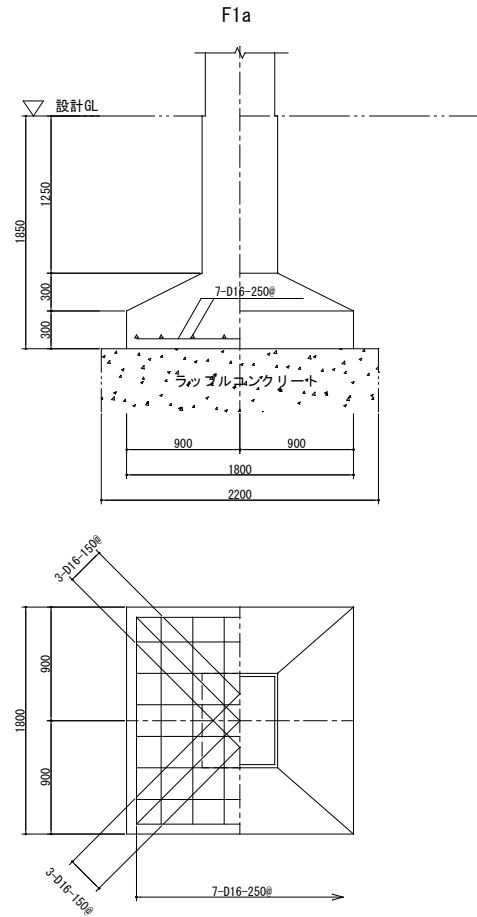
令和7年 3月  
S=1/30 (A1)  
S=1/60 (A3)

NO B-02

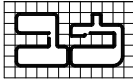
	F61	F62	F63	F64	F65	F66	CF6	FB1	FB2	FB3
	外 端      中 央 内 端	全断面	全断面	端 部      中 央	全断面	8 端      中 央 内 端	7 端      先 端	端 部      中 央	全断面	端 部      中 央
断 面										
b×D	350×1000	350×1000	350×1000	350×1400	350×1400	350×1000	350×1000	350×600	350×500	350×700
上バ筋	6-D22      4-D22	4-D22	3-D22	6-D22      4-D22	4-D22	6-D22      4-D22	5-D22      3-D22	3-D19      3-D19	3-D19	3-D22      3-D22
下バ筋	6-D22      4-D22	4-D22	3-D22	4-D22      4-D22	4-D22	4-D22      4-D22	3-D22      3-D22	3-D19      5-D19	3-D19	3-D22      5-D22
スタールップ	all 13Φ-200@	13Φ-300@	13Φ-300@	all 13Φ-200@	13Φ-300@	all 13Φ-200@	all 13Φ-200@	all 9Φ-150@	9Φ-200@	all 9Φ-150@
腹 筋				4-9Φ	4-9Φ					
巾 止										

基礎梁リスト S=1/30

特記なき限り  
基礎梁天端はGL+350とする  
腹 筋 2-9Φ  
巾 止 9Φ-600@



基礎リスト S=1/30



一級建築士事務所

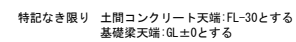
一級建築士事務所    千葉県登録    第 1-2209-2531 号  
〒295-0023    千葉県南房総市千倉町川口88    TEL0470-43-1718  
一級建築士    第 203776 号    荒井恭一

千倉社会福祉センター解体撤去工事設計図面

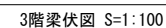
基礎梁リスト

令和7年 3月  
S=1/30 (A1)  
S=1/60 (A3)

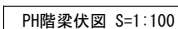
NO B-03



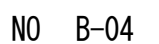
2階梁伏図 S=1:100



\* 増築後R階梁伏図も準ずる



\* 増築後はR階梁となる



梁リスト S=1/30

	GX1			GX2		GX3			GX4		GX5・GXa	GX6		GX7	
	外端	中央	内端	端部	中央	7端	中央	6端	1端	2端・中央	全断面	端部	中央	全断面	
R階 (将来増築)															
b×D	300×600			300×600		300×600			300×600		300×600	300×600		300×600	
上バ筋	4-D19	2-D19	3-D19	3-D19	2-D19	07			4-D19	2-D19	3-D19	3-D19	2-D19	3-D19	2-D19
下バ筋	2-D19	2-D19	2-D19	2-D19	2-D19				3-D19	3-D19	3-D19	2-D19	2-D19	2-D19	2-D19
スターラップ	all 13Φ-200@			all 13Φ-200@											
腹筋	2-D16			2-D16											
巾止															
3階															
b×D	350×650			350×650		350×650			350×650		350×650	350×650		350×600	
上バ筋	5-D22	3-D22	4-D22	4-D22	2-D22	5-D22	3-D22	3-D22	4-D22	3-D22	3-D22	4-D22	2-D22	2-D22	
下バ筋	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	4-D22	3-D22	3-D22	3-D22	2-D22	2-D22	
スターラップ	all 13Φ-200@			all 13Φ-200@											
腹筋	2-D16			2-D16											
巾止															
2階															
b×D	350×700			350×650		350×700			350×700		350×700	350×700		300×700	
上バ筋	5-D25	3-D25	4-D25	4-D25	2-D25	6-D25	4-D25	4-D25	5-D25	3-D25	3-D25	4-D25	2-D25	2-D25	
下バ筋	4-D25	3-D25	3-D25	3-D25	3-D25	4-D25	4-D25	4-D25	5-D25	3-D25	3-D25	3-D25	2-D25	2-D25	
スターラップ	all 13Φ-150@			all 13Φ-200@		all 13Φ-200@						all 13Φ-200@			
腹筋	2-D16			2-D16											
巾止															

梁 キープラン S=1/200

梁 打増要領図 S=1/30

増築予定 柱・梁要領図 S=1/30

梁 特記事項

特記なき限り

スターラップ

腹筋

巾止

13Φ-200@

13Φ-150@

2-9Φ

9Φ-600@

一級建築士事務所

一級建築士事務所 千葉県登録 第 1-2209-2531 号

〒295-0023 千葉県南房総市千倉町川口288 TEL0470-43-1718

一級建築士 第 203776 号 荒井恭一

千倉社会福祉センター解体撤去工事設計図面

梁リスト

令和7年 3月

S=1/30 (A1)

S=1/60 (A3)

NO M-05



柱特記事項 (各階共通)

特記なき限り

フープC1~4  
C5~7

補助フープ

13Φ-100# (但し梁内は9Φ-150#)  
9Φ-100# (但し梁内は9Φ-150#)  
9Φ-500#

柱リスト S=1/30

	C1	C2 C4	C3	C5 C7	C6
3階					
主筋	○ 14-D22	○ 8-D22 ● 6-D19	○ 10-D22 ● 4-D19	● 12-D19	● 8-D19
フープ					
2階					
主筋	○ 14-D22	○ 8-D22 ● 6-D19	○ 10-D22 ● 4-D19	● 12-D19	● 12-D19
フープ					

スラブリスト S=1/30

\*は柱列帯を示す 配筋は9Φ-250#

1階柱リスト S=1/30

増築予定スラブ

CSaはS3の端部に準ずる l=1000  
CSbはS1の端部に準ずる l=1000

スラブ厚	柱列帯	長辺断面		短辺断面		柱列帯
		端部	中央	中央	端部	
S1	上バ筋 9Φ-250# 下バ筋 9Φ-250#	13Φ-200# 9Φ-400#	9Φ-13Φ-200#	9Φ-250#	9Φ-13Φ-250# 9Φ-500#	9Φ-250# 9Φ-250#
S2	上バ筋 9Φ-250# 下バ筋 9Φ-250#	9Φ-13Φ-200# 9Φ-400#	9Φ-200#	9Φ-200#	9Φ-13Φ-200# 9Φ-400#	9Φ-250# 9Φ-250#
S3	上バ筋 all 下バ筋 all	9Φ-13Φ-200# 9Φ-200#		all	9Φ-250# 9Φ-250#	
S4	上バ筋 all 下バ筋 all	9Φ-200# 9Φ-200#		all	9Φ-250# 9Φ-250#	
S5	上バ筋 all 下バ筋 all	13Φ-200# 13Φ-200#		all	13Φ-200# 13Φ-200#	

壁配筋リスト S=1/30

	W18a	W18	W15	W12	CB10
断面					
縦筋	13Φ-150#ダブル	13Φ-200#ダブル	9Φ-150#	9Φ-200#	9Φ-400#
横筋	9Φ-200#ダブル	9Φ-250#ダブル	9Φ-150Φ	9Φ-250#	9Φ-600#

開口部補強 S=1/30

ブロック壁受補強

一級建築士事務所

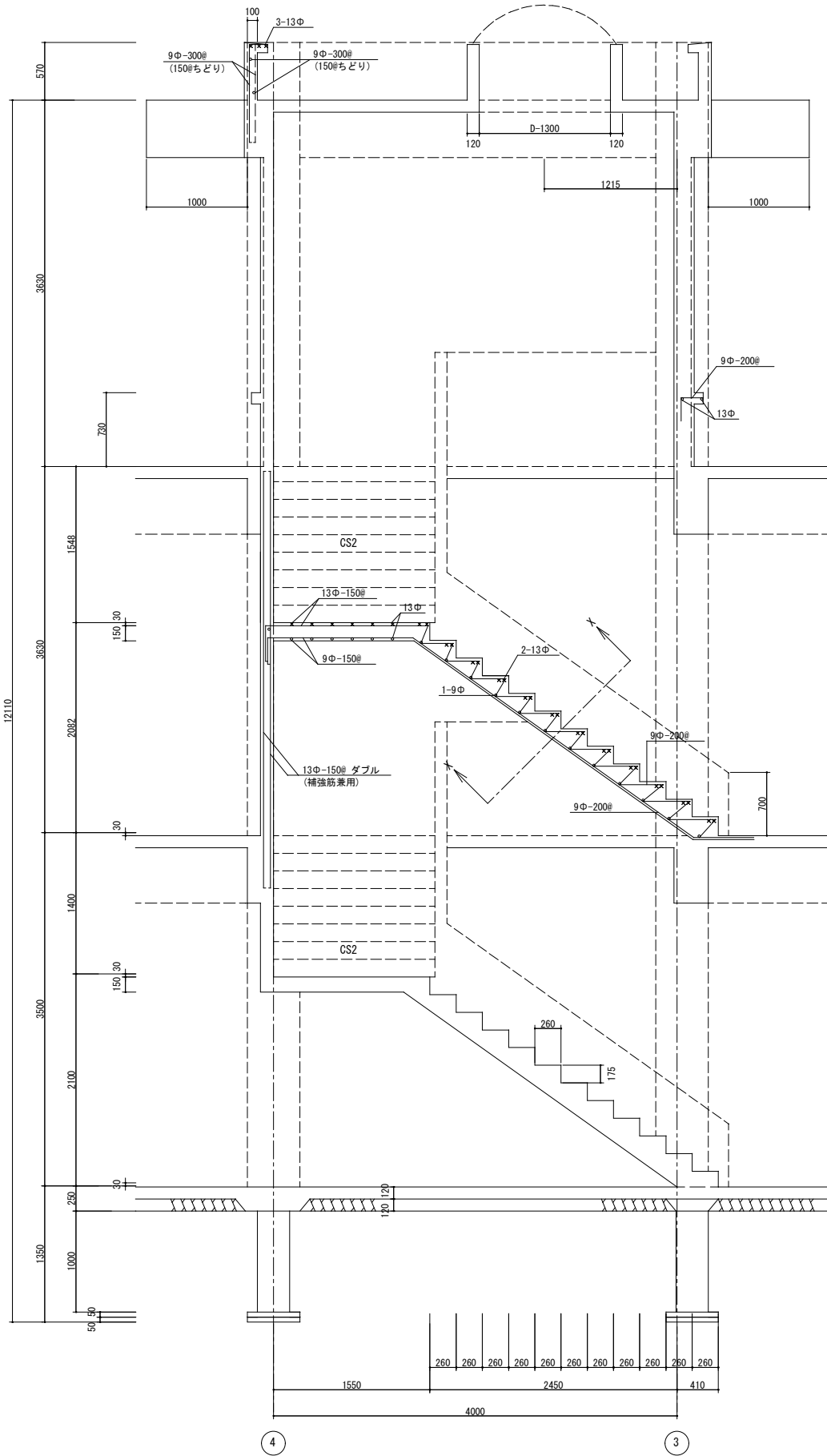
一級建築士事務所 千葉県登録 第 1-2209-2531 号  
〒295-0023 千葉県南房総市千倉町川口288 TEL0470-43-1718  
一級建築士 第 203776 号 荒井恭一

千倉社会福祉センター解体撤去工事設計図面

柱リスト  
スラブリスト  
壁リスト

令和7年 3月  
S=1/30 (A1)  
S=1/60 (A3)

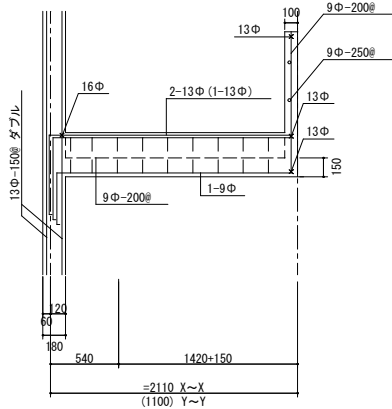
N0 B-06



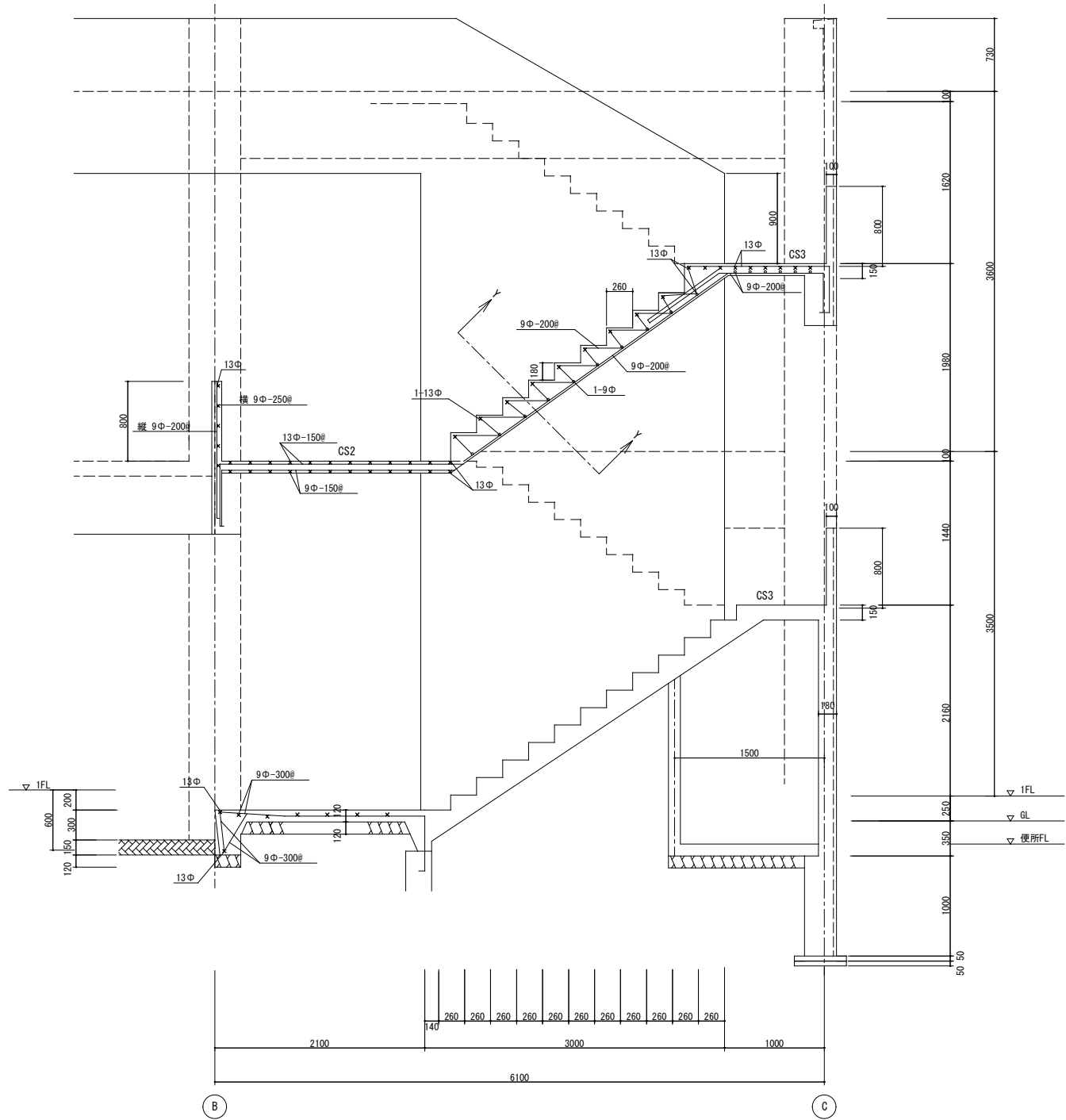
階段配筋詳細図 S=1/30

小梁リスト S=1/30

	B1	B2		B3		CG1		CG2		CG3	
	全断面	端部	中央	端部	中央	内端	先端	内端	先端	内端	先端
断面											
b × D	250 × 500	250 × 500		250 × 600		300 × 600		350 × 650		350 × 650	350 × 500
上ハバ筋	2-D19	3-D19	2-D19	2-D22	2-D2	5-D19	3-D19	5-D22	3-D22	5-D22	3-D22
下ハバ筋	2-D19	2-D19	3-D19	2-D22	4-D22	13-D19	3-D19	3-D22	3-D22	3-D22	2-D22
スターラップ	9Φ-250@	9Φ-250@		9Φ-200@		9Φ-200@		9Φ-150@		9Φ-150@	
腹筋				2-9Φ		2-9Φ		2-9Φ		2-9Φ	
巾止				9Φ-600@		9Φ-600@		9Φ-600@		9Φ-600@	



X~X・Y~Y断面 S=1/30



外部階段配筋詳細図 S=1/30



一級建築士事務所

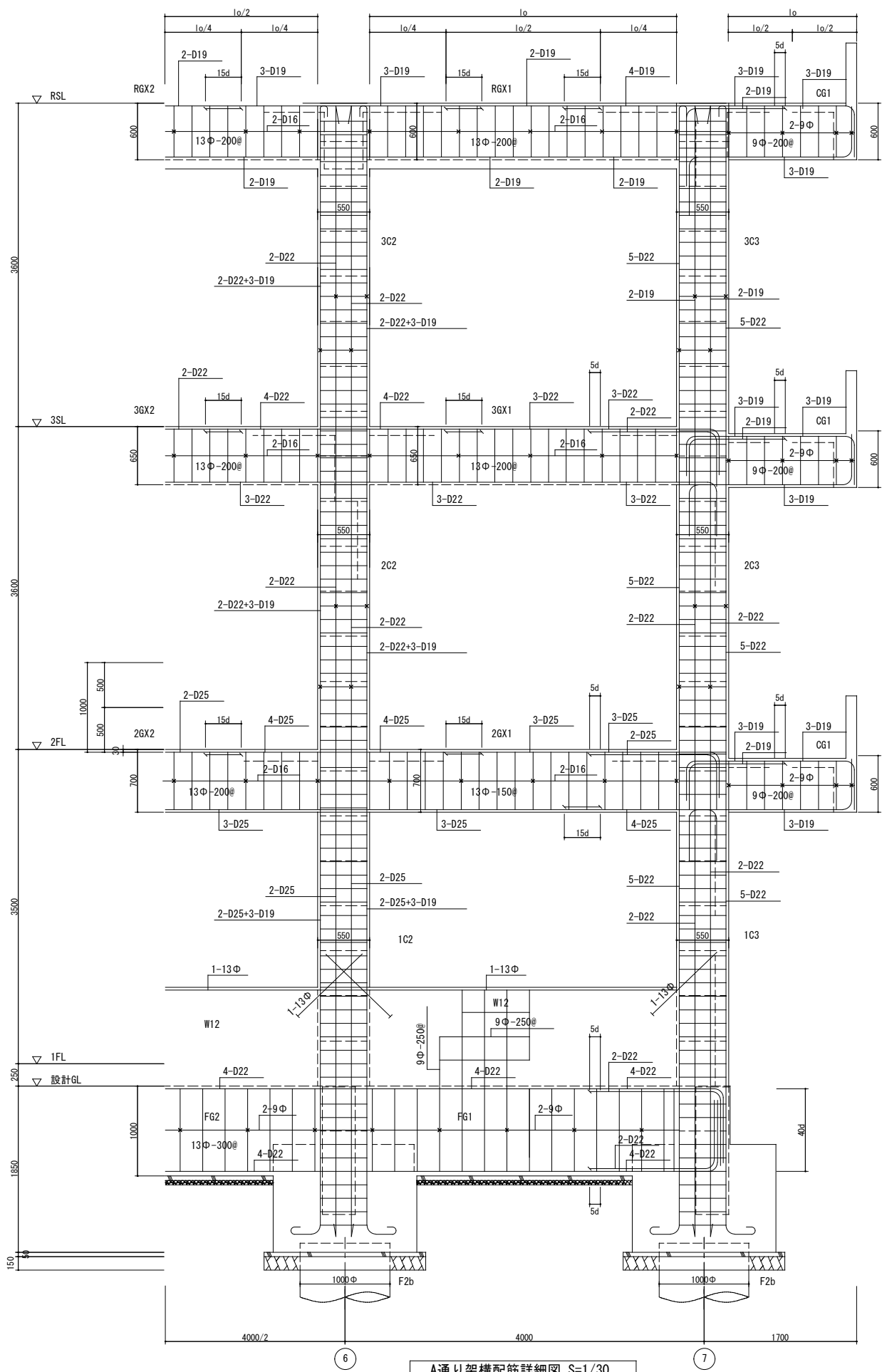
一級建築士事務所 千葉県登録 第 1-2209-2531 号  
〒295-0023 千葉県南房総市千倉町川口288 TEL0470-43-1718  
一級建築士 第 203776 号 荒井恭一

千倉社会福祉センター解体撤去工事設計図面

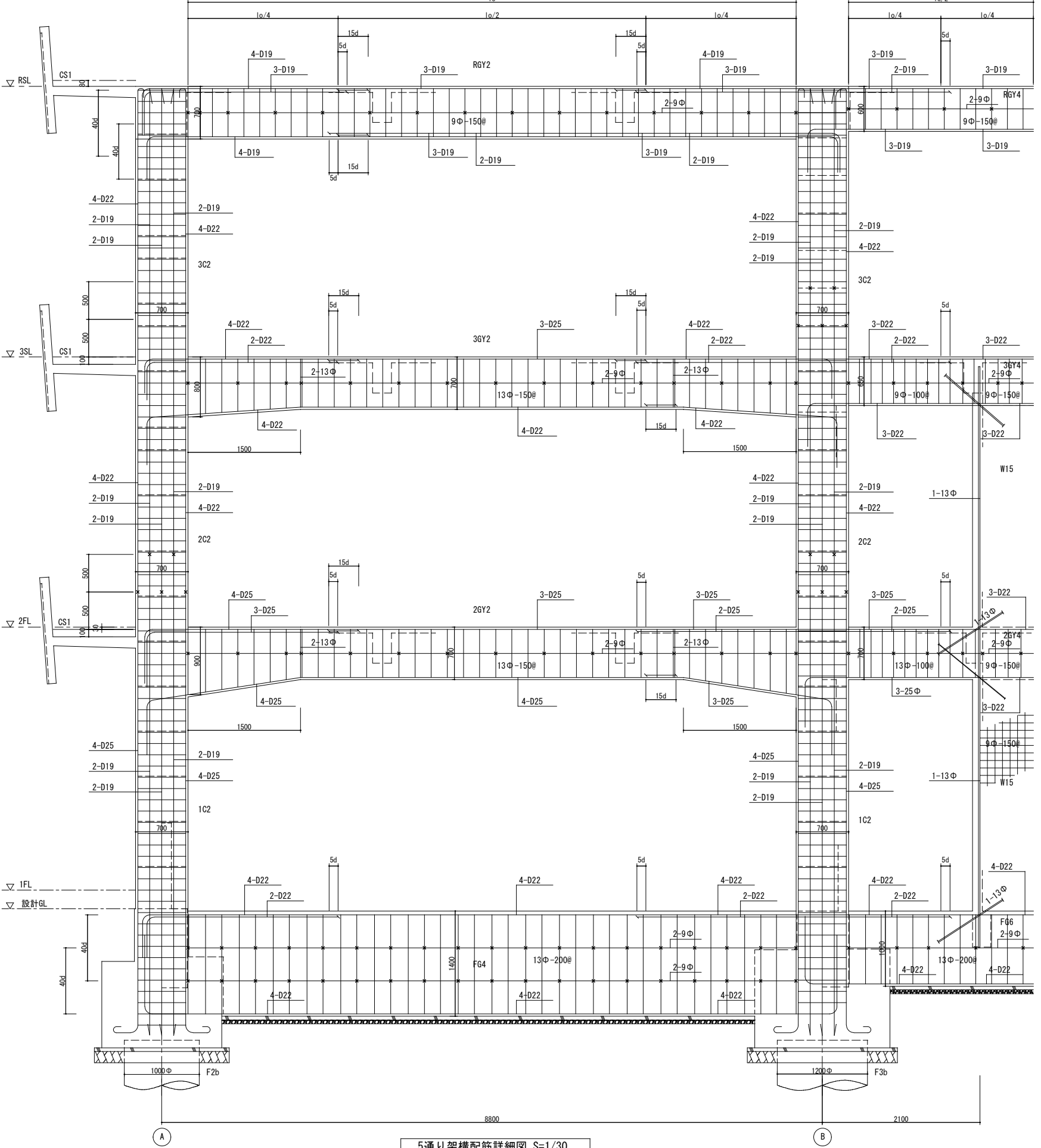
小梁リスト

令和7年 3月  
S=1/30 (A1)  
S=1/60 (A3)

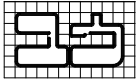
NO B-07



A通り架構配筋詳細図 S=1/30



5通り架構配筋詳細図 S=1/30



一級建築士事務所

一級建築士事務所 千葉県登録 第 1-2209-2531 号  
〒295-0023 千葉県南房総市千倉町川口88 TEL0470-43-1718  
一級建築士 第 203776 号 荒井恭一

千倉社会福祉センター解体撤去工事設計図面

架構配筋詳細図

令和7年 3月  
S=1/30 (A1)  
S=1/60 (A3)

N0 B-08

[illegible]

章	項 目	特 記 事 項	章	項 目	特 記 事 項
● 一般事項	○ 施設点検	本工事完成(「工事目的物の引渡し」を行った日)後、2年以内(原則として1年目)に施設点検(不具合の有無を確認し、その処理について協議)を行う場合は、発注者等から依頼があり次第施設点検に立会い協力するものとする。	● 共通事項	● 工事前の絶縁抵抗測定 ○ 施工調査	改修する回路の絶縁抵抗は、比較のため工事の前後で測定すること。  事前調査 ○ 本工事 ○ 別途 調査項目 ○ 既存資料調査 ○ 調査範囲 ○ 図示 ○ 調査方法 ○ 図示 ○  ○ はつり工事は、事前に走査式埋設物調査を行い、監督職員に報告を行う。
	● その他	本工事に含まれる建築工事、機械設備工事は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の標準仕様書(令和4年版)に準拠して行う。 情報システム課が設置した機器(アクセスポイント、サーバーラック等)がある場合は、取扱いを監督職員と協議すること。		○ 電気方式	高圧 ○ 三相3線式 6kV 低圧 ○ 三相3線式 200V ○ 三相 線式 V ○ 単相3線式 200V/100V ○ 単相 線式 V ○ CB形(5サイクル以内) ○ PF-S形 変圧器総容量 kVA (うち本工事に係るもの kVA) ○ 高圧 kVar ○ 低圧 自動力率制御( ○ あり ○ なし) ○ 屋内形 ○ 屋外形 W1000×10t×L
	● デジタル工事写真の小黒板情報電子化	デジタル工事写真の小黒板情報電子化は、受発注者双方の業務効率化を目的に、被写体画像の撮影と同時に工事写真における小黒板の記載情報の電子的記入および、工事写真の信憑性確認を行うことにより、現場撮影の省力化、写真整理の効率化、工事写真の改ざん防止を図るものである。 本工事でデジタル工事写真の小黒板情報電子化を行う場合は、工事契約後、監督職員の承認を得たうえでデジタル工事写真の小黒板情報電子化対象工事(以降、「対象工事」と称する)とすることができる。対象工事では、以下の1)から4)の全てを実施することとする。 1)対象機器の導入 受注者は、デジタル工事写真の小黒板情報電子化の導入に必要な機器・ソフトウェア等(以降「使用機器」と称する)については、営繕工事写真撮影要領2. ③)に示す項目の電子的記入ができること、かつ信憑性確認(改ざん検知機能1)を有するものを使用することとする。なお、信憑性確認(改ざん検知機能1)は、「電子政府における調達のために参照すべき暗号のリスト(CRYPTREC 暗号リスト)」 URL「https://www.cryptrec.go.jp/list.html」に記載している技術を使用していること。また、受注者は監督職員に対し、工事着手前に本工事で使用機器について提示するものとする。 なお、使用機器の事例として、 URL「http://www.cals.jacic.or.jp/GIM/sharing/index.html」記載の「デジタル工事写真の小黒板情報電子化対応ソフトウェア」を参照されたい。ただし、この使用機器の事例からの選定に限定するものではない。 2)デジタル工事写真における小黒板情報の電子的記入 受注者は、1)の使用機器を用いてデジタル工事写真を撮影する場合は、被写体と小黒板情報を電子画像として同時に記録しともよい。小黒板情報の電子的記入を行う項目営繕工事撮影要領2. ③)撮影方法)による。 ただし、対象工事において、高温多湿、粉じん等の現場条件の影響により、対象機器の使用が困難な工種については、使用機器の利用を限定するものではない。 3)小黒板情報の電子的記入の取扱い 本工事の工事写真の取扱いは、営繕工事写真撮影要領に準ずるが、2)に示す小黒板情報の電子的記入については、同要領4. 7. 規定されたい写真編集には該当しない。 4)小黒板情報の電子的記入を行った写真の納品 受注者は、2)に示す小黒板情報の電子的記入を行った写真(以下、「小黒板情報電子化写真」と称する。)を、工事完成時に監督職員へ納品するものとする。 なお納品時に、受注者は URL「http://www.cals.jacic.or.jp/GIM/sharing/index.html」のチェックシステム(信憑性チェックツール)又はチェックシステム(信憑性チェックツール)を搭載した写真管理ソフトウェアや工事写真ビューアソフトを用いて、小黒板情報電子化写真の信憑性確認を行い、その結果を併せて監督職員へ「工事打合せ簿」等により提出するものとする。なお、提出した信憑性確認の結果を、監督職員が確認することができる。		○ 主断断機 ○ 設備容量 ○ 進相コンデンサ ○ 配電盤 ○ 絶縁ゴムマット ○ その他	
● 共通事項	○ 金風装露出管路(亜鉛メッキ面)の塗装	○ すべて地下処理の後、塗装(調合ペイント2回塗り)を行う。 ○ 配線室以外の管路は、すべて地下処理の後、塗装(調合ペイント2回塗り)を行う。	● 電気設備	● 電気方式	幹線 ● 単相3線式 200V/100V ○ 直流2線式 100V 分岐 ● 単相3線式 100V ○ 直流2線式 100V ○ 単相3線式 200V ○ 外部固定式 ○ 内部固定式 ○ 回転形又は上下動形 ○ アップリフト
	○ 厚銅電線管及び同附属品	電線管外面の仕上げは、 ○ 溶融亜鉛メッキ ○ 製造者標準 とする。 電線管内部の仕上げは、 ○ 溶融亜鉛メッキ ○ 製造者標準 とする。 電線管付属品は、 ○ 上記と同等の防食性能を有する防食形 ○ 標準品 とする。 特記あるもの及び特殊なものを除き ○ 砲金製 ○ アルミ合金製 ○ ステンレス " ○ 水平高低調整式(空転防止リング付) 0A用インナーコンセント ○ 樹脂製 ○ アルミ合金製		○ ハイテンションアウトレット ○ 非常照明器具 ○ 配線器具 ○ 非常用の照明装置の照度測定箇所数	○ 電池内蔵形 ○ 電池別置形 ○ タンブラスイッチは ○ ワイド形 ○ 大角形 ○ 壁付コンセントは(2口は横式で可) ○ ワイド形 ○ 大角形 測定数: 監督職員の指示による。
	○ フロアブレードフロアカバー	特記あるもの及び特殊なものを除き ○ 砲金製 ○ アルミ合金製 ○ ステンレス 長さ1m以上のの線しない管路には、1.2mm以上のビニル被覆鉄線を挿入する。 建築工事にてF板(スタイロフォーム等)打ち込みの箇所に取付ける位置ボックス等は、保温、結露防止処理を行う。 合成樹脂製可とう電線管(PF)は、一重管とする。		○ 電気方式	幹線 ○ 三相3線式 200V ○ 相 線式 V 分岐 ○ 三相3線式 200V ○ 相 線式 V ○ 機器への接続 本工事で制御盤より別途電動機等への配線接続は ○ 本工事 ○ 別途工事
● 共通事項	○ フラッシュプレート呼び線	特記あるもの及び特殊なものを除き ○ 樹脂製 ○ アルミ合金製 ○ ステンレス 長さ1m以上のの線しない管路には、1.2mm以上のビニル被覆鉄線を挿入する。 建築工事にてF板(スタイロフォーム等)打ち込みの箇所に取付ける位置ボックス等は、保温、結露防止処理を行う。	● 配線設備	● 電気方式	○ 高圧 ○ 三相3線式 6kV ● 低圧 ○ 三相3線式 200V ○ 三相 線式 V ● 単相3線式 200V/100V ○ 単相 線式 V ○ 単相 線式 V
	○ 保温・結露防止	合成樹脂製可とう電線管(PF)は、一重管とする。		● 電線方式	○ 地中線式 マンホール、ハンドホール内で各系統2箇所以上(1巻程度)ケーブルの余長を設ける。 ○ 厚銅電線管(防食テープ1/2重ね2回巻き、4層) ○ 波付硬質ポリエチレン管 ○ 防水鉄製管 ※防食テープはJIS Z-1901を使用し、地上立ち上がり部分はGL+300mmまでテープ巻きを行う。 ● 耐塩性(ケーブル端末処理材とも) ○ 重耐塩形 ○ 1基単独 ○ 共用(ケーブル1芯使用) 1)架空引込 高圧気中負荷開閉器(PAS)、(SOG+DGR)付収納箱(ステンレス製) 2)地中引込 地中線用高圧ガス負荷開閉器(UGS)(SOG+DGR)付 地中線には、ケーブル埋設機及び埋設機標準シート(高圧は管理者名入り)を設ける。 埋設機 ○ 鉄製 ○ コンクリート製 標準シート ○ (GL-300 ○ 2倍折り)
	○ 合成樹脂製可とう電線管	○ 溶融亜鉛メッキ製 ○ ステンレス製 防水形とする。 既存のコンクリート床、壁などの配管貫通部の穴開けは、原則としてダイヤモンドカッターによる。 穿孔機械を使用し既存躯体に穿孔する場合は、金属の探知により電源供給が停止できる付属装置等を用いて施工する。 取り外し再使用機器は、清掃および絶縁抵抗測定のうち取り付けを行う。ただし、絶縁劣化等により再使用に耐えない場合は、監督職員に報告する。 設備機器の固定は、次に示す事項を除き「建築設備附属設計・施工指針 2014年版」(独立行政法人建築研究所監修)による。 1)設計用水平地震力 機器の重量(kN)に、設計用標準水平震度を乗じたものとする。なお、特記なき場合、設計用標準水平震度は、次による。 設計用標準水平震度		● 装柱機材 ○ 外灯接地 ○ 区分開閉器等	○ 配線方式
● 共通事項	○ 屋外プルボックス ○ はつり	○ 溶融亜鉛メッキ製 ○ ステンレス製 防水形とする。 既存のコンクリート床、壁などの配管貫通部の穴開けは、原則としてダイヤモンドカッターによる。 穿孔機械を使用し既存躯体に穿孔する場合は、金属の探知により電源供給が停止できる付属装置等を用いて施工する。 取り外し再使用機器は、清掃および絶縁抵抗測定のうち取り付けを行う。ただし、絶縁劣化等により再使用に耐えない場合は、監督職員に報告する。 設備機器の固定は、次に示す事項を除き「建築設備附属設計・施工指針 2014年版」(独立行政法人建築研究所監修)による。 1)設計用水平地震力 機器の重量(kN)に、設計用標準水平震度を乗じたものとする。なお、特記なき場合、設計用標準水平震度は、次による。 設計用標準水平震度	● 構造・通信・配線設備	○ 機器への接続	○ 地中線式 マンホール、ハンドホール内で各系統2箇所以上(1巻程度)ケーブルの余長を設ける。 ○ 厚銅電線管(防食テープ1/2重ね2回巻き、4層) ○ 波付硬質ポリエチレン管 ○ 防水鉄製管 ※防食テープはJIS Z-1901を使用し、地上立ち上がり部分はGL+300mmまでテープ巻きを行う。 ● 耐塩性(ケーブル端末処理材とも) ○ 重耐塩形 ○ 1基単独 ○ 共用(ケーブル1芯使用) 1)架空引込 高圧気中負荷開閉器(PAS)、(SOG+DGR)付収納箱(ステンレス製) 2)地中引込 地中線用高圧ガス負荷開閉器(UGS)(SOG+DGR)付 地中線には、ケーブル埋設機及び埋設機標準シート(高圧は管理者名入り)を設ける。 埋設機 ○ 鉄製 ○ コンクリート製 標準シート ○ (GL-300 ○ 2倍折り)
	○ 既存躯体への穿孔	○ 溶融亜鉛メッキ製 ○ ステンレス製 防水形とする。 既存のコンクリート床、壁などの配管貫通部の穴開けは、原則としてダイヤモンドカッターによる。 穿孔機械を使用し既存躯体に穿孔する場合は、金属の探知により電源供給が停止できる付属装置等を用いて施工する。 取り外し再使用機器は、清掃および絶縁抵抗測定のうち取り付けを行う。ただし、絶縁劣化等により再使用に耐えない場合は、監督職員に報告する。 設備機器の固定は、次に示す事項を除き「建築設備附属設計・施工指針 2014年版」(独立行政法人建築研究所監修)による。 1)設計用水平地震力 機器の重量(kN)に、設計用標準水平震度を乗じたものとする。なお、特記なき場合、設計用標準水平震度は、次による。 設計用標準水平震度		○ その他	○ 地中線式 マンホール、ハンドホール内で各系統2箇所以上(1巻程度)ケーブルの余長を設ける。 ○ 厚銅電線管(防食テープ1/2重ね2回巻き、4層) ○ 波付硬質ポリエチレン管 ○ 防水鉄製管 ※防食テープはJIS Z-1901を使用し、地上立ち上がり部分はGL+300mmまでテープ巻きを行う。 ● 耐塩性(ケーブル端末処理材とも) ○ 重耐塩形 ○ 1基単独 ○ 共用(ケーブル1芯使用) 1)架空引込 高圧気中負荷開閉器(PAS)、(SOG+DGR)付収納箱(ステンレス製) 2)地中引込 地中線用高圧ガス負荷開閉器(UGS)(SOG+DGR)付 地中線には、ケーブル埋設機及び埋設機標準シート(高圧は管理者名入り)を設ける。 埋設機 ○ 鉄製 ○ コンクリート製 標準シート ○ (GL-300 ○ 2倍折り)
○ 再使用機器	○ 耐震措置	【備考】上層階とは2～6階建の場合は最上層、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階建以上の場合は上層4階とする。 ・中間階とは地階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの ・水槽類に燃料小出槽を含む。  重要機器は次のものを示す。 ○ 配電盤 ○ 発電装置(防災用) ○ 直流電源装置 ○ 交流無停電電源装置 ○ 交換機 ○ 自動火災報知受信機 ○ 中央監視装置 ○	○ その他	○ 上ガス対策	○ なし ○ あり(下記による) ○ 自然換気口 ○ ガス抜き管 ○ 強制換気装置 ○ ガス検知器 ○ その他( ) ○ 施工にあたって、防災上必要な措置を講じること。
	2)設計用鉛直地震力 設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。				

●別表－

○接地極

○機器取付高

特記事項

章項目

別表(つづき)

●工事区分表

別表(つづき)

●施工図等の取扱い

●施工図等の著作権に係る当該建物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。

○接地極

接地極の材料は原則として下記による。


接地の種類	記号	接地抵抗値	接地極の規格・数量
○共同接地	E <sub>A,B</sub>	10Ω以下	EB(D=14,L=1,500又はW=40,L=1,200)×3連-組
○共同接地	E <sub>A,C,D</sub>	10Ω以下	EB(D=14,L=1,500又はW=40,L=1,200)×3連-組
○A種接地	E <sub>A</sub>	10Ω以下	EB(D=14,L=1,500又はW=40,L=1,200)×3連-組
○B種接地	E <sub>B</sub>	150/1Ω以下	EB(D=14,L=1,500又はW=40,L=1,200)×3連-組
○C種接地	E <sub>C</sub>	10Ω以下	EB(D=14,L=1,500又はW=40,L=1,200)×3連-組
○D種接地	E <sub>D</sub>	100Ω以下	EB(D=10,L=1,000又はW=30,L=900)×1
○D種接地	E <sub>D</sub>	Ω以下	EB(D=14,L=1,500又はW=40,L=1,200)×3連-組
○高圧避雷器用	E <sub>H</sub>	10Ω以下	EB(D=14,L=1,500又はW=40,L=1,200)×3連-組
○交換装置用	E <sub>I</sub>	10Ω以下	EB(D=14,L=1,500又はW=40,L=1,200)×3連-組
○通信用(10Ω)	E <sub>UL</sub>	10Ω以下	EB(D=14,L=1,500又はW=40,L=1,200)×3連-組
○通信用(100Ω)	E <sub>UL</sub>	100Ω以下	EB(D=10,L=1,000又はW=30,L=900)×1
○電話引込口の保安器用	E <sub>Lt</sub>	100Ω以下	EB(D=10,L=1,000又はW=30,L=900)×1
○測定用	E <sub>O</sub>		EB(D=10,L=1,000又はW=30,L=900)×1

※ 接地抵抗値は、電気事業者と協議のうえ決定すること。

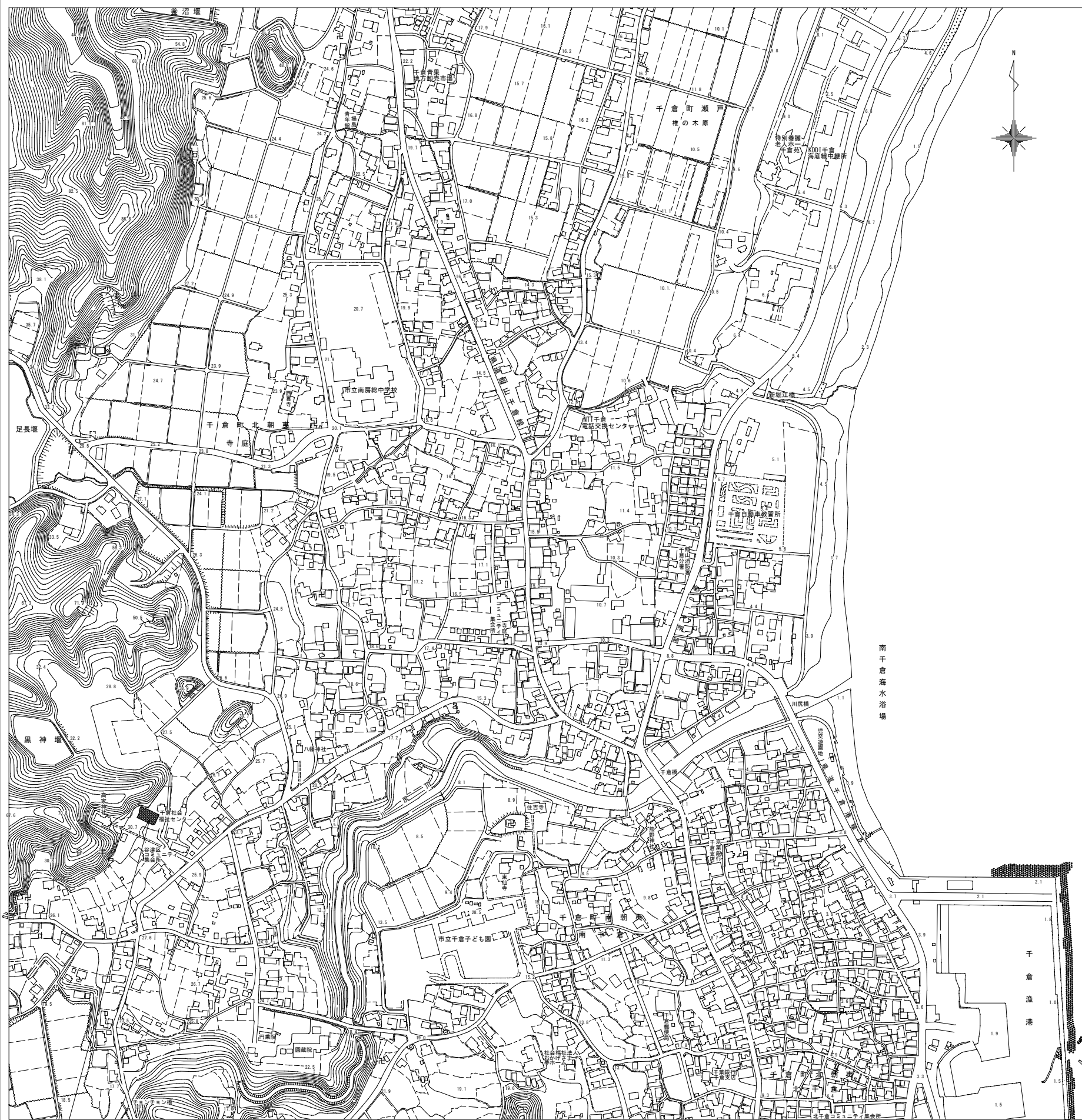
図面に記載のなき場合、機器の取付高さは原則として下記による。

	名 称	測 点	取付高(mm)	
電力共通	積算計器	地上～窓中心	1,800～2,000	
	引込開閉器(低圧)	地上～中心	1,800～2,200	
	分電盤	床上～中心	1,500	
電灯	スイッチ	床上～中心	1,300	
	"(多機能トイレ)	"	1,100	
	コンセント(一般)	"	300	
	"(和室)	"	150	
	"(台上)	台上～中心	150～200	
	"(車椅子用)	床上～中心	900	
	ブラケット(一般)	"	2,100～2,300	
	"(踊場)	"	2,000～2,500	
	"(鏡上)	鏡上端～中心	150	
	動力	壁掛形制御盤 開閉器箱	床上～中心 "	1,500 1,500 (上端1,900以下)
制御用スイッチ		"	1,300	
構内交換		端子盤(室内) 集合保安器箱 壁付電話機(一般)	床上～下端 天井下～上端 床上～中心	300 200 1,300
	時計	壁掛形観時計 子時計	床上～中心 "	1,500 (天井高)×0.9
		拡声	壁掛形スピーカー 壁付アツチネーター	" "
出退マルチサイン			情報表示盤 壁付発信器 ベル、プザー、チャイム 壁付押ボタン(一般)	床上～中心 " " "
	誘導支援	外部受付用ｲﾝﾀｰﾎﾝ(子機) 壁付ｲﾝﾀｰﾎﾝ(上記以外) 壁付呼出ボタン(多機能トイレ)	「標準図」による 床上～中心 "	「標準図」による 1,300 900(400)
		テレビ共同受信	機器収容箱 テレビ端子直列ユニット(一般) テレビ端子直列ユニット(和室)	天井下～上端 床上～中心 "
自動火災報知			受信機・副受信機 機器収容箱 発信器 警報ベル 表示灯 液化石油ガス検知器	床上～操作部 " 床上～中心 " " 床上～上端

(備考) (天井高)×0.9及び(天井高)×0.8は天井高が2,500～3,000mmの場合に適用する。  
注)天井高3,000mm以上の場合及び上記取付高さでは機器の使用に支障がある場合は、監督職員と協議する。  
呼出ボタン(多機能トイレ)の取付高さ(400)は床に転倒した時を考慮した高さを示す。

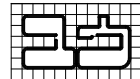
 <div>一級建築士事務所</div>	一級建築士事務所 千葉県登録 第 1-2209-2531 号 〒295-0023 千葉県南房総市千倉町 288 TEL0470-43-1718 一級建築士 第 203776 号 荒井恭一	千倉社会福祉センター解体撤去工事設計図面	電気設備特記仕様書(2)	令和7年 3月	NO E-02
			S=NOT (A1)		
			S=NOT (A3)		





千倉社会福祉センター  
千葉県南房総市千倉町南朝夷字上野塚164

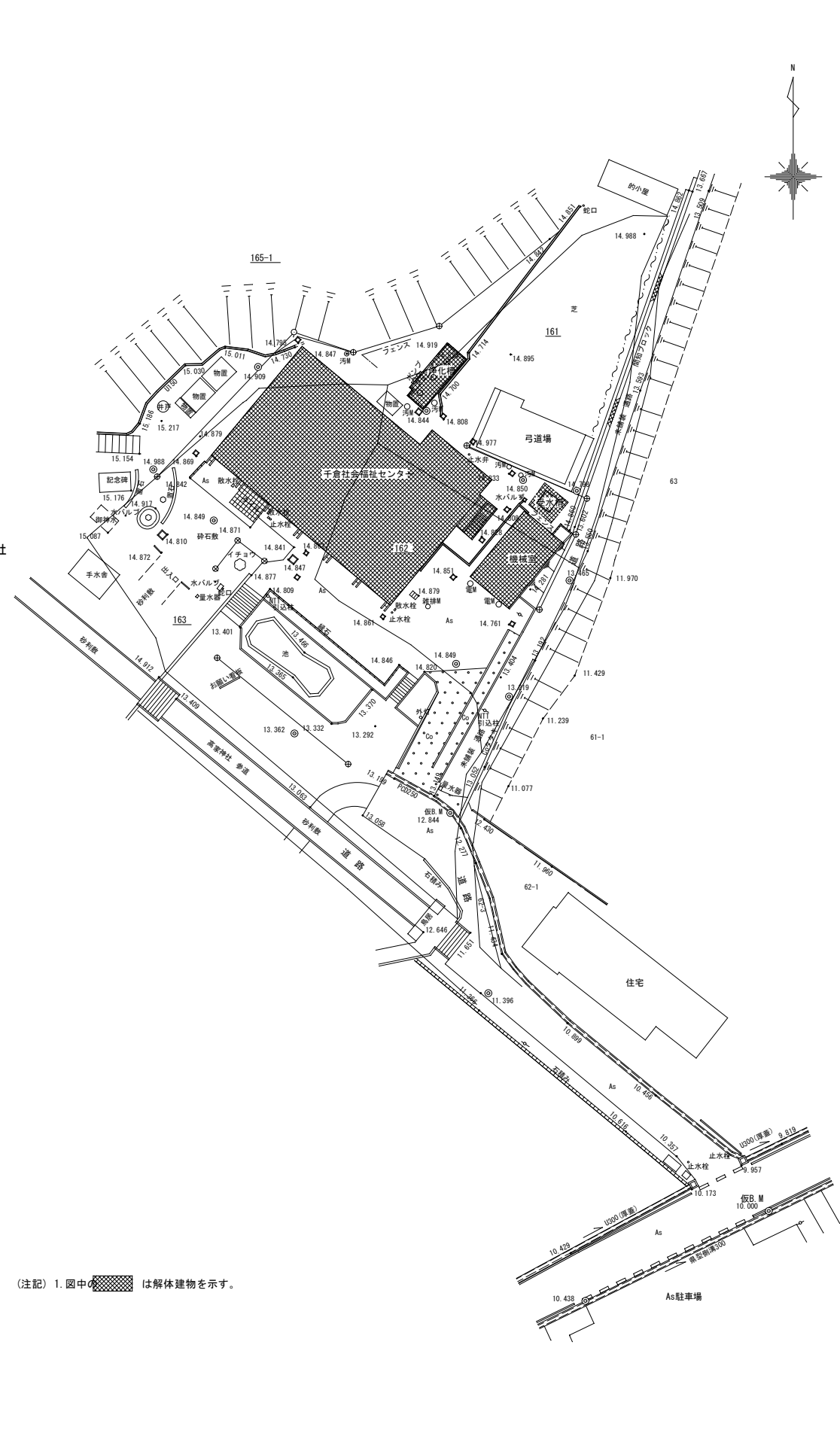
案内図



一級建築士事務所

一級建築士事務所 千葉県登録 第 1-2209-2531 号  
〒295-0023 千葉県南房総市千倉町川口288 TEL0470-43-1718  
一級建築士 第 203776 号 荒井恭一

## 千倉社会福祉センター解体撤去工事設計図面



(注記) 1. 図中の [hatched box] は解体建物を示す。

配置図

案内図・配置図

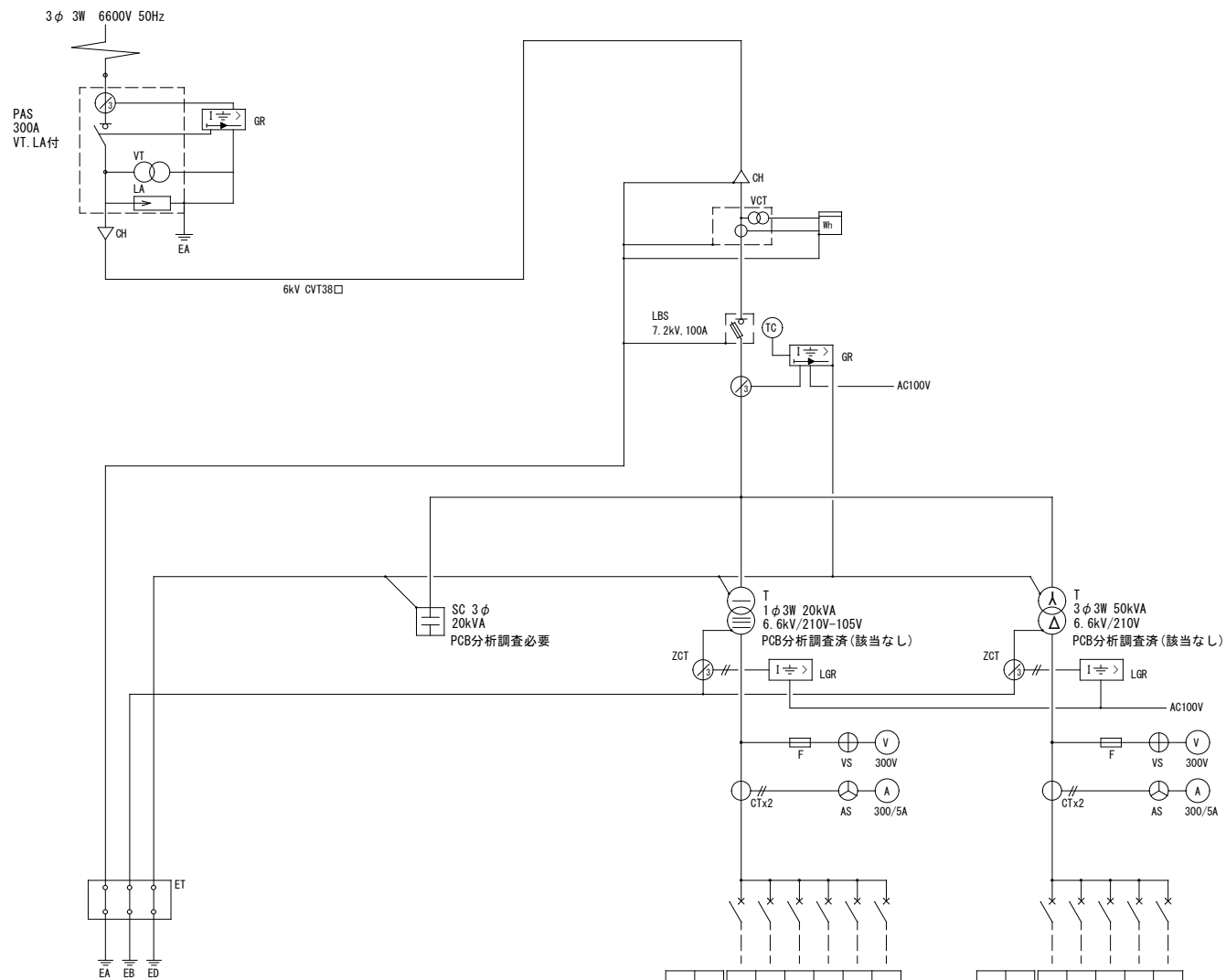
令和7年 3月  
S=1/300 (A1)  
S=1/600 (A3)

NO E-03

電 気 工 事 凡 例

○ 印を本工事に適用する。

	記 号	名 称	備 考		記 号	名 称	備 考		記 号	名 称	備 考
○ 共 通	————	天井隠べい配線		○ 動 力 設 備		動力制御盤		○ 火 災 報 知 設 備		複合盤	火 報 意 ガス漏 意 防煙煙 窓
	-----	床隠べい配線				警報盤				受信機	P型1級 回線ベル内臓
	-----	ケーブル配線				開閉器箱	容量を傍記			副受信機	回線主ベル内臓
	-----	地中配線				電動機 (別途)				機器収容箱	屋内消火栓箱組込み
	-----	露出配管配線 (外部厚鋼管 ((サイズ)) 使用)	塗装仕上げ			電熱器 (電器戸) (別途)				機器収容箱	
	-----●-----	空配管1.2ビニール被覆鉄線挿入				換気扇				差動式スポット形感知器2種	1種の場合は、傍記による。
		立上り、立下り、素通し				フロートスイッチ	傍記は電極数			差動式スポット形感知器2種 埋込形	1種の場合は、傍記による。
		ブルボックス				フロートレススイッチ電極				定温式スポット形感知器	特種
		ジョイントボックス				サーモスタット (別途)	制御用			定温式スポット形感知器1種	
		接地極	傍記は種類			ヒューミディスタット (別途)	制御用			定温式スポット形感知器1種 防水形	特種の場合は、傍記による。
		埋設標 (地中線) (ケーブル及び接地用杭)	○ コンクリート製 鉄製 (舗装部に埋る)			積算電力量計				煙感知器2種 露出形	1種の場合は、傍記による。
		ハンドホール				過電流と欠相と逆相を保護する継電器				煙感知器2種 埋込形	1種の場合は、傍記による。
		コンクリート柱	長さ、床口深、設計荷重は 傍記による。			過電流と欠相を保護する継電器				煙感知器2種 点検ボックス付	1種の場合は、傍記による。
		支線	太さは傍記による。			地絡方向継電器				煙複合式スポット形感知器2種・3種複合式 露出形	1種・2種複合式の場合は、傍記による。
		支柱	材質、長さは傍記による。		ON	入				煙複合式スポット形感知器2種・3種複合式 埋込形	1種・2種複合式の場合は、傍記による。
			OFF	切							
			MA 又は M	手 動							
			AUT 又は A	自 動							
○ 受 変 電 設 備		ケーブルヘッド		○ 電 話 設 備	T	試 験		○ 通 信 設 備		インターホン親機	
		断路器			R	遠 方				インターホン子機	
		高圧空中開閉器 (箱入)			L	直入始動				端子盤	
		高圧真空開閉器 (箱入)				限流遮断器				交換機	
		高圧ガス開閉器 (箱入)				電話アウトレット (床用)	通信用コネクタープラグユニット モジュラー埋込端子 ・ 多機能・40用 ・ 一般形・20用			電話アウトレット (壁付)	
		高圧真空接触器				電話機				電話機	
		交流電源				給水又は排水用液面継電器				電話機	
		電池				空転防止又は高架水槽減水警報付給水用液面電器				電話型インターホン子機	
		電磁接触器				満水警報付排水用液面継電器					
		双投電磁接触器				満減水警報付給水又は排水用液面継電器			(電 気 時 計)		
		高圧カットアウト (ヒューズ付)				満減水警報付給水又は排水用液面継電器				親時計	※図参照
		差込形断路器				満減水警報付給水又は排水用液面継電器				子時計	※図参照
		零相変流器				満減水警報付給水又は排水用液面継電器			(拡 声)		
		計器用変流器				満減水警報付給水又は排水用液面継電器				増幅器	※図参照
		計器用変圧器				満減水警報付給水又は排水用液面継電器				増幅器 (防災用)	※図参照
	ヒューズ			満減水警報付給水又は排水用液面継電器			遠隔操作器	※図参照			
	変圧器			満減水警報付給水又は排水用液面継電器			スピーカー L級	壁付 天井埋込形 ※図参照			
	高圧進相コンデンサ			満減水警報付給水又は排水用液面継電器			スピーカー アッテネータ付 L級	壁付 天井埋込形 ※図参照			
	交流遮断器			満減水警報付給水又は排水用液面継電器			スピーカー ホーン型 L級	屋外防水形 屋内形 ※図参照			
	油遮断器			満減水警報付給水又は排水用液面継電器			スピーカー付子時計	※図参照			
	真空遮断器			満減水警報付給水又は排水用液面継電器			電源制御器 (カットリレー)				
	磁気遮断器			満減水警報付給水又は排水用液面継電器			マイクロホン用ジャック (壁付)				
	ガス遮断器			満減水警報付給水又は排水用液面継電器			マイクジャック (床用)				
	気中遮断器			満減水警報付給水又は排水用液面継電器			スピーカージャック				
	配線用遮断器			満減水警報付給水又は排水用液面継電器			マイクホン用コンセント	極数は、傍記による			
	漏電遮断器			満減水警報付給水又は排水用液面継電器			スピーカー用コンセント	極数は、傍記による			
	電圧計 電圧計切替スイッチ			満減水警報付給水又は排水用液面継電器			アッテネータ				
	電流計 電流計切替スイッチ			満減水警報付給水又は排水用液面継電器			ラジオアンテナ				
	力率計			満減水警報付給水又は排水用液面継電器			ワイヤレスアンテナ				
	無効率計			満減水警報付給水又は排水用液面継電器		(テ レ ビ)					
	最大需要電力計			満減水警報付給水又は排水用液面継電器			テレビアンテナ				
	最大需要電流計 (警報接点付)			満減水警報付給水又は排水用液面継電器			BSアンテナ				
	周波数計			満減水警報付給水又は排水用液面継電器			混合 (分波) 器				
	電力量計			満減水警報付給水又は排水用液面継電器			増幅器				
	試験用電流端子			満減水警報付給水又は排水用液面継電器			2分岐器				
	試験用電圧端子			満減水警報付給水又は排水用液面継電器			4分岐器				
	過電流継電器			満減水警報付給水又は排水用液面継電器			2分配器				
	地絡継電器			満減水警報付給水又は排水用液面継電器			4分配器				
	避雷器			満減水警報付給水又は排水用液面継電器			直列ユニット 75Ω 1端子用	プラグ付とする R付は終端抵抗付			
				満減水警報付給水又は排水用液面継電器			直列ユニット 75Ω 2端子用	プラグ付とする R付は終端抵抗付			
				満減水警報付給水又は排水用液面継電器			TV用機器収納箱				
○ 電 灯 設 備				○ 電 気 時 計		LED (40型)・蛍光灯 40Wx1	※図参照	○ 拡 声		増幅器	※図参照
						蛍光灯 40Wx2	※図参照			増幅器 (防災用)	※図参照
						LED (20型)・蛍光灯 20Wx1 / 壁付	※図参照			遠隔操作器	※図参照
						LED・蛍光灯 (角形)	※図参照			スピーカー L級	壁付 天井埋込形 ※図参照
						白熱灯	※図参照			スピーカー アッテネータ付 L級	壁付 天井埋込形 ※図参照
						白熱灯 (壁付)	※図参照			スピーカー ホーン型 L級	屋外防水形 屋内形 ※図参照
						白熱灯 (壁付)	※図参照			スピーカー付子時計	※図参照
						ダウンライト (押込形)	※図参照			電源制御器 (カットリレー)	
						屋外灯	※図参照			マイクロホン用ジャック (壁付)	
						避難口誘導灯 廊下通路誘導灯 室内通路誘導灯	※図参照 (必要に応じ避難方向の矢印を傍記する。)			マイクジャック (床用)	
						階段通路誘導灯	※図参照			スピーカージャック	
						LED (電池内蔵形非常用照明器具)	※図参照			マイクホン用コンセント	極数は、傍記による
						蛍光灯 天井付 (電池内蔵形非常用照明器具)	※図参照 (階段通路誘導灯との兼用器具を含む。)			スピーカー用コンセント	極数は、傍記による
						埋込タンブラスイッチ1P15A				アッテネータ	
						埋込タンブラスイッチ2P15A				ラジオアンテナ	
				埋込タンブラスイッチ (3路スイッチ) 3W15A			ワイヤレスアンテナ				
				埋込タンブラスイッチ (4路スイッチ) 4W15A		(テ レ ビ)					
				埋込タンブラスイッチ (防水形) 1P15A			テレビアンテナ				
				埋込タンブラスイッチパイロットランプ付			BSアンテナ				
				埋込タンブラスイッチパイロットランプ付内蔵			混合 (分波) 器				
				リモコンセレクトアーススイッチ	Nは回路数を表す。		増幅器				
				リモコンスイッチ	Nは回路数を表す。		2分岐器				
				リモコンリレー			4分岐器				
				リモコンリレー (集合体)			2分配器				
				自動点滅器	容量は、傍記による。		4分配器				
				熱線式自動スイッチ	2A以外は、傍記による。		直列ユニット 75Ω 1端子用	プラグ付とする R付は終端抵抗付			
				調光器	容量は、傍記による。		直列ユニット 75Ω 2端子用	プラグ付とする R付は終端抵抗付			
							TV用機器収納箱				
○ 火 災 報 知 設 備				○ 機 械 警 備 配 管				○ 呼 出 ・ 警 報 装 置		ワイヤレスアンテナ	
									(テ レ ビ)		
										テレビアンテナ	
										BSアンテナ	
										混合 (分波) 器	
										増幅器	
										2分岐器	
										4分岐器	
										2分配器	
										4分配器	
										直列ユニット 75Ω 1端子用	プラグ付とする R付は終端抵抗付
										直列ユニット 75Ω 2端子用	プラグ付とする R付は終端抵抗付
										TV用機器収納箱	



幹線 No.	負 荷		ケーブルサイズ mm2	MCCB容量	
	名称	容量		P	AF/AT
L-1		-	0160□-30	3	100/100
L-2		-	0160□-30	3	100/100
P-1		-	0160□-30	3	30/30
予備		-		3	50/50
GR				3	50/20
盤電源				3	50/20

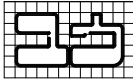
幹線 No.	負 荷		ケーブルサイズ mm2	MCCB容量	
	名称	容量		P	AF/AT
P-1	予備	-	0160□-30	3	225/200
P-1	動力主幹	-	0160□-30	3	225/200
予備	1Fエアコン	-	0130□-30	3	100/100
増設	1Fエアコン	-	0140□-30	3	50/50
増設	2Fエアコン	-	0130□-30	3	100/100

単線結線図

図記号	文字記号	器具名称
	OCR-H	過電流継電器
	GR	地絡過電流継電器
	DGR	地絡方向継電器
	OVGR	地絡過電圧継電器
	T	変圧器
	VT	計器用変圧器
	CT	変流器
	VCT	計器用変圧変流器
	ZCT	零相変流器
	ZPD	コンデンサ形零相基準入力装置
	LA	避雷器
	CH	ケーブルヘッド
	F	ヒューズ
	PAS	高圧引込用負荷開閉器

図記号	文字記号	器具名称
	VCB	真空遮断器
	MCCB	配線用遮断器
	PC	高圧カットアウト(ヒューズ付)
	LBS	高圧負荷開閉器(ヒューズ付)
	DS	断路器
	A	電流計
	V	電圧計
	WH	電力量計
	AS	電流計切換スイッチ
	VS	電圧計切換スイッチ
	ET	接地端子
	EA(A種), EB(B種) EC(C種), ED(D種)	接地
	G	非常用発電機

(注記) 1. 電気室内に残置されている三相75kVAのトランスはPCB含有分析調査済み(該当なし)。  
2. 進相コンデンサーはPCB含有分析調査を行ってから撤去処分をするものとする。



一級建築士事務所

一級建築士事務所 千葉県登録 第 1-2209-2531 号  
〒295-0023 千葉県南房総市千倉町川口88 TEL0470-43-1718  
一級建築士 第 203776 号 荒井恭一

千倉社会福祉センター解体撤去工事設計図面

受変電設備図(撤去)

令和7年 3月

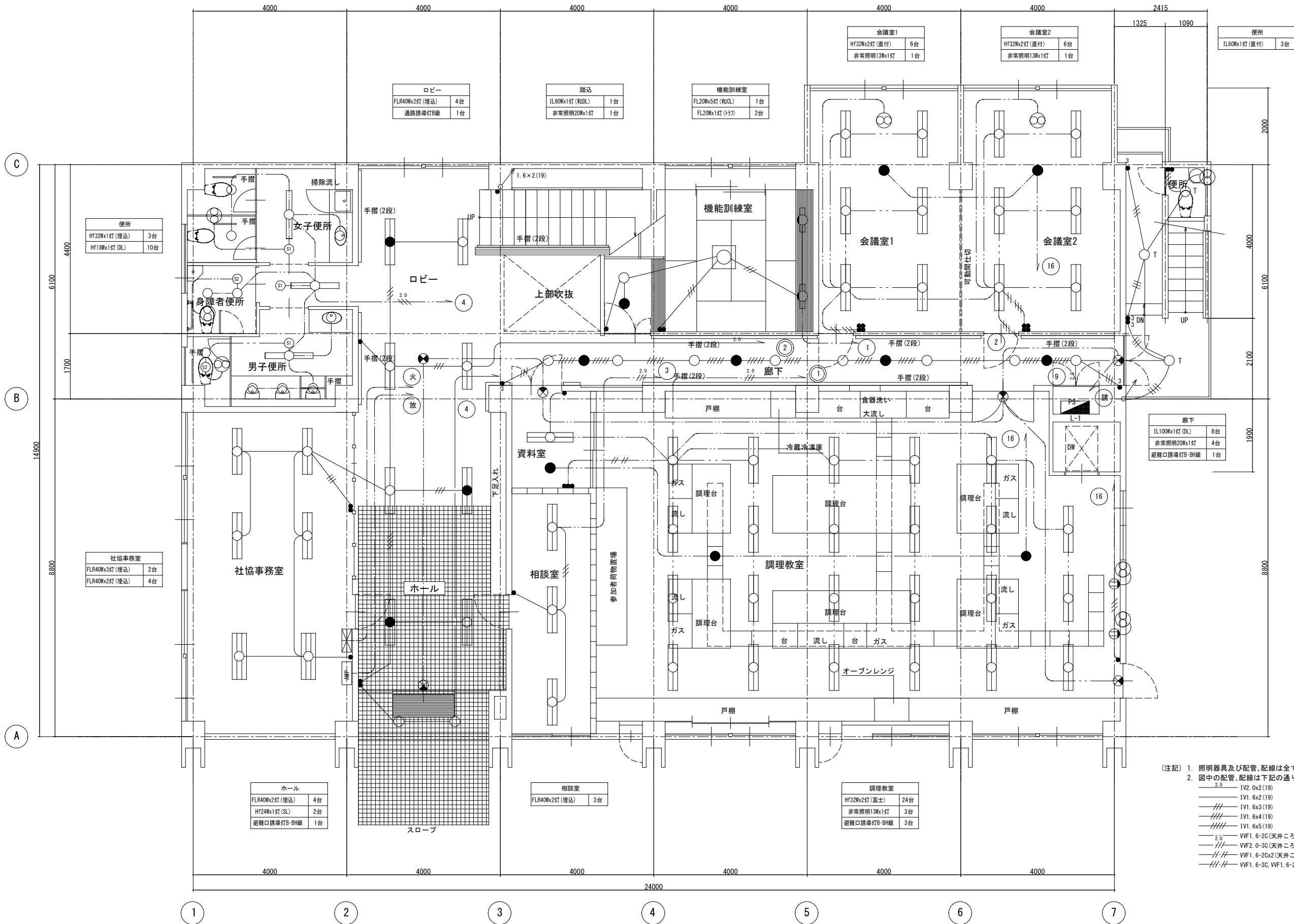
S=NOT (A1)

S=NOT (A3)

NO E-05







(注記) 1. 照明器具及び配管、配線は全て撤去とする。  
2. 図中の配管、配線は下記の通りとする。

— 2.0	IV2. 0x2 (19)
— 1.6	IV1. 6x2 (19)
— 1.6	IV1. 6x3 (19)
— 1.6	IV1. 6x4 (19)
— 1.6	IV1. 6x5 (19)
— 2.0	VVF1. 6-2C (天井ころがし)
— 1.6	VVF2. 0-3C (天井ころがし)
— 1.6	VVF1. 6-2C (天井ころがし)
— 1.6	VVF1. 6-3C, VVF1. 6-2C (天井ころがし)

1階平面図 S=1/50



一級建築士事務所

一級建築士事務所 千葉県登録 第 1-2209-2531 号  
〒295-0023 千葉県南房総市千倉町川288 TEL0470-43-1718  
一級建築士 第 203776 号 荒井恭一

千倉社会福祉センター解体撤去工事設計図面

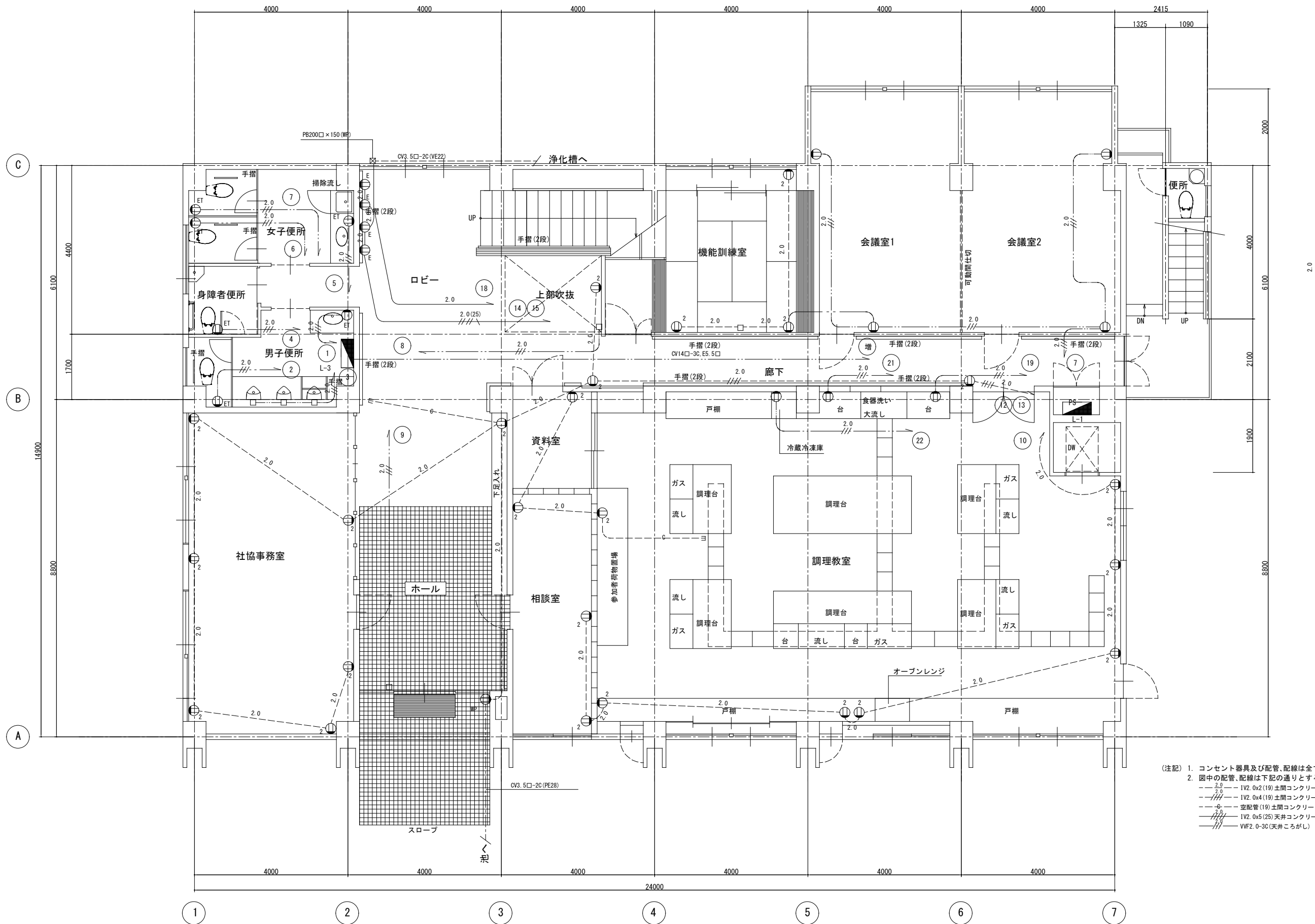
1階電灯設備図(撤去)

令和7年 3月

S=1/50 (A1)

S=1/100 (A3)

NO E-07



(注記) 1. コンセント器具及び配管、配線は全て撤去とする。  
2. 図中の配管、配線は下記の通りとする。  
--- 2.0 --- IV2. 0x2 (19) 土間コンクリート埋設  
--- 2.0 --- IV2. 0x4 (19) 土間コンクリート埋設  
--- 6 --- 空配管 (19) 土間コンクリート埋設  
--- 2.0 --- IV2. 0x5 (25) 天井コンクリート埋設  
--- 2.0 --- VWF2. 0-3C (天井こころし)

1階平面図 S=1/50



一級建築士事務所

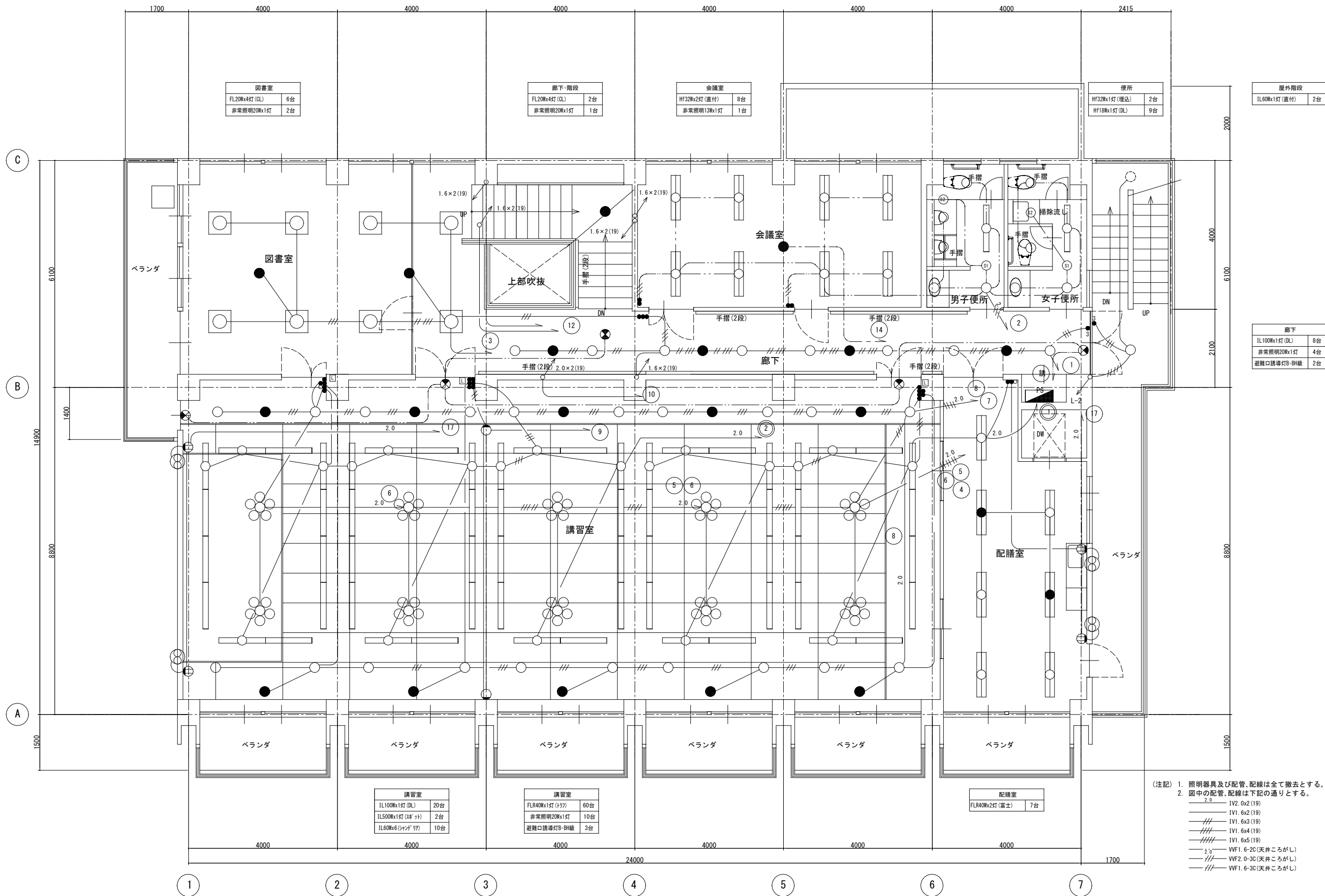
一級建築士事務所 千葉県登録 第 1-2209-2531 号  
〒295-0023 千葉県南房総市千倉町川口288 TEL0470-43-1718  
一級建築士 第 203776 号 荒井恭一

千倉社会福祉センター解体撤去工事設計図面

1階コンセント設備図(撤去)

令和7年 3月  
S=1/50 (A1)  
S=1/100 (A3)

NO E-08



2階平面図 S=1/50



一級建築士事務所

一級建築士事務所 千葉県登録 第 1-2209-2531 号  
〒295-0023 千葉県南房総市千倉町川口88 TEL0470-43-1718  
一級建築士 第 203776 号 荒井恭一

千倉社会福祉センター解体撤去工事設計図面

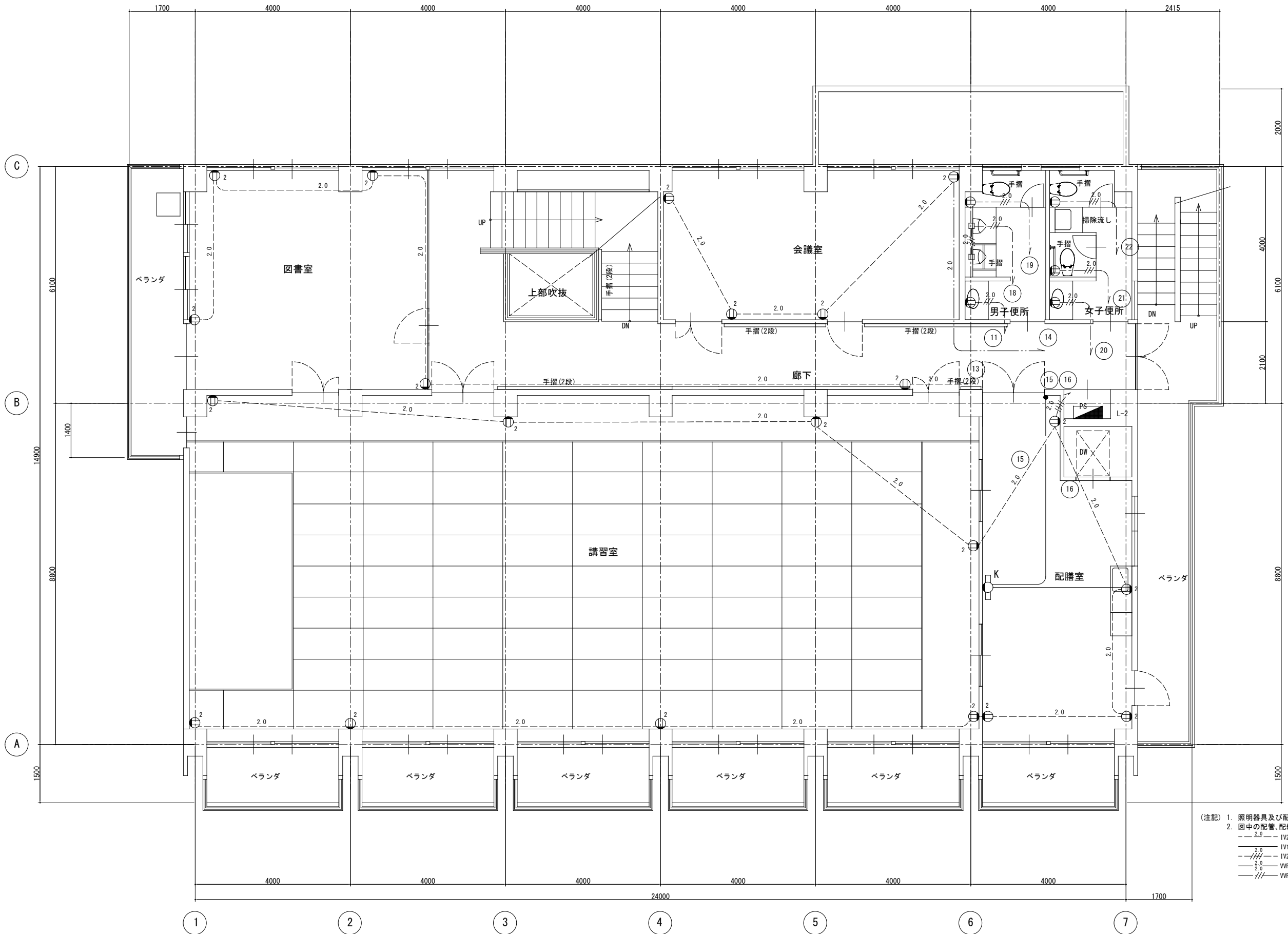
2階電灯設備図(撤去)

令和7年 3月

S=1/50 (A1)

S=1/100 (A3)

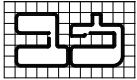
NO E-09



配膳室	
殺菌灯GL15Wx1灯	1台

- (注記) 1. 照明器具及び配管、配線は全て撤去とする。  
2. 図中の配管、配線は下記の通りとする。
- 2.0 — IV2. 0x2 (19) 床コンクリート埋設
  - 2.0 — IV1. 6x2 (19)
  - // — IV2. 0x4 (19) 床コンクリート埋設
  - 2.0 — VF2. 0-20 (天井こころがし)
  - // — VF2. 0-30 (天井こころがし)

2階平面図 S=1/50



一級建築士事務所

一級建築士事務所 千葉県登録 第 1-2209-2531 号  
〒295-0023 千葉県南房総市千倉町川口288 TEL0470-43-1718  
一級建築士 第 203776 号 荒井恭一

千倉社会福祉センター解体撤去工事設計図面

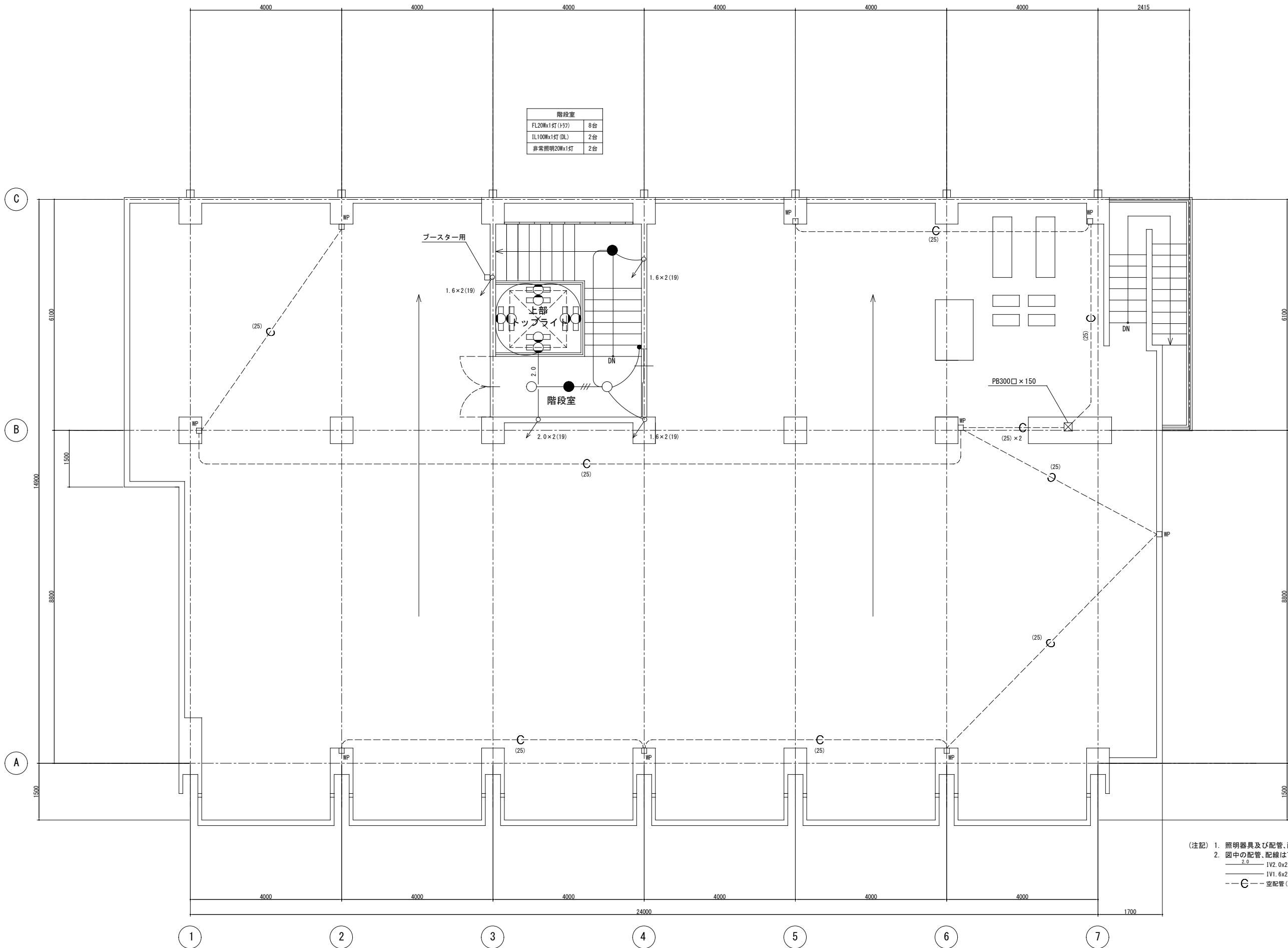
2階コンセント設備図(撤去)

令和7年 3月

S=1/50 (A1)

S=1/100 (A3)

NO E-10



階段室	
FL20Wx1灯 (+57)	8台
IL100Wx1灯 (DL)	2台
非常照明20Wx1灯	2台

(注記) 1. 照明器具及び配管、配線は全て撤去とする。  
2. 図中の配管、配線は下記の通りとする。  
—— 2.0 ——— IV2. 0x2 (19)  
—— 2.0 ——— IV1. 6x2 (19)  
--- C --- 空配管 (19) コンクリート埋設

R階平面図 S=1/50



一級建築士事務所

一級建築士事務所 千葉県登録 第 1-2209-2531 号  
〒295-0023 千葉県南房総市千倉町川口288 TEL0470-43-1718  
一級建築士 第 203776 号 荒井恭一

千倉社会福祉センター解体撤去工事設計図面

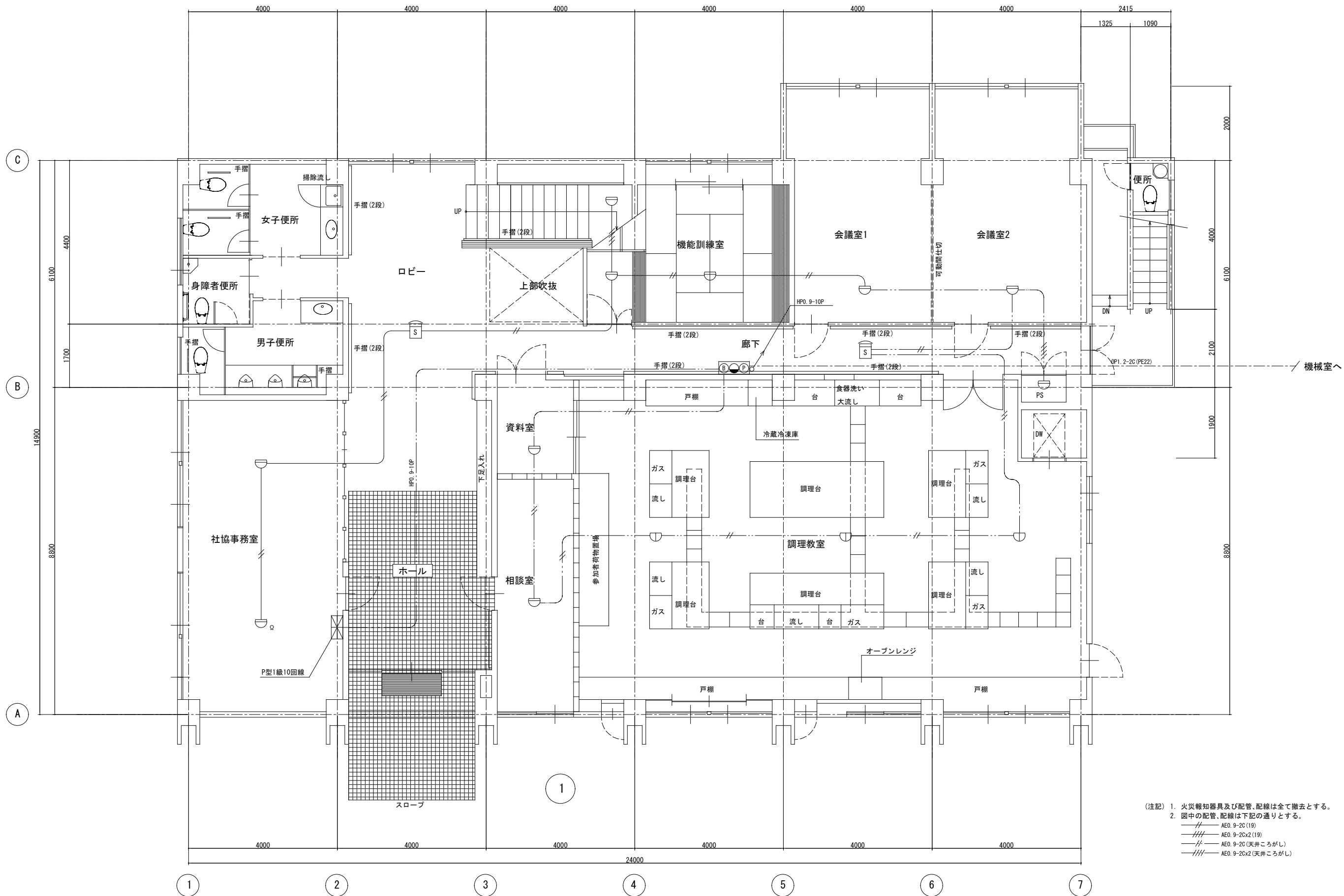
R階電灯・コンセント設備図(撤去)

令和7年 3月

S=1/50 (A1)

S=1/100 (A3)

NO E-11



(注記) 1. 火災報知器具及び配管、配線は全て撤去とする。  
2. 図中の配管、配線は下記の通りとする。  
—— AE0. 9-20 (19)  
—— AE0. 9-20x2 (19)  
—— AE0. 9-20 (天井ころがし)  
—— AE0. 9-20x2 (天井ころがし)

1階平面図 S=1/50



一級建築士事務所

一級建築士事務所 千葉県登録 第 1-2209-2531 号  
〒295-0023 千葉県南房総市千倉町川口288 TEL0470-43-1718  
一級建築士 第 203776 号 荒井恭一

千倉社会福祉センター解体撤去工事設計図面

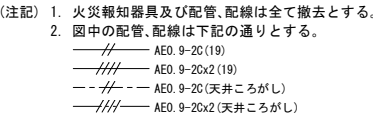
1階火災報知設備図(撤去)

令和7年 3月

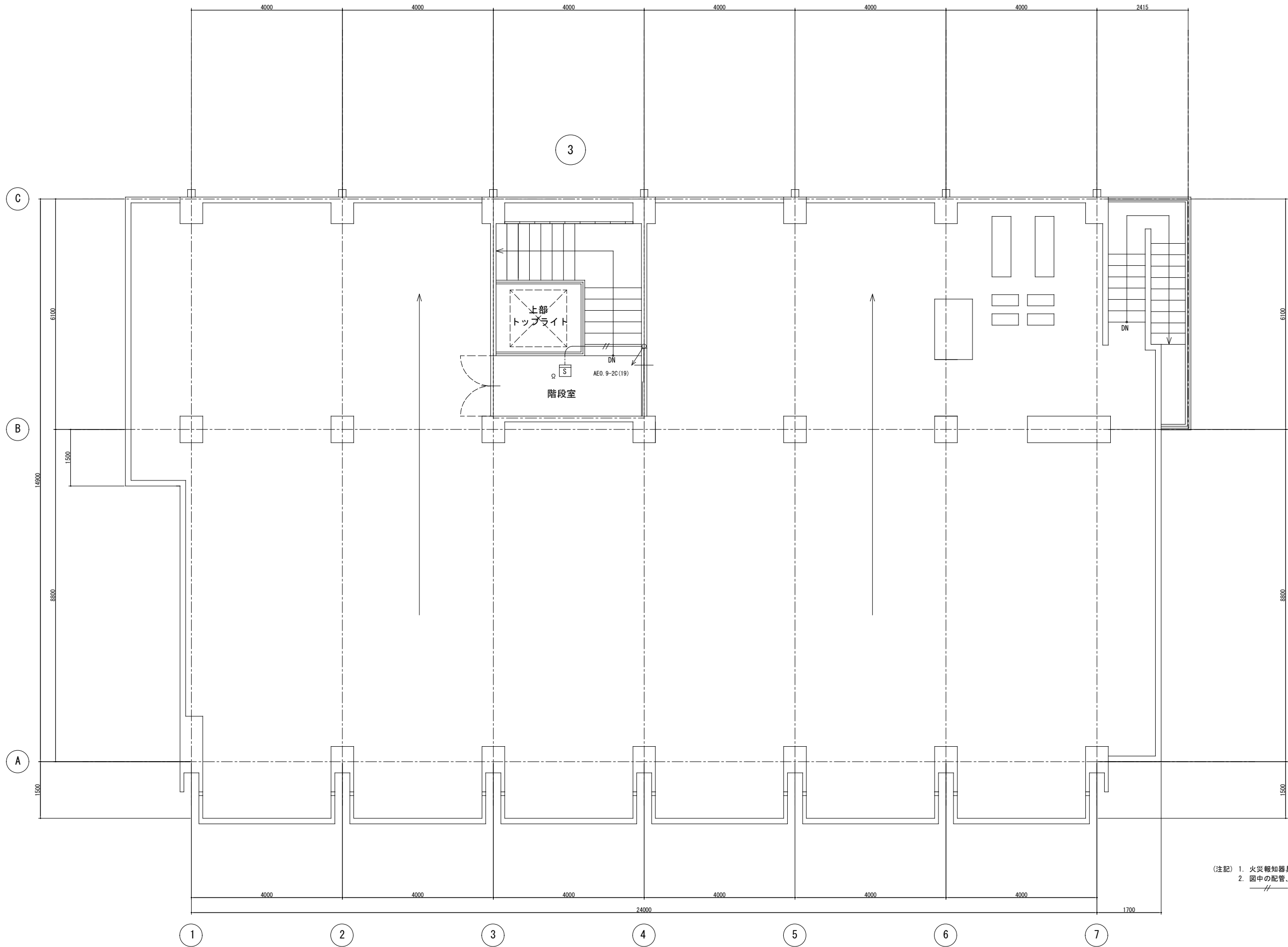
S=1/50 (A1)

S=1/100 (A3)

NO E-12







R階平面図 S=1/50



一級建築士事務所

一級建築士事務所 千葉県登録 第 1-2209-2531 号  
〒295-0023 千葉県南房総市千倉町川口288 TEL0470-43-1718  
一級建築士 第 203776 号 荒井恭一

千倉社会福祉センター解体撤去工事設計図面

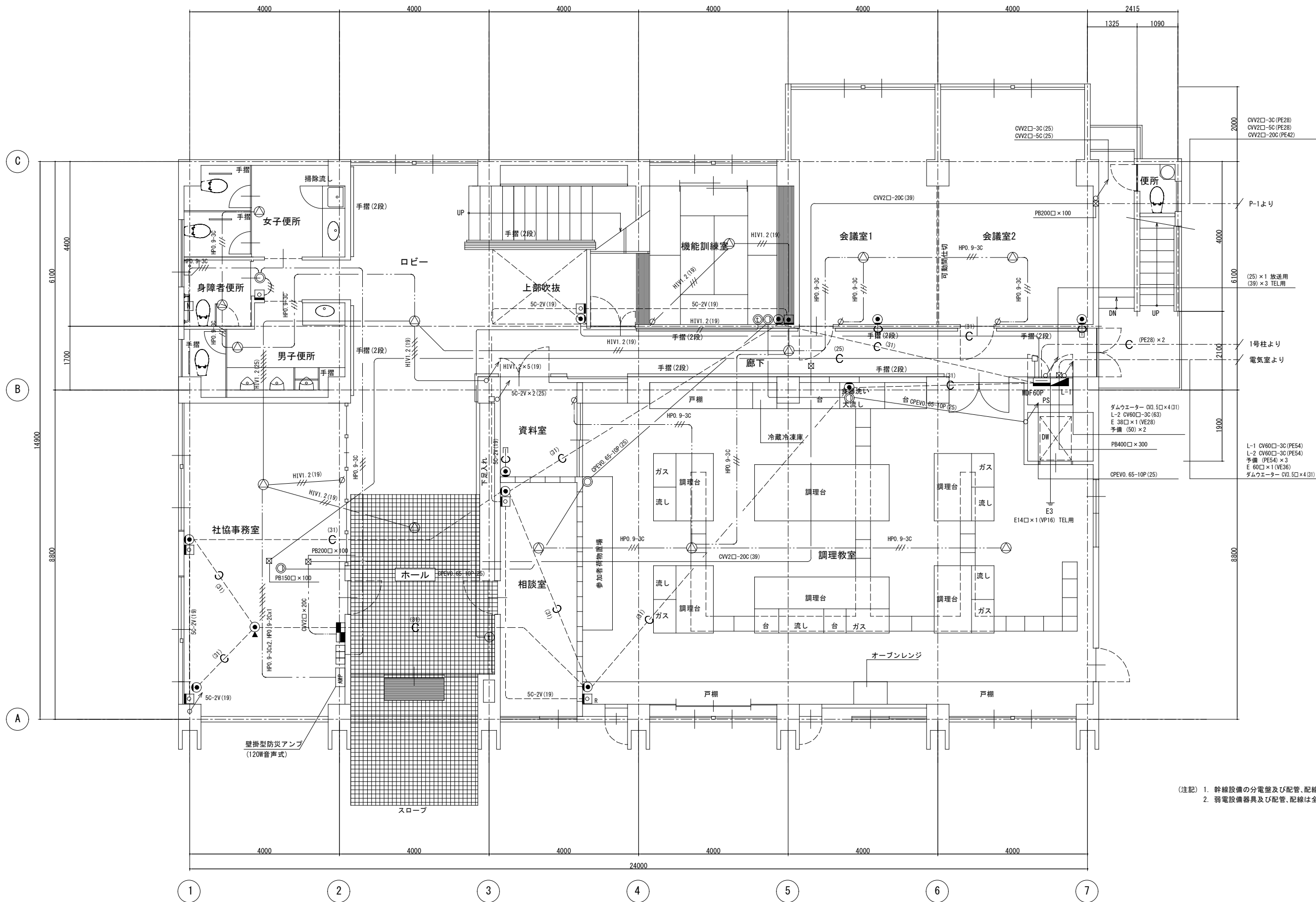
R階火災報知設備図(撤去)

令和7年 3月

S=1/50 (A1)

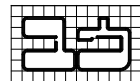
S=1/100 (A3)

NO E-14



(注記) 1. 幹線設備の分電盤及び配管、配線は全て撤去とする。  
2. 弱電設備器具及び配管、配線は全て撤去とする。

1階平面図 S=1/50



一級建築士事務所

一級建築士事務所 千葉県登録 第 1-2209-2531 号  
〒295-0023 千葉県南房総市千倉町川口288 TEL0470-43-1718  
一級建築士 第 203776 号 荒井恭一

千倉社会福祉センター解体撤去工事設計図面

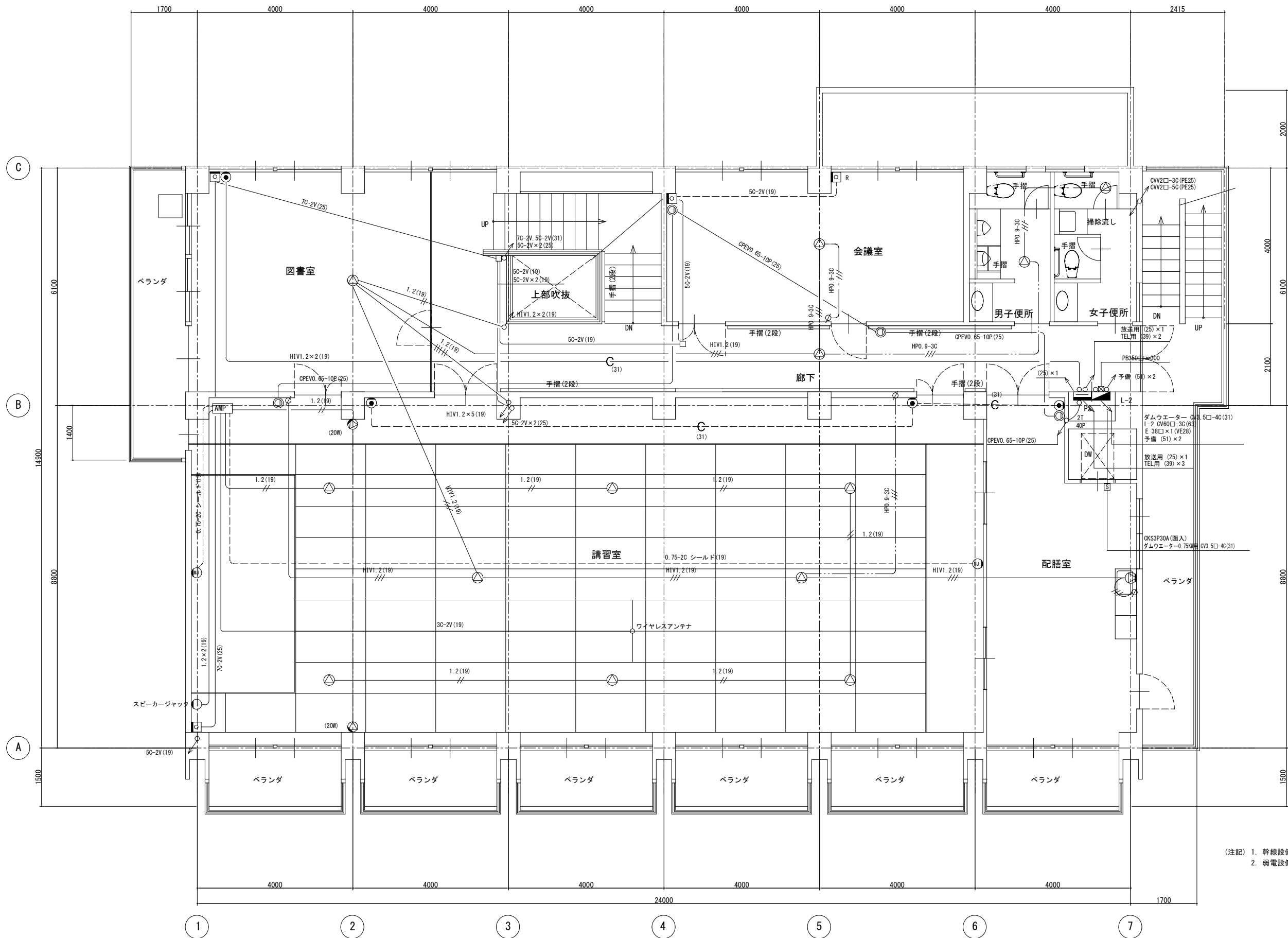
1階幹線・弱電設備図(撤去)

令和7年 3月

S=1/50 (A1)

S=1/100 (A3)

NO E-15



(注記) 1. 幹線設備の分電盤及び配管、配線は全て撤去とする。  
2. 弱電設備器具及び配管、配線は全て撤去とする。

2階平面図 S=1/50



一級建築士事務所

一級建築士事務所 千葉県登録 第 1-2209-2531 号  
〒295-0023 千葉県南房総市千倉町川口288 TEL0470-43-1718  
一級建築士 第 203776 号 荒井恭一

千倉社会福祉センター解体撤去工事設計図面

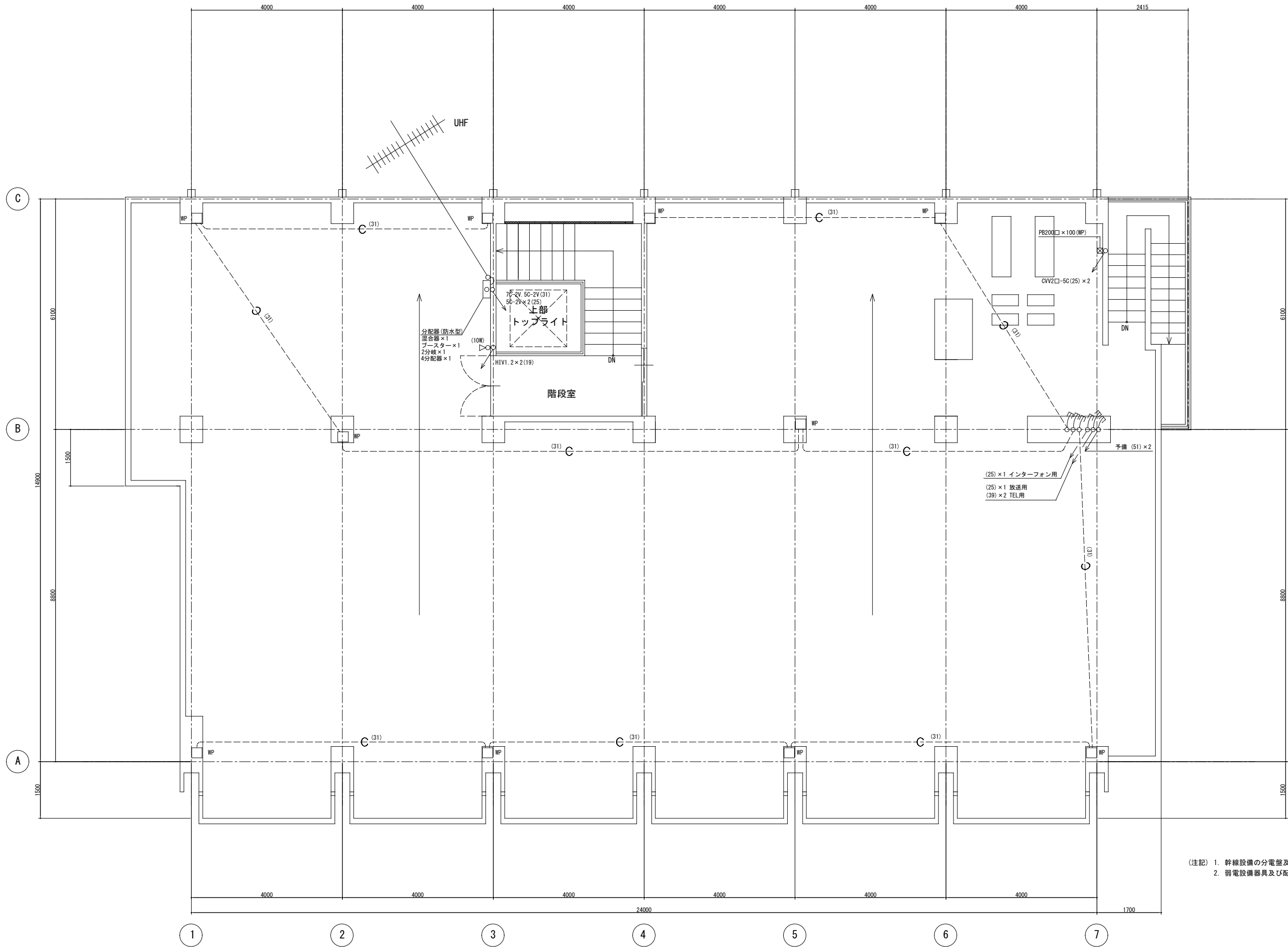
2階幹線・弱電設備図(撤去)

令和7年 3月

S=1/50 (A1)

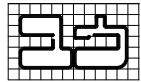
S=1/100 (A3)

NO E-16



(注記) 1. 幹線設備の分電盤及び配管、配線は全て撤去とする。  
2. 弱電設備器具及び配管、配線は全て撤去とする。

R階平面図 S=1/50



一級建築士事務所

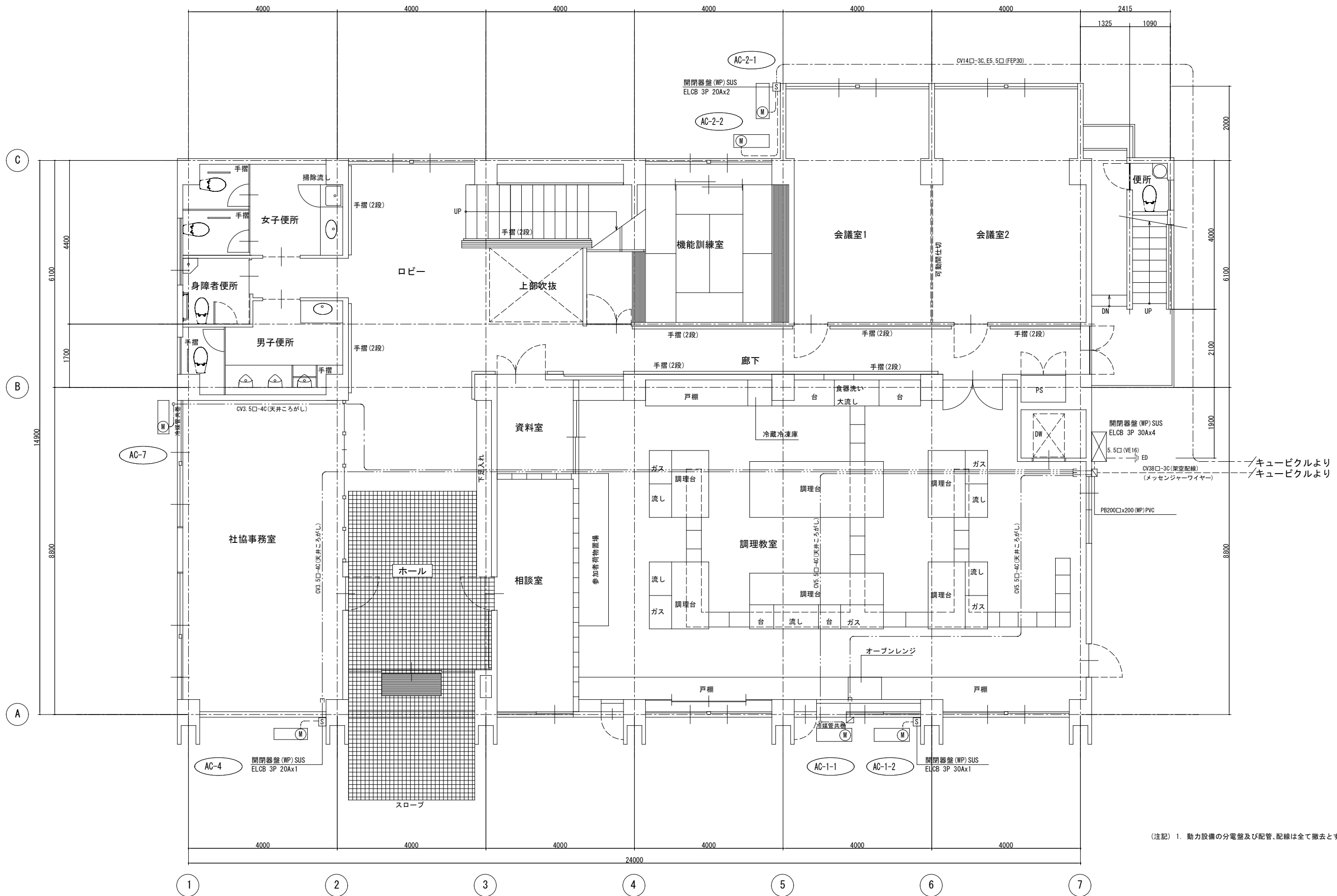
一級建築士事務所 千葉県登録 第 1-2209-2531 号  
〒295-0023 千葉県南房総市千倉町川口288 TEL0470-43-1718  
一級建築士 第 203776 号 荒井恭一

千倉社会福祉センター解体撤去工事設計図面

R階幹線・弱電設備図(撤去)

令和7年 3月  
S=1/50 (A1)  
S=1/100 (A3)

NO E-17



(注記) 1. 動力設備の分電盤及び配管、配線は全て撤去とする。

1階平面図 S=1/50



一級建築士事務所

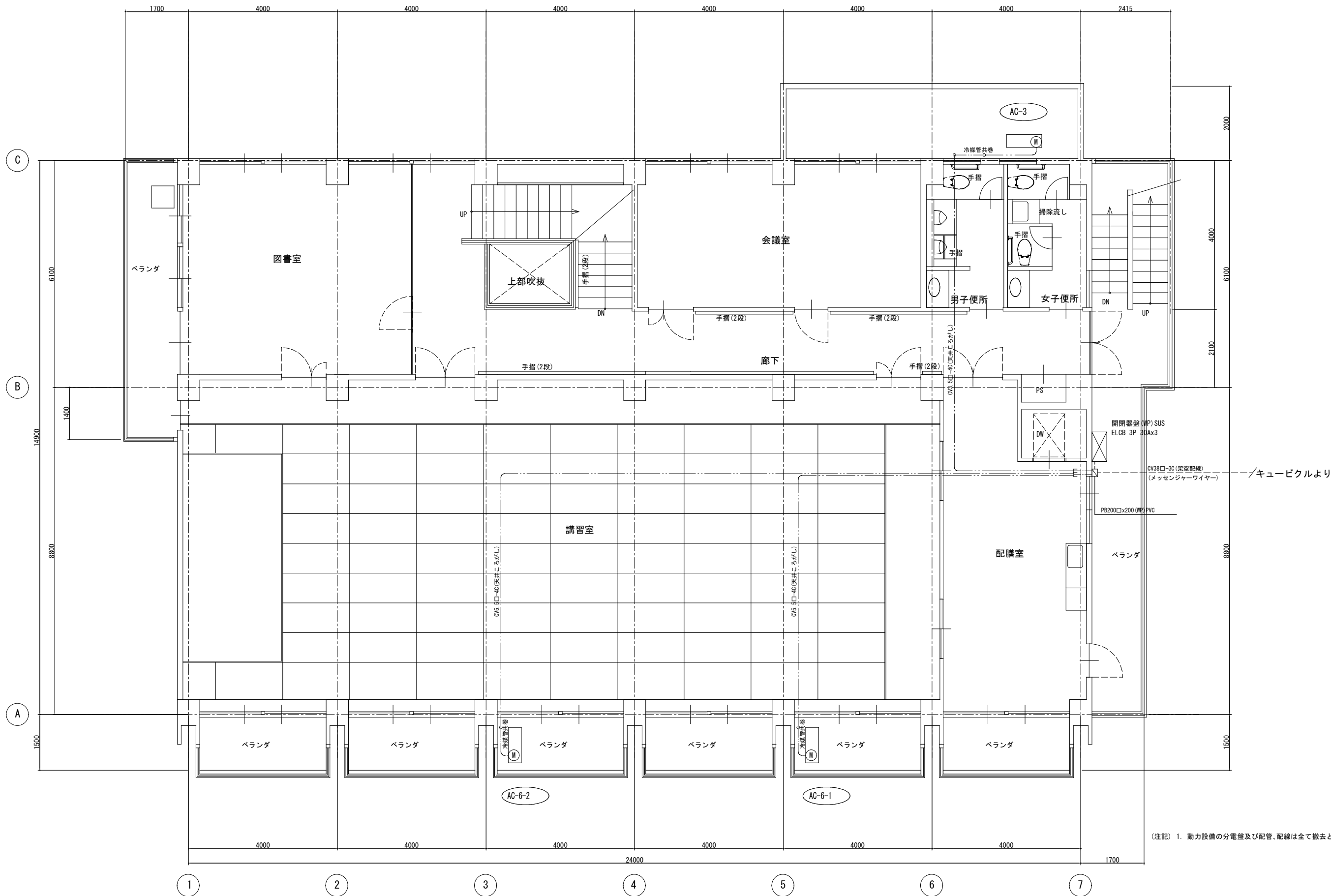
一級建築士事務所 千葉県登録 第 1-2209-2531 号  
〒295-0023 千葉県南房総市千倉町川口288 TEL0470-43-1718  
一級建築士 第 203776 号 荒井恭一

千倉社会福祉センター解体撤去工事設計図面

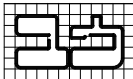
1階動力配線図(撤去)

令和7年 3月  
S=1/50 (A1)  
S=1/100 (A3)

NO E-18



2階平面図 S=1/50



一級建築士事務所

一級建築士事務所 千葉県登録 第 1-2209-2531 号  
〒295-0023 千葉県南房総市千倉町川口88 TEL0470-43-1718  
一級建築士 第 203776 号 荒井恭一

千倉社会福祉センター解体撤去工事設計図面

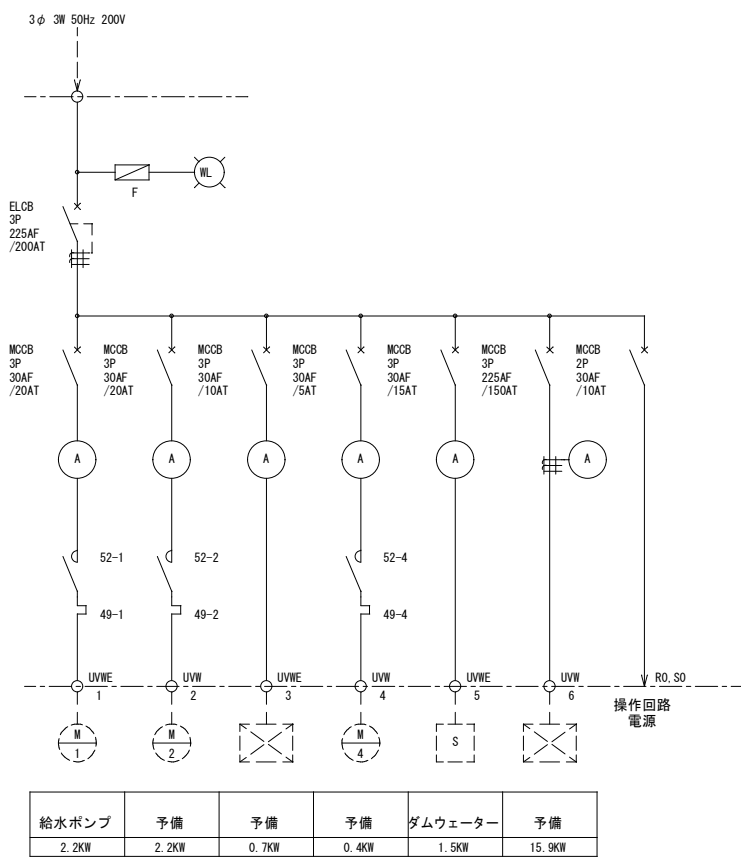
2階動力配線図(撤去)

令和7年 3月

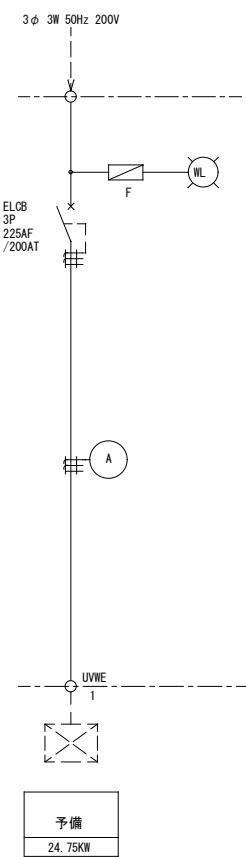
S=1/50 (A1)

S=1/100 (A3)

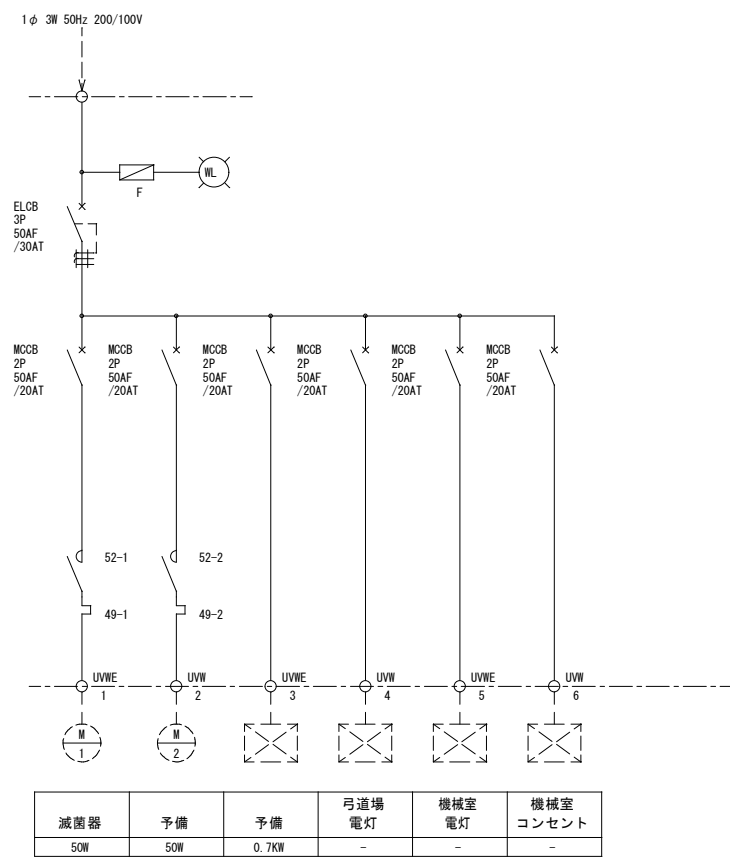
NO E-19



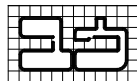
給水ポンプ	予備	予備	予備	ダムウェーター	予備
2.2KW	2.2KW	0.7KW	0.4KW	1.5KW	15.9KW



予備
24.75KW



減菌器	予備	予備	弓道場 電灯	機械室 電灯	機械室 コンセント
50W	50W	0.7KW	-	-	-



一級建築士事務所

一級建築士事務所 千葉県登録 第 1-2209-2531 号  
〒295-0023 千葉県南房総市千倉町川口288 TEL0470-43-1718  
一級建築士 第 203776 号 荒井恭一

千倉社会福祉センター解体撤去工事設計図面

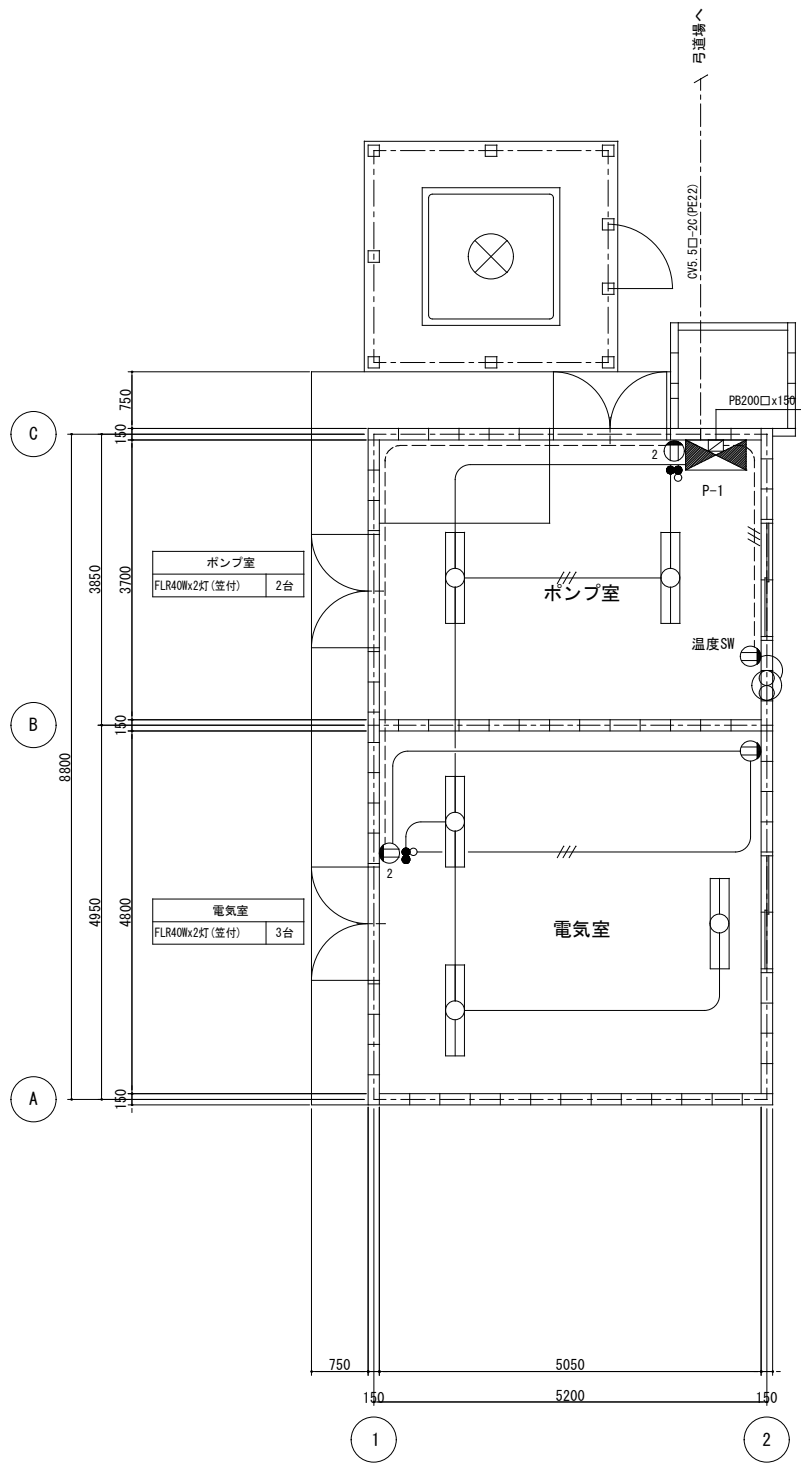
機械室分電盤(P-1)単線結線図

令和7年 3月

S=NOT (A1)

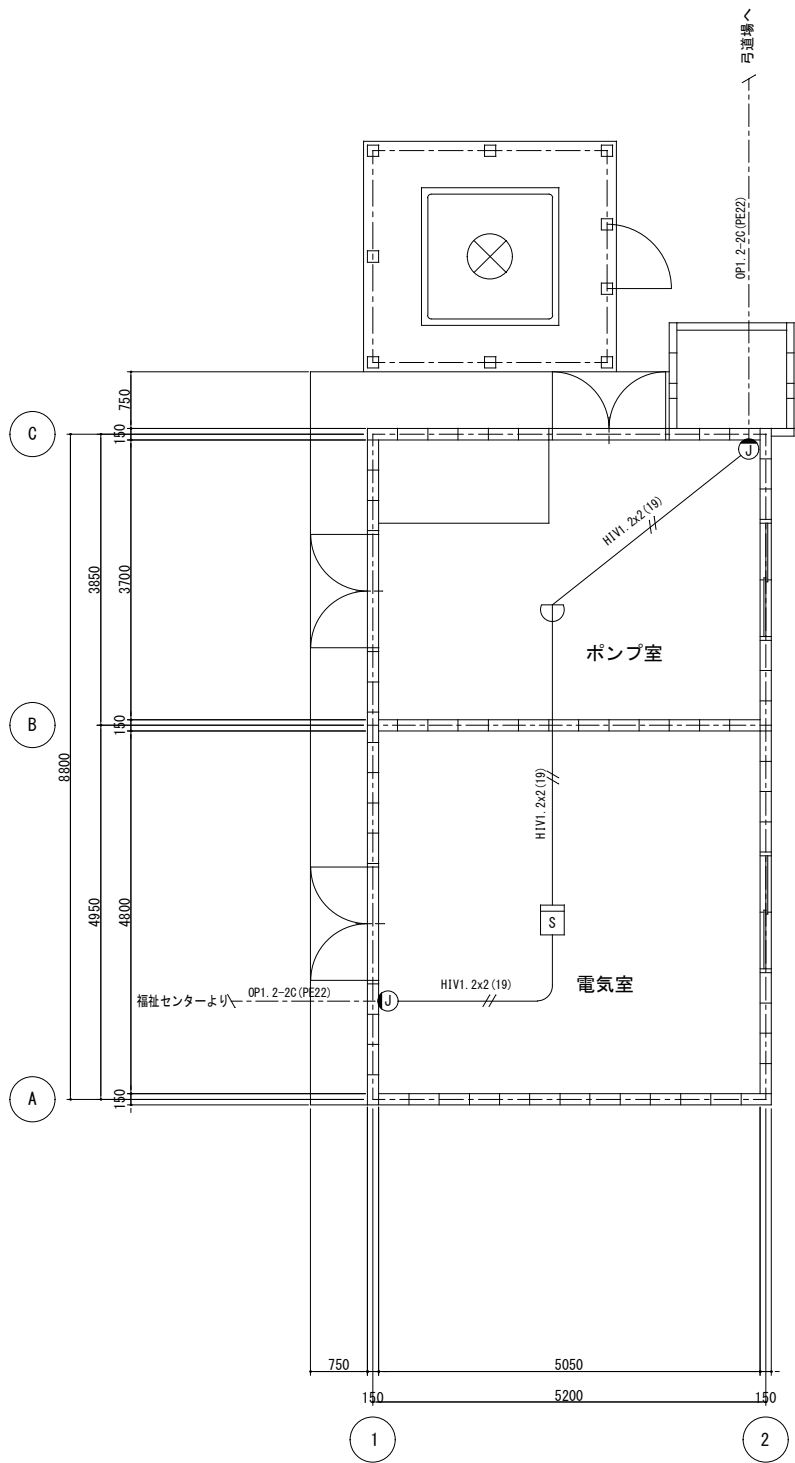
S=NOT (A3)

NO E-20



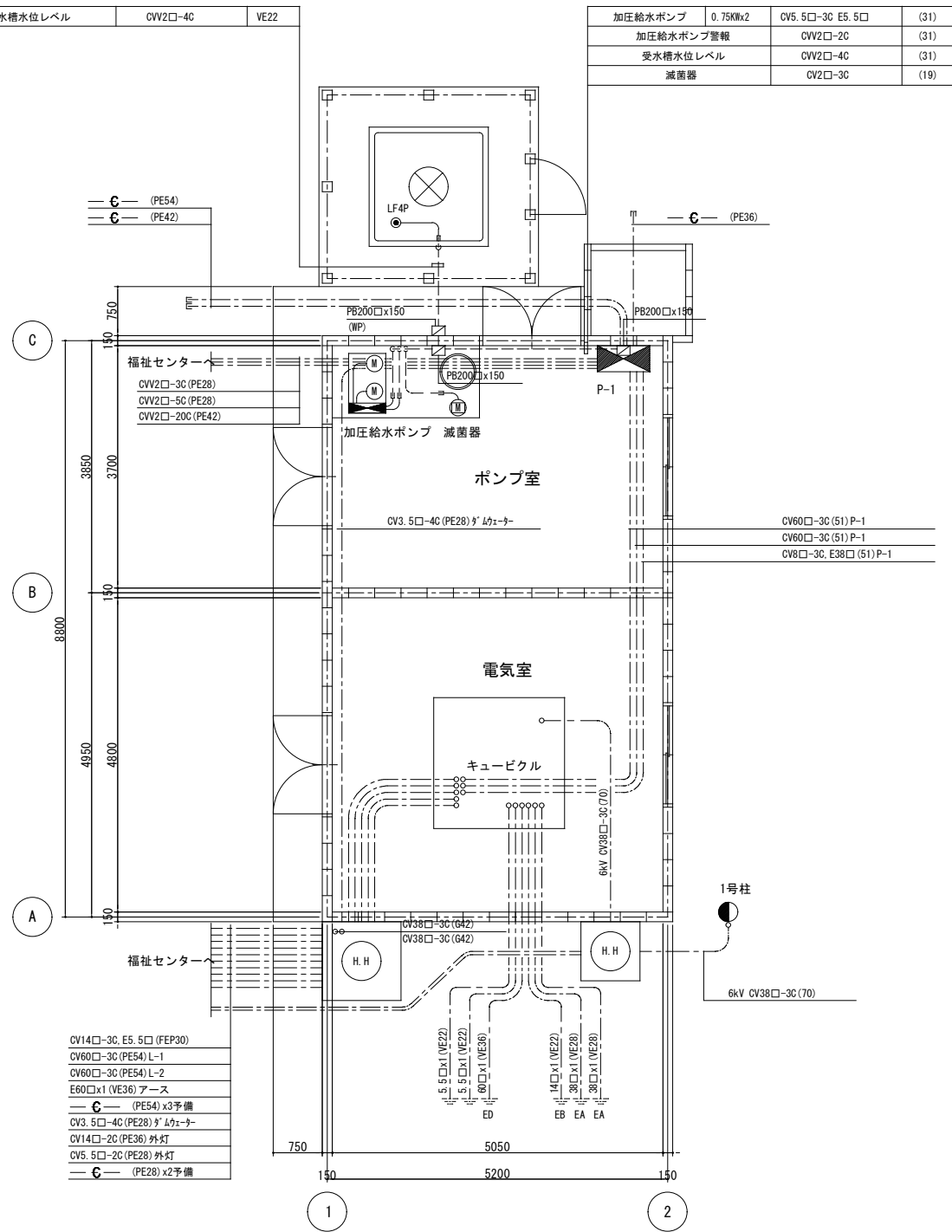
電灯・コンセント設備図

(注記) 1. 照明器具及び配管、配線は全て撤去とする。  
2. 図中の配管、配線は下記の通りとする。  
——— IV1. 6x2 (19)  
——— IV1. 6x3 (19)  
——— IV1. 6x3 (19)



火災報知設備図

(注記) 1. 火災報知器具及び配管、配線は全て撤去とする。



幹線・動力配線図

(注記) 1. 受変電設備器具及び配管、配線は全て撤去とする。  
2. 動力設備の配管、配線は全て撤去とする。



一級建築士事務所

一級建築士事務所 千葉県登録 第 1-2209-2531 号  
〒295-0023 千葉県南房総市千倉町川口288 TEL0470-43-1718  
一級建築士 第 203776 号 荒井恭一

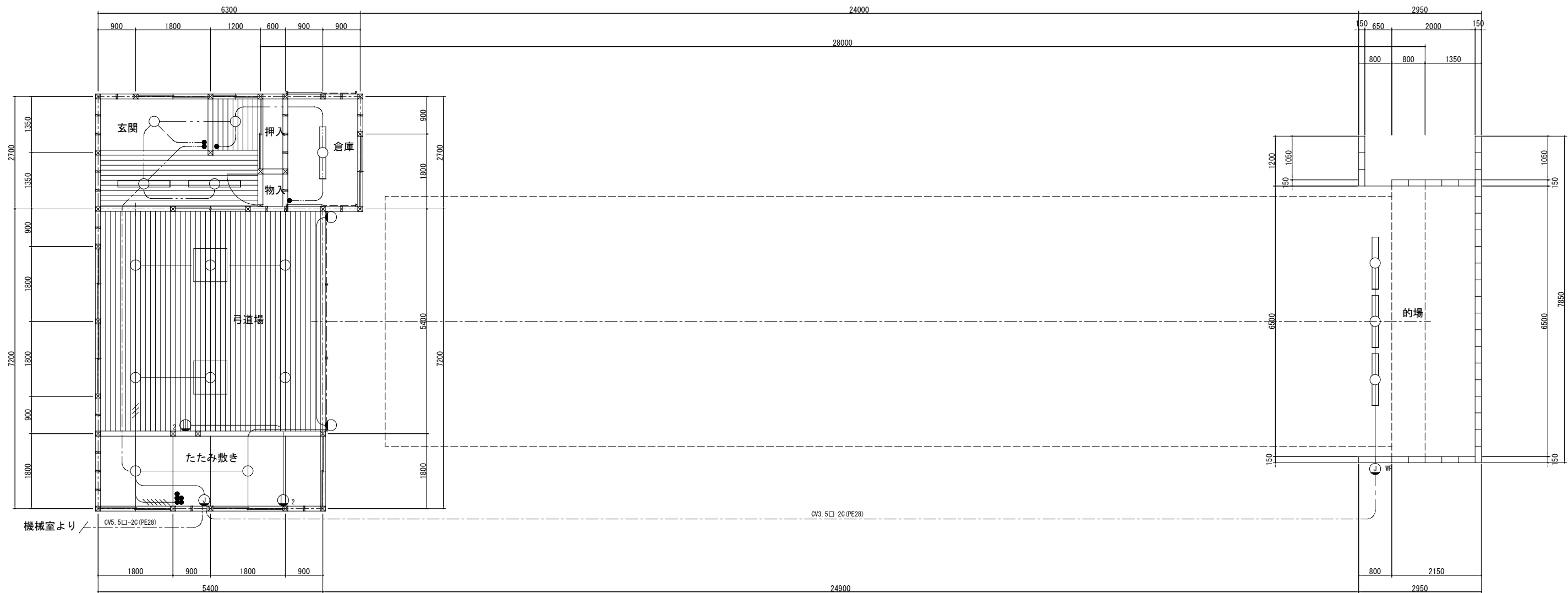
千倉社会福祉センター解体撤去工事設計図面

機械室電気設備図(撤去)

令和7年 3月  
S=1/50 (A1)  
S=1/100 (A3)

NO E-21

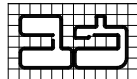




1階平面図 S=1/50

- (注記) 1. 照明器具及び配管、配線は既存のままとする。  
2. 図中の配管、配線は下記の通りとする。

——— IV1. 6x2 (19)  
——— IV1. 6x3 (19)  
——— IV1. 6x6 (25)  
——— IV1. 6x5 (19)  
——— WF1. 6-2C (天井ころがし)



一級建築士事務所

一級建築士事務所 千葉県登録 第 1-2209-2531 号  
〒295-0023 千葉県南房総市千倉町川口288 TEL0470-43-1718  
一級建築士 第 203776 号 荒井恭一

千倉社会福祉センター解体撤去工事設計図面

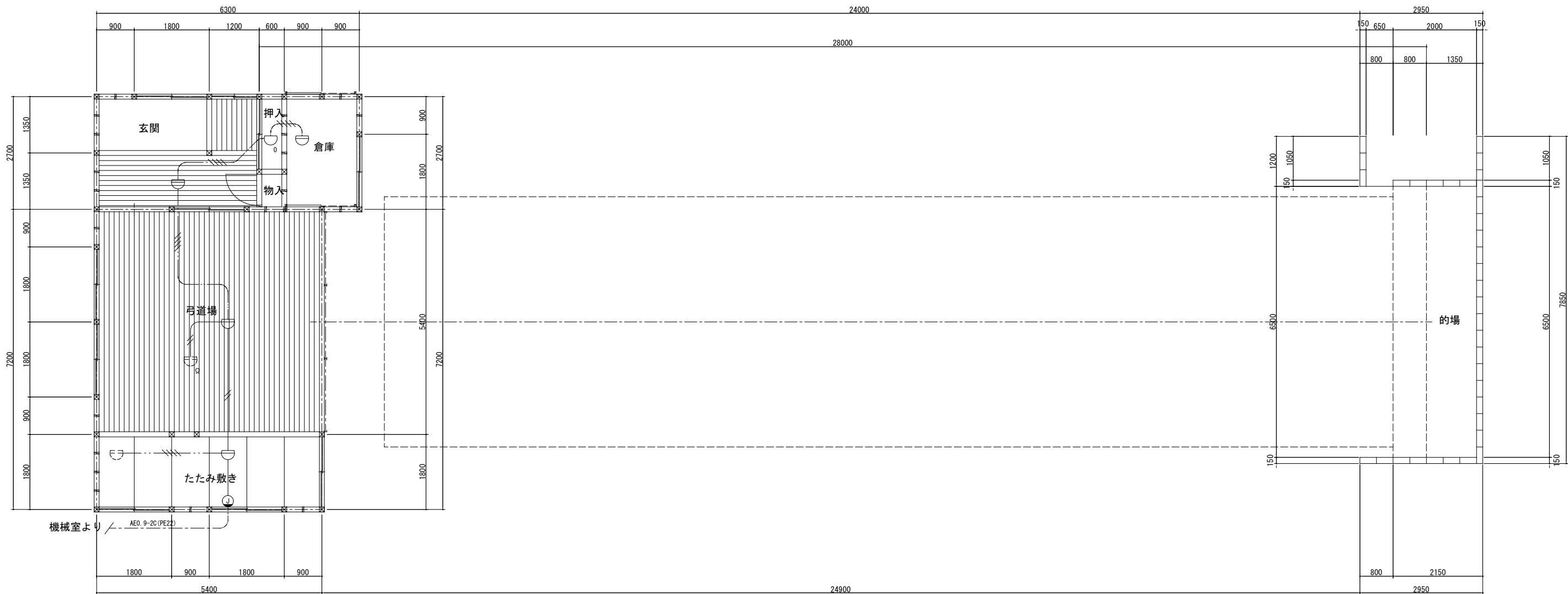
弓道場電灯・コンセント設備図

令和7年 3月

S=1/50 (A1)

S=1/100 (A3)

NO E-22



1階平面図 S=1/50

- (注記) 1. 火災報知器具及び配管、配線は既存のままとする。  
2. 図中の配管、配線は下記の通りとする。
- //— AE0. 9-2C (19)
  - ///— AE0. 9-2Cx2 (19)
  - ////— AE0. 9-2Cx2 (天井ころがし)



一級建築士事務所

一級建築士事務所 千葉県登録 第 1-2209-2531 号  
〒295-0023 千葉県南房総市千倉町川口88 TEL0470-43-1718  
一級建築士 第 203776 号 荒井恭一

千倉社会福祉センター解体撤去工事設計図面

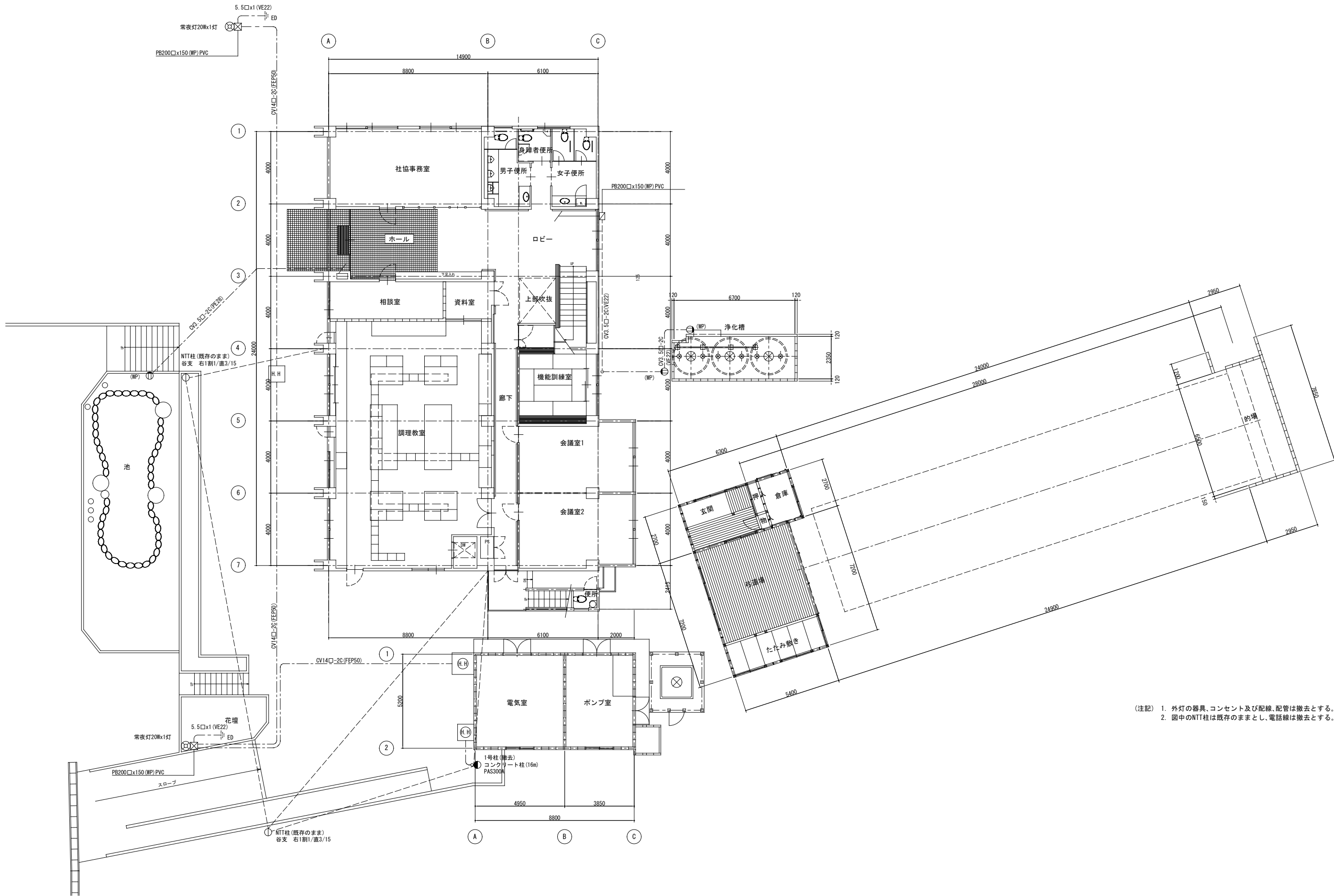
弓道場火災報知設備図

令和7年 3月

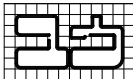
S=1/50 (A1)

S=1/100 (A3)

NO E-23



(注記) 1. 外灯の器具、コンセント及び配線、配管は撤去とする。  
2. 図中のNTT柱は既存のままとし、電話線は撤去とする。



一級建築士事務所

一級建築士事務所 千葉県登録 第 1-2209-2531 号  
〒295-0023 千葉県南房総市千倉町川口288 TEL0470-43-1718  
一級建築士 第 203776 号 荒井恭一

千倉社会福祉センター解体撤去工事設計図面

配置図(撤去)

令和7年 3月  
S=1/100 (A1)  
S=1/200 (A3)

NO E-24